史　跡

上之国勝山館跡　XVIII

—平成８年度発掘調査環境整備事業概報—

1997・3

上ノ国町教育委員会

史　跡

上之国勝山館跡　XVIII

—平成8年度発掘調査環境整備事業概報—

1997・3

上 ノ 国 町 教 育 委 員 会

序

史跡上之国勝山館跡環境整備事業は昭和54年度の開始以来、今年で18年を経過することとなり、この間の調査で、百数十年の長期に亘る館の存続と各種の遺構、遺物を知り得るところとなりました。

今年度は第2平坦面東側及び西側中央部の遺構調査を実施しました。その結果、館の東側を走る通路跡、掘立柱建物跡、竪穴建物跡、土壙等当時の館内の様子が窺われる多数の発見がありました。

本年度の事業推進にあたり、文化庁記念物課を初めとする関係各機関の諸先生、勝山館跡調査研究専門員としてご指導をお願いしている朝尾直弘、網野善彦、石井進、榎森進、仲野浩の諸先生には、ご多忙中のところ多大なご指導を賜りました。厚く感謝申し上げます。

今後も本事業を継続して推進して参りたく思うところでありますので、関係機関、諸先生にはなお一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成9年3月

北海道檜山郡上ノ国町教育委員会

教育長　和　泉　定　夫

本文目次

序
本文目次／挿図目次／表目次／写真図版目次
例言／引用参考文献

Ⅰ　調査の概要 ……………………………………1
Ⅱ　遺構確認調査 …………………………………4
1.調査目的
2.検出遺構と出土遺物 …………………………4
(1)　位置・概要 ……………………………………4
(2)　層序 ……………………………………………4
(3)　掘立柱建物跡 …………………………………4
(4)　竪穴建物跡・土壙・通路跡………………37
(5)　出土遺物の概要……………………………79
Ⅲ　小括 ………………………………………… 81
Ⅳ　保存処理……………………………………82
Ⅴ　まとめ………………………………………82

挿図目次

第１図　遺跡地形図・調査区位置図 ……………2
第２図　調査区範囲図 ……………………………3
第３図　調査区土層堆積図－1……………………5
第４図　調査区土層堆積図－2……………………7
第５図　調査区遺構配置図………………………19
第６図　第１号建物跡想定図……………………22
第７図　第２号建物跡想定図……………………23
第８図　第３号建物跡想定図……………………24
第９図　第４号建物跡想定図……………………25
第10図　第５号建物跡想定図……………………26
第11図　第６号建物跡想定図……………………27
第12図　第７号建物跡想定図……………………28
第13図　第８号建物跡想定図……………………29
第14図　第９号建物跡想定図……………………30
第15図　第10号建物跡想定図……………………31
第16図　第11号建物跡想定図……………………32
第17図　第12号建物跡想定図……………………33
第18図　第13号建物跡想定図……………………34
第19図　第14号建物跡想定図……………………35
第20図　第15号建物跡想定図……………………38
第21図　第16号建物跡想定図……………………39
第22図　第17号建物跡想定図……………………40
第23図　第18号建物跡想定図……………………41
第24図　第19号建物跡想定図……………………42
第25図　第20号建物跡想定図……………………43
第26図　第21号建物跡想定図……………………44
第27図　第22号建物跡想定図……………………45
第28図　第23号建物跡想定図……………………46
第29図　第24号建物跡想定図……………………47
第30図　第25号建物跡想定図……………………48
第31図　第26号建物跡想定図……………………49
第32図　第66・73号竪穴建物跡平面図他………52
第33図　第71・72・74・75号竪穴建物跡平面図他
……………………………………………………53
第34図　第70号竪穴建物跡平面図他……………54
第35図　第70号竪穴建物跡出土遺物他…………55
第36図　第76・77・81号竪穴建物跡平面図他
……………………………………………………56
第37図　第78．79号竪穴建物跡平面図他………57
第38図　土壙2・11・22・24・26・37・38平面
図他…65
第39図　土壙5・7・9・32・平面図ほか ………66
第40図　土壙22出土遺物…………………………69
第41図　焼土7・9・12平面図他…………………69
第42図　調査区出土遺物（陶磁器）……………72
第43図　調査区出土遺物（擂鉢）………………73
第44図　調査区出土遺物（擂鉢他）……………74
第45図　調査区出土遺物（金属製品他）………75
第46図　調査区出土遺物（石製品・木製品他）76

表目次

表1　21Ｊ5・20Ｊ25・20・15・10・5東西セクション北壁土層〈A～A'〉……9
表2　21Ｊ3・20Ｊ23・18・13・8・3東西セクション北壁土層〈B～B'〉……10
表3　21Ｊ1・20Ｊ21・16・11・9Ｊ21・16・11東西セクション北壁土層〈C～C'〉……11
表4　20K9・10・20Ｊ6～10・20Ｉ6～8南北セクション西壁土層〈D～D'〉……14
表5　20Ｉ18～16南北セクション西壁土層〈E～E'〉……15
表6　21Ｉ1・20Ｉ22東西セクション南壁土層〈F～F'〉……16
表7　19K12・7・2・18K22東西北壁土層（G～G'）……17
表8　19L10・19K6～8南北セクション東壁土層〈H～H'〉……17
表9　竪穴建物跡セクション土層観察表……57
表10　土壙土層観察表……67
表11　焼土7・9・20土層観察表……69
表12　竪穴建物跡覆土成分表……70
表13　土壙覆土成分表……70
表14　焼土成分表……70
表15　出土遺物観察表（陶磁器）……77
表16　出土遺物観察表（鉄製品他）……78
表17　掘立柱建物跡一覧表……78
表18　出土遺物集計表（陶磁器）……80
表19　出土遺物集計表（鉄製品他）……80

附図　調査区遺構配置図

写真図版目次

PL. 1　調査区全景
PL. 2　遺構検出状況
PL. 3　遺構検出状況
PL. 4　遺構検出状況
PL. 5　遺構検出状況
PL. 6　遺構検出状況
PL. 7　遺構検出状況
PL. 8　遺構検出状況
PL. 9　遺構検出状況
PL. 10　遺構検出状況
PL. 11　遺構検出状況
PL. 12　遺構検出状況
PL. 13　遺構検出状況
PL. 14　遺物出土状況

例　　　言

1．本書は史跡上之国勝山館跡の平成８年度発掘調査及び環境整備事業について概要をまとめたものである。

2．本年度の発掘調査は次の体制でのぞんだ。

調査主体者　　上ノ国町教育委員会
　　　　　　　教育長　　和　泉　定　夫

指導　上ノ国町文化財保護審議会特別委員
　福山大学教授　足達　冨士夫
　文化学院講師　鈴木　亘
　同勝山館跡調査研究専門員
　橘女子大学教授　朝尾　直弘
　神奈川大学特任教授　網野　善彦
　国立歴史民俗博物館館長　石井　進
　東北学院大学教授　榎森　進
　東北芸術工科大学教授　仲野　浩

主管　上ノ国町教育委員会文化財課　課長
　木村幹郎、主事　笹浪甲衛
　勝山館跡修景技術専門員　北島讓

発掘担当者　学芸員　斉藤邦典

調査員　　　学芸員　松崎水穂　佐藤一志
　松田輝哉　発掘調査員　柳沼弥生

調査補助員　山崎洋子　笠谷奈智子　竹内江美子　山岸佳代　新関久子　高田靖彦　久場かおり　岩下佳代
（東北芸術工科大学）

作業員　青木千秋、浅原すみ、井越祥子、小田川喜美子、大谷弓子、奥寺京子、川合冴子、川口泰子、斉藤圭子、笹浪竹志、杉村八重子、杉山稲子、鈴木千春、住吉春子、竹内正章、田畑康子、沼沢国枝、八田綾子、八田揚子、細川キヨ子、松本津枝子、目黒加奈子、森恵美子

保存処理作業員　木村洋子、油谷和枝

3．本書の編集は斉藤、松崎、松田が協議の上、斉藤が行った。

本書の作成はⅠを松田、Ⅱを斉藤、佐藤、松田、柳沼、Ⅲを斉藤、Ⅳを松田、Ⅴを松崎の分担で行い、文末に分担者名を記した。尚遺物観察表、集計表は山崎、土層の観察表は竹内、掘立柱建物跡の想定図は笠谷の各調査補助員が作成したものに基づいている。

4．挿図の作成は担当者、調査員の指示により補助員、作業員が行った。挿図中の方位は真北を示す。

5．土層の土色は「新版標準土色帖」（農林水産技術会議事務局）を遺物の色調名は「標準色彩図表Ａ」（日本色研事業株式会社）を用い、目測で比定した。

6．本書の調査時の写真は斉藤、松崎、佐藤、松田、柳沼が撮影した。

7．調査にあたっては次の関係機関と各位に多大な御指導と御援助を賜った。

文化庁記念物課　岸本直文　澤田利夫、建造物課　武藤正幸、伝統文化課　千葉秀夫、北海道教育庁文化課　木村尚俊　大沼忠春　種市幸生　千葉英一　藤原秀樹　竹永良美　笹島淳子　成田政紀、国立歴史民俗博物館　西本豊弘、北海道大学　天野哲也、東京大学　宇田川洋、中央学院大学　市村高男、北海道埋蔵文化財センター　越田賢一郎　福井淳一、八戸市博物館　佐々木浩一、浪岡町史編纂室　工藤清泰、七戸町教育委員会　小山彦逸、平泉町郷土館　荒木伸介、福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館　岩田隆、波佐見町教育委員会　中野雄二、波佐見町商工企画課　山口浩一、波佐見町陶芸の館　池田雅秋、函館市教育委員会　佐藤智雄、乙部町教育委員会　森広樹　藤田巧、南茅部町教育委員会　福田祐二、豊原照司　　　　　　　（順不同　敬称略）

引用参考文献

日本の美術42　和鏡　1969年　中野政樹編

文化財講座日本の美術13工芸（刀剣・武具）1977年　文化庁

文化財講座日本の美術９（金工）1978年　文化庁

ものと人間の文化史25　臼（うす）　三輪茂雄　1978年

日本の古鏡　1985年　大阪市立博物館

根城跡東構地区の遺構変遷　八戸市博物館　研究紀要　第七号　1991年　佐々木浩一

瀬戸市史　陶磁編四　1993年　瀬戸市史編纂委員会

概説中世の土器・陶磁器　1995年　中世土器研究会

浪岡城跡Ⅲ～Ⅷ　1979～1984年　浪岡町教育委員会

特別史跡朝倉氏遺跡発掘調査報告書Ⅰ～Ⅴ　1979～1996年　福井県教育委員会　福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館

史跡上之国勝山館跡Ⅰ～ⅩⅦ　1980～1996年　上ノ国町教育委員会

I　調査の概要

1　調　査

史跡上之国勝山館跡は、檜山郡上ノ国町字勝山に位置し、前方には天然の良港大澗湾を臨み、後方には夷王山を配する。館の主体部は、両側を宮ノ沢・華ノ沢に挟まれた台地となっている。また、大きく3つの平坦面に分かれており、下から第一平坦面、第二平坦面、第三平坦面としている。第一平坦面は虎口から大手側の空壕までの平坦面で、面積は約5,000㎡。第二平坦面は面積約7,000㎡と最も広く、勝山館の中心的な建物をはじめ多くの建物跡等が検出されている。また第一平坦面との境には深さ約2m（第二平坦面までの落差約8m)の空壕が2本掘られている。第三平坦面は、館神八幡宮等があった箇所で面積は約3,500㎡最後部には土塁が作られ、さらにその外側には空壕が切られている。第二平坦面と第三平坦面を囲む様にして柵列が巡らされていた。

本年度は、平成2年度より継続している第二平坦面の調査を行い、中央通路を挟んで第二平坦面と第三平坦面の一部の約1,300㎡を5月28日～11月2日の期間発掘調査を実施した。

調査方法の概要は以下の通りである。発掘区の設定は、20m×20mの大グリッドを分割した4m×4mの小グリッド方式を採用した。また、建物の概要を知るために柱穴配置略図（縮尺1/40）を作成し、柱穴間の重複・覆土の状態を観察しながら柱穴を掘り下げた。焼土・土壙などは半裁し、セクション図を作成した後に掘り下げ、土壌のサンプリングを行った。遺物の取り上げ方法は、「層は4m×4mのグリッドを2m×2mに4分割して一括して取り上げ、遺構面の」層は実測図に記録した後にレベルを附して取り上げた。尚、遺構図は柱穴・溝は1/20、竪穴・焼土・土壙は1/10、遺物分布図は1/20で平板及び遣り方測量を採用した。

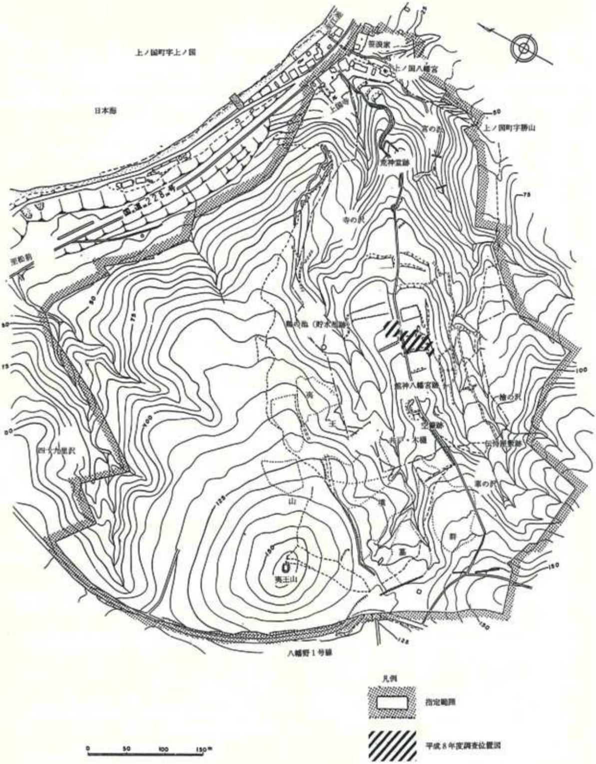
5月28日　発掘作業開始。調査区内表土除去作業。
6月7日　調査区内のII層までの堆積土除去作業終了。遺構確認調査開始。
6月　19K・19I・20J区遺構確認調査。
7月　第70・75・76号竪穴建物跡他遺構調査。
7月25日　18K・18L区遺構写真撮影。
8月　第70・74・75号竪穴建物跡・土壙23・19L・19K・19J・20K・20J区他遺構調査。
8月23日　集中豪雨のため大手空壕の芝が崩落する（平成7年崩落した隣接地）。
8月29日　18L・19J区写真撮影。
9月　第70・73・76・77号竪穴建物跡、土壙、5・11・16、20K20J区他遺構調査。
9月12日　第73・77号竪穴建物跡写真撮影・実測。
10月　第70・76・78・79号竪穴建物跡、土壙12・35～38、20K20J区他遺構調査。
10月11日　第70号竪穴建物跡炭化材取り上げ作業完了。
10月24・25日調査区全景他写真撮影。
11月　調査区内遺構確認調査最終点検。
11月7日　鈴木亘先生現地指導。
11月25日人力による埋め戻し作業。
11月28日　重機による最終埋め戻し作業を終え、今年度の発掘調査作業を終了。

2　基本層序

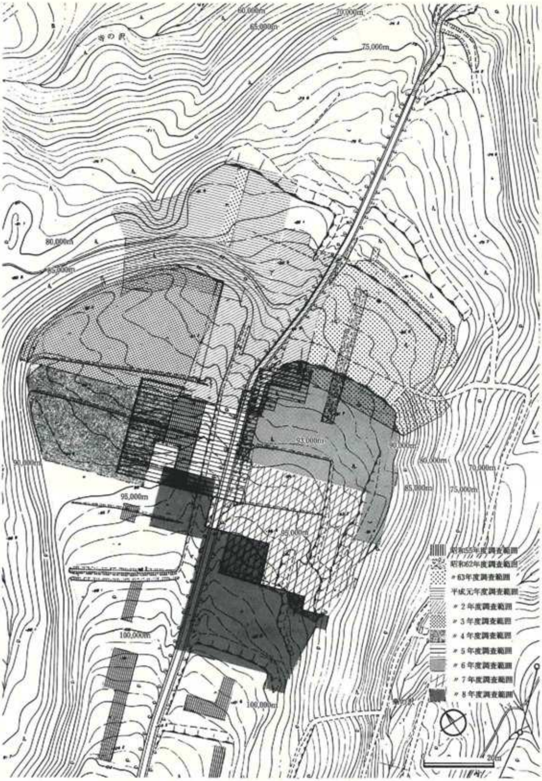
I層　表土層。10YR3/3暗褐～10YR4/4褐シルト。草根多量、ハード。
II層　館廃絶後の自然堆積層。10YR3/3暗褐～10YR4/4褐シルトやや密。炭化物・Os－a混入。細分される。Os－a純層も含まれる。
III層　館機能時の整地盛土層。10YR4/4褐～10YR5/8黄褐、密。ソフトローム粒・炭化物等多量に含有する。
IVa層　縄文期以後より館が形成されるまでの堆積層。黒シルト～7.5YR3/3暗褐シルト。
IVb層　10YR6/6明黄褐色火山灰。やや密。
IVc層　縄文期包含層。10YR4/6褐シルト、やや密。
V層　10YR5/4にぶい黄褐～10YR5/6黄褐。ソフトローム。
VI層　ハードローム。

3　保存処理

本年度は鉄製品1,400点、木製品200点、銅製品270点の処理を行った。



第１図　遺跡地形図・調査区位置図


寺の沢
60,000m
65,000m
70,000m
75,000m
80,000m
85,000m
90,000m
93,000m
95,000m
100,000m
昭和55年度調査範囲
昭和62年度調査範囲
〃 63年度調査範囲
平成元年度調査範囲
〃 2年度調査範囲
〃 3年度調査範囲
〃 4年度調査範囲
〃 5年度調査範囲
〃 6年度調査範囲
〃 7年度調査範囲
〃 8年度調査範囲
20m

第2図　調査区範囲図

II　遺構確認調査

1　調査目的

平成４年度発掘調査以降、客殿空間をとりまく周辺の状況が徐々に解明されつつある。第二平坦面の客殿空間と帯曲輪とその周辺部以外は、中央通路に直交する方向に長軸を持つ地割面が、整然と配置される状況が確認された。また平成六年度以降、華ノ沢に平行する細長い平坦面（帯曲輪）が検出され、柵列の作り替え、帯曲輪に平行する長軸を持つ地割面と掘立柱建物跡などが続々と検出さた。勝山館の中心部の中で最も広い第二平坦面が、多種多様に分割され使い分けられている状況が明らかになりつつある。

本年度は過年度までのこうした調査結果をうけて、昨年平成７年度調査で明らかにし得なかった掘立柱建物跡の規模、中央通路に対して直交する地割面の配置状況の確認、第三平坦面地割の地業状況の確認、平成６・７年度に検出された帯曲輪の延長とそれに伴う柵列の構築状況、また、帯曲輪と一部平行してみられる華ノ沢側斜面の平坦面との関係、建物相互、通路相互の連絡路などを解明することが主な課題となった。

2　検出遺構と出土遺物

(1)　位置・概要

平成８年度の調査地区は、第二平坦面南西、中央通路をはさみ寺ノ沢側が約270㎡、華ノ沢側が第二平坦面と第３平坦面の一部を含む約1030㎡、計約1,300㎡である（第１・２・５図）。

寺ノ沢側では２つの地割と南北棟の６棟の掘立柱建物跡、２棟の竪穴建物跡、華ノ沢側は、９つの地割と20棟の掘立柱建物跡、９棟の竪穴建物跡を検出した。このうち第70・76号竪穴建物跡は焼失建物跡であり、炭化材等が多量に出土した。また、華ノ沢側で平成６・７年度検出した帯曲輪の延長を検出した。昨年度の調査結果同様、盛土による整地がなされていたことが確認できた。帯曲輪縁の柵列も４回以上の作り替えがなされていることを確認した。また、20Ｉ21区周辺等で、平成７年度調査検出の溝77の様に、華ノ沢側斜面に落ちる溝を２条（溝59・72）検出した。21Ｊ３区周辺では第２平坦面と第３平坦面を画す段の中程に深い溝（溝45）を検出した。小柱穴が多数見られるので区画溝の１種と思われる。今後出土遺物と遺構の関係を整理し、改めて構築年代等を検討して行きたい。

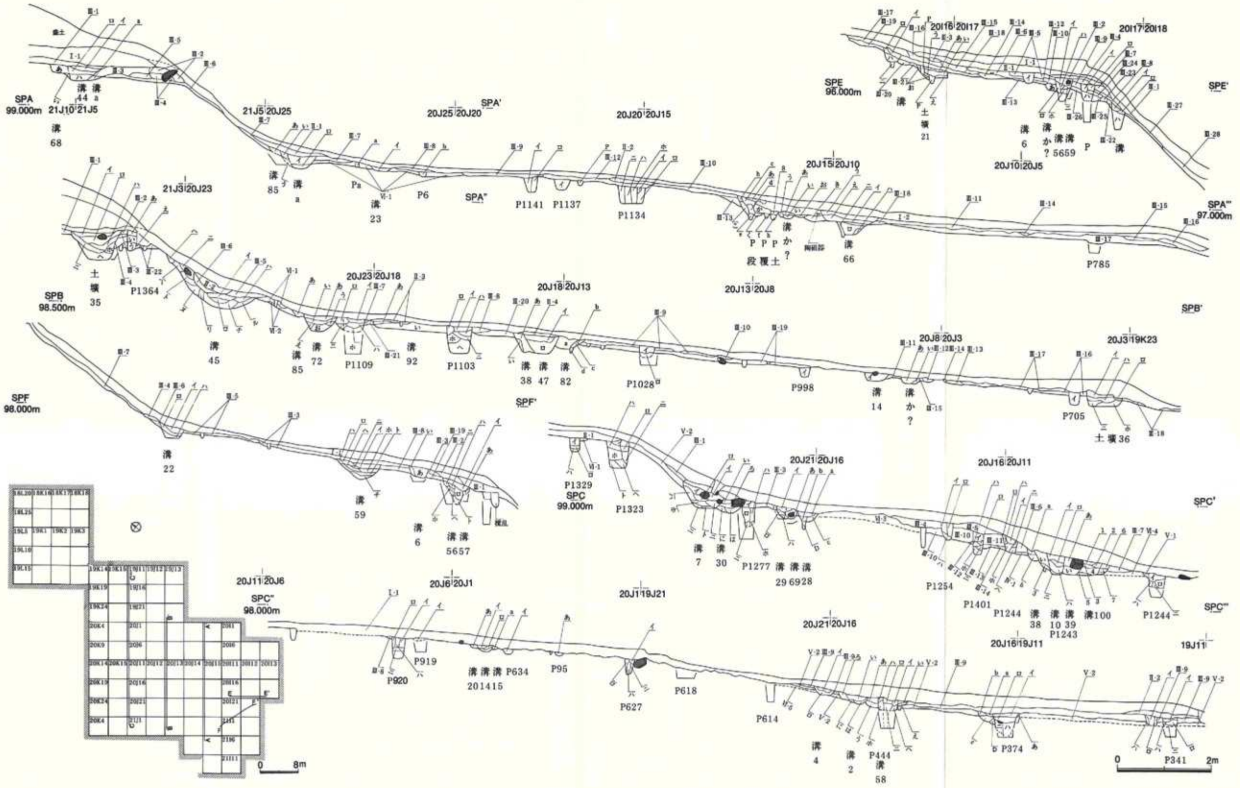
(2)　層　序

遺構の形成等を捉える為に、調査区内に東西方向４本、南北方向３本、第三平坦面斜面～第二平坦面～帯曲輪にかけて１本の土層観察用の畦を設定した（第３・４図、表１～８）。調査区全体は後世に削平を受けていて、20Ｊ６・７区等はII層が存在しない上、中世の遺構掘り込み面が完全に失われ、Ｉ層直下がVI層である所が多い。調査区20Ｊ11・16区付近、第21号建物跡などがある地割面は基盤礫・粒等を含む黒色土等によって盛土がなされていて、柱穴の掘り込み面の違いを確認できたが、一番新しいIII層上面は削平を受けて北東方向になだらかに傾斜している。他に19Ｊ11・16区付近でもIII層が良好に残っていた。帯曲輪では昨年同様盛土が複数回なされている状況が確認された。また、20Ｊ15～20Ｉ21区付近には土器を多量に含んだ縄文時代の盛土があり、中世の竪穴建物などはそれを掘り込んで構築しているため、遺構の平面規模等の確認が困難な場所もあった。（松田）

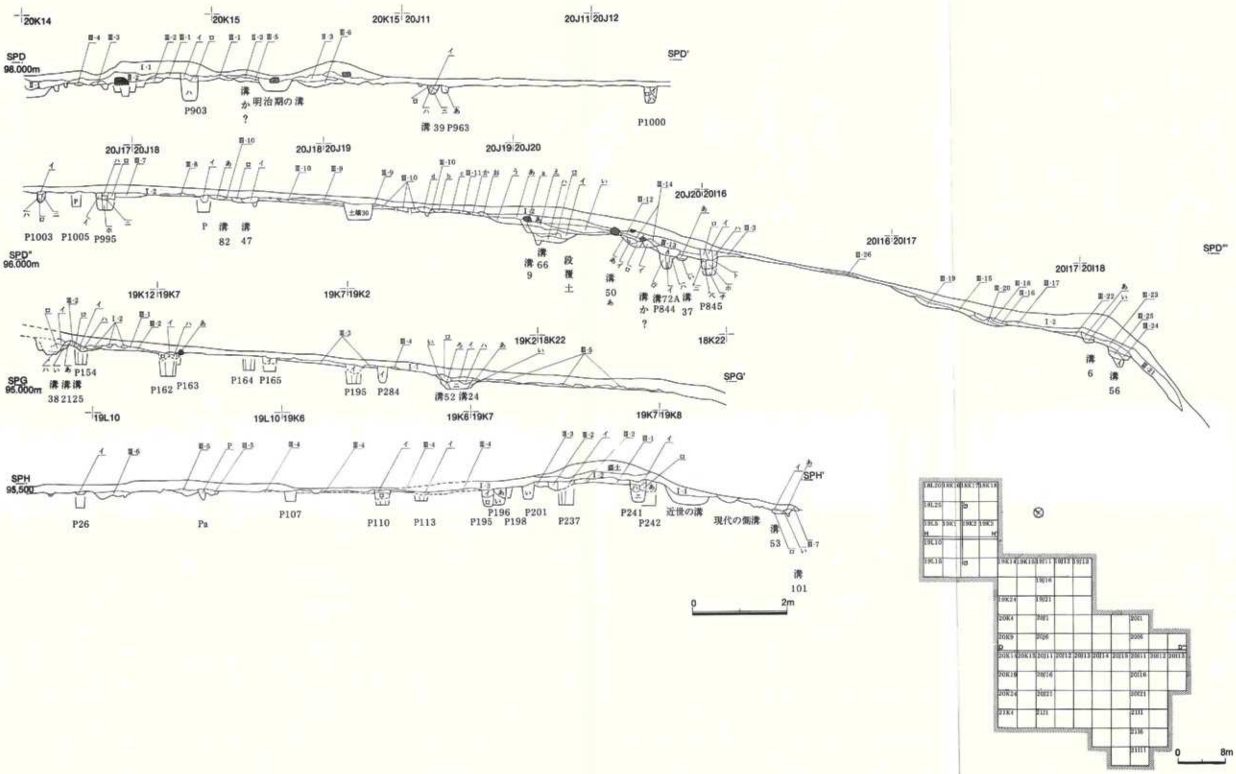
(3)　掘立柱建物跡

第1号建物跡（第6図）　調査区北端18K16、17、21、22、18L20、25、19K1、2区の地割面内に位置し、同地区全体にまたがっている。桁行6間、梁間3間の南北棟を想定した。建物軸線はN40°Wである。桁行は全長41尺で、柱間は北から2間は7.3尺等間、南側4間は6.6尺等間である。梁間は全長18.9尺で、柱間は6.3尺等間である。北側柱穴を欠失する。建物内部は桁行部分では北から2間目及び4間目に間仕切を持つ。また梁間南側部分では東から1間目に間仕切を持つ。東側桁行柱穴Ｐ87、Ｐ174が2号建物跡柱穴に切られている。西側桁行4間目Ｐ192が3号建物跡柱穴に切られる。地割面積83.7㎡のうち建物跡面積71.16㎡。この地割面の溝で最も内側の溝51がこの建物跡に付属すると考えられる。

第2号建物跡（第7図）　調査区北端18K16、17、21、22、18L20、25、19K1、2区の地割面内に位



第3図　調査区土層堆積図－1



第４図　調査区土層堆積図－２

表1　21J5・20J25・20・15・10・5東西セクション北壁土層〈A～A'〉

Ⅰ-1	10YR3/4　暗褐	礫粒　ローム粒　焼土粒微量	ソフト	
2	10YR3/4　暗褐	礫粒　ローム粒　小礫	ややソフト	土器
Ⅱ-1	10YR3/4　暗褐	礫粒　ローム粒　小礫　基盤粒	ややハード	
2	10YR3/3　暗褐	礫粒　ローム粒　小礫　礫　基盤粒 焼土粒　炭粒	ハード	
Ⅲ-1	7.5YR3/3　暗褐	礫粒　ローム粒　炭粒微量	ソフト	
2	7.5YR3/3　暗褐	礫粒　ローム粒　火山灰微量　炭粒少量	ソフト	
3	7.5YR3/3　暗褐	礫粒　ローム粒　鉄滓少量　炭粒少量	ソフト	
4	7.5YR3/3　暗褐	礫粒　ローム粒	ソフト	
5	7.5YR3/4　暗褐	礫粒　ローム粒　炭粒少量	ソフト	
6	7.5YR4/4　褐	礫粒　ローム粒	ソフト	土器
7	7.5YR3/4　暗褐 10YR3/4	礫粒　基盤粒　基盤礫　焼土粒 炭粒微量	ソフト	
8	7.5YR3/3　暗褐	礫粒　ローム粒　基盤礫　焼土粒 炭粒微量	ややソフト	
9	7.5YR4/4　褐 10YR4/4	礫粒　ローム粒　基盤礫　焼土粒 炭粒微量	ややハード	
10	10YR4/4　褐	礫粒　炭粒微量	ハード	
11	7.5YR3/3　暗褐	礫粒　ローム粒　ロームブロック　基盤粒　焼土粒 炭粒少量	ハード	土器
12	10YR3/4　暗褐	礫粒　ローム粒　基盤粒　焼土粒 炭粒微量	ややハード	土器
13	10YR3/4 4/4　暗褐 褐	礫粒　基盤粒　炭粒微量	ハード	
14	7.5YR3/3　暗褐	礫粒　ローム粒　焼土粒	ソフト	
15	7.5YR3/3　暗褐	礫粒　ローム粒　炭粒少量	ソフト	土器
16	7.5YR4/4　褐	焼土粒微量　炭粒微量	ややソフト	
17	7.5YR3/4　暗褐	礫粒　基盤粒　焼土粒　炭粒少量	ハード	土器
18	7.5YR3/3　暗褐	ローム粒　焼土粒	ソフト	
Ⅵ-1	7.5YR4/4　褐	全基盤礫多量　基盤粒　炭粒微量	ハード	
溝68-あ	7.5YR3/2　黒褐	礫粒　ローム粒　炭化物多量　骨微量	ソフト	
い	7.5YR3/3　暗褐	礫粒　ローム粒　炭粒少量	ソフト	
溝44-イ	7.5YR3/3　暗褐	礫粒　ローム粒　炭粒微量	ソフト	Ⅲ-1よりやや明るい
ロ	7.5YR3/3　暗褐	礫粒　ローム粒　焼土粒　炭粒少量	ソフト	
ハ	7.5YR3/2　黒褐	礫粒　ローム粒　焼土粒　炭粒少量	ソフト	
溝a	7.5YR2/2　黒褐	礫粒　ローム粒　焼土粒　炭粒多量	ソフト	
溝85-あ	7.5YR3/3　暗褐	礫粒　基盤礫　炭粒微量	ややソフト	
い	7.5YR3/3　暗褐	礫粒　ローム粒　炭粒微量		
う	7.5YR3/4　暗褐	礫粒　ローム粒　炭粒少量	ソフト	
溝22-イ	10YR4/3　にぶい黄褐	礫粒　ローム粒　基盤粒　礫　焼土粒 炭粒	ややソフト	
ロ	10YR4/3　にぶい黄褐	礫粒　ローム粒　基盤粒	ややソフト	
溝23-イ	10YR4/3　にぶい黄褐	礫粒　ローム粒　基盤粒　礫　炭粒	ややソフト	
段覆土-あ	10YR3/4　暗褐	礫粒　ローム粒　焼土粒　炭粒微量	ハード	
い	7.5YR3/3　暗褐	礫粒　ローム粒　基盤粒　焼土粒 炭粒少量	ソフト	
う	10YR3/4 7.5YR3/4　暗褐	礫粒　ローム粒　基盤粒　焼土粒 炭粒微量	ややハード	
え	10YR3/3 7.5YR3/3　暗褐	礫粒　ローム粒　基盤粒　焼土粒 炭粒少量	ソフト	
お	7.5YR3/3　暗褐	礫粒　ロームブロック 炭粒微量	ソフト	
か	7.5YR3/3　暗褐	礫粒　ローム粒　基盤粒　炭粒少量	ソフト	
き	7.5YR3/3　暗褐	礫粒　ローム粒　ロームブロック 玉砂利　火山灰多量　炭粒少量	ソフト	粗
く	7.5YR3/4　暗褐	礫粒　ローム粒　基盤粒	ソフト	土器
け	10YR3/4　暗褐	礫粒　ローム粒　炭粒微量	ハード	
こ	10YR4/6　褐	礫粒　基盤粒　炭粒微量	ハード	
溝か?-あ	7.5YR3/4　暗褐	礫粒　ローム粒　基盤粒 炭粒微量	ややハード	
い	7.5YR3/3　暗褐	礫粒　ローム粒　ロームブロック　炭粒少量	ソフト	
う	7.5YR3/4　暗褐	ローム粒　焼土粒　炭粒微量	ソフト	粗
溝66-イ	10YR3/3　暗褐	ローム粒　火山灰少量　炭粒微量	ソフト	
ロ	10YR3/3　暗褐	礫粒　ローム粒　火山灰　炭粒少量	ソフト	
ハ	10YR4/3　にぶい黄褐	ローム粒多量　炭粒少量	ソフト	
ニ	10YR4/4　褐	礫粒　ローム粒　火山灰　炭粒少量	ややソフト	
P1141イ	10YR4/4　褐	礫粒　ローム粒　基盤粒　炭粒	ハード	
ロ	10YR4/4　褐	礫粒　ローム粒　基盤粒　炭粒	ハード	
P1137イ	10YR4/4　褐	礫粒　ローム粒　基盤粒　焼土粒 炭粒	ハード	
P1134イ	10YR3/4　暗褐	礫粒　礫　ローム粒　基盤粒　焼土粒 炭粒	ハード	
ロ	10YR3/4　暗褐	礫粒　礫　ローム粒　基盤粒　焼土粒 炭粒	ハード	
ハ	10YR3/4　暗褐	礫粒　礫　ローム粒　基盤粒　炭粒	ハード	
ニ	10YR3/4　暗褐	礫粒　礫　小礫　ローム粒　基盤粒 焼土粒　炭粒		
ホ	10YR3/4　暗褐	礫粒　小礫　ローム粒　基盤粒　焼土粒　炭粒	ハード	
P-a	10YR2/3　黒褐	礫粒　ローム粒　基盤粒	ソフト	
P-b	7.5YR3/3　暗褐	礫粒　ローム粒　焼土粒　炭粒微量	ソフト	
P-c	10YR2/3　黒褐	ローム粒　基盤粒　炭粒微量	ソフト	土器
P-d	10YR2/3　黒褐	礫粒　ローム粒　基盤粒　焼土粒　炭粒少量	ソフト	骨
P-e	10YR3/4　暗褐	礫粒　焼土粒　炭粒少量	ソフト	

P-f	7.5YR4/4	褐	ローム粒　炭粒微量	ソフト	粗
P-g	7.5YR3/3	暗褐	礫粒　ローム粒　炭粒少量	ソフト	粗
h	7.5YR3/4	暗褐	ローム粒　炭粒微量	ソフト	

表2　21J3・20J23・18・13・8・3東西セクション北壁土層〈B～B'〉

I-1	10YR3/3	暗褐	礫粒　ローム粒　炭粒微量	ややソフト	
II-1	10YR2/2 2/3	黒褐	礫粒　ローム粒　火山灰　焼土粒 炭粒少量	ソフト	
2	10YR3/3 2/3	暗褐　黒褐	礫粒　ローム粒　火山灰　焼土粒 炭粒微量	ソフト	
3	10YR4/4	褐	礫粒　ローム粒　火山灰　炭粒微量	ソフト	
4	10YR3/3 2/3	暗褐　黒褐	礫粒　ローム粒　火山灰　基盤粒 炭粒少量	ソフト	
III-1	10YR3/4	暗褐	礫粒　ローム粒　炭粒微量	ソフト	
2	10YR2/3	黒褐	礫粒　ローム粒　炭粒微量	ソフト	
3	7.5YR3/3	暗褐	礫粒　ローム粒　ロームブロック　基盤粒 炭粒微量	ソフト	
4	10YR2/3	黒褐	礫粒　ローム粒　基盤粒　炭粒少量	ソフト	
5	10YR2/2	黒褐	礫粒　基盤粒　焼土粒　炭粒多量	ソフト	
6	10YR2/2	黒褐	礫粒　焼土粒　炭粒多量	ソフト	
7	7.5YR4/4	褐	粘質　礫粒　ローム粒　ロームブロック	ややハード	
8	7.5YR4/3	褐	礫粒　ローム粒　ロームブロック 炭粒少量	ソフト	
9	7.5YR3/2	黒褐	礫粒　ローム粒　焼土粒　炭粒少量	ソフト	
10	10YR4/4	褐	礫粒　ローム粒　焼土粒	ややソフト	
11	10YR3/3 7.5YR4/4	暗褐　褐	ローム粒　焼土粒	ソフト	やや粘性
12	10YR4/3	にぶい黄褐	全粘質　礫粒　ローム粒	ややハード	
13	10YR3/3	暗褐	礫粒　ローム粒　基盤粒　焼土粒 炭粒少量	ややハード	
14	10YR2/3	黒褐	礫粒　ローム粒　炭粒少量	ソフト	
15	10YR4/4	褐	全粘質	ハード	
16	10YR2/3	黒褐	ローム粒　火山灰　炭粒少量	ソフト	
17	10YR3/4	暗褐	礫粒　ローム粒　ロームブロック　焼土粒 炭粒少量	ソフト	
18	10YR3/3	暗褐	礫粒　ローム粒　炭粒少量	ややソフト	
19	7.5YR4/4	褐	全ローム　炭粒微量	ややハード	粘性
20	7.5YR3/3 10YR3/3	暗褐	礫粒　ローム粒　基盤粒　玉砂利 炭粒微量	ソフト	
21	7.5YR4/3	褐	礫粒　ローム粒　ロームブロック　火山灰 炭粒微量	ソフト	
22	7.5YR3/4	暗褐	礫粒　ローム粒　基盤粒　炭粒少量	ややソフト	
VI-1	10YR4/4	褐	全粘質　礫粒　基盤粒　炭粒少量	ハード	
VI-2	10YR4/4	褐	全粘質　礫粒　焼土粒	ハード	
土壙5-イ	10YR2/2	黒褐	礫粒　ローム粒　焼土粒　炭粒少量	ソフト	
ロ	10YR2/3	黒褐	礫粒　ローム粒　ロームブロック 基盤粒　焼土粒　炭粒少量	ソフト	
ハ	10YR3/3 3/4	暗褐	礫粒　ローム粒　ロームブロック 基盤粒　炭粒少量	ソフト	
ニ	10YR2/3	黒褐	礫粒　ローム粒　基盤粒　炭粒少量	ソフト	
ホ	10YR2/3	黒褐	礫粒　ローム粒　炭粒微量	ソフト	
ヘ	10YR2/3 2/2	黒褐	礫粒　ローム粒　焼土粒微量　炭粒微量	ソフト	
土壙36-イ	10YR2/3	黒褐	ローム粒　炭粒多量	ソフト	
ロ	10YR4/3	にぶい黄褐	ローム粒　火山灰	ソフト	
ハ	10YR3/4	暗褐	全火山灰	ソフト	
ニ	10YR4/4	褐	礫粒　基盤粒	ハード	
ホ	10YR4/3	にぶい黄褐	礫粒　火山灰多量	ややハード	
溝45-イ	10YR2/3	黒褐	礫粒　ローム粒　基盤粒　炭化物 焼土粒　炭粒多量	ソフト	
ロ	10YR2/3	黒褐	礫粒　ローム粒　基盤粒　焼土粒 炭粒多量	ソフト	(イ)より炭粒多量
ハ	10YR2/3	黒褐	礫粒　ローム粒　基盤粒　焼土粒 炭粒多量	ソフト	(イ)よりしまりなし
ニ	7.5YR2/2	黒褐	礫粒　ローム粒　基盤粒　炭粒少量	ソフト	
ホ	10YR3/4	暗褐	ローム粒　基盤粒　焼土粒	ソフト	
ヘ	7.5YR2/2	黒褐	ローム粒　炭粒微量	ソフト	
ト	10YR3/3	暗褐	礫粒　ローム粒　基盤粒　炭粒少量	ソフト	
チ	10YR3/2	黒褐	礫粒　基盤粒　焼土粒　炭粒少量	ソフト	
リ	7.5YR2/3	極暗褐	礫粒　焼土粒　炭粒少量	ソフト	
ヌ	7.5YR3/2	黒褐	礫粒　ローム粒　基盤粒　炭粒少量	ソフト	(ト)より基盤粒多量
ル	10YR3/2	黒褐	礫粒　焼土粒　炭粒少量	ソフト	
溝85-あ	10YR3/3	暗褐	礫粒　基盤粒　焼土粒　炭粒少量	ソフト	
溝22-あ	10YR2/2	黒褐	礫粒　基盤粒　焼土粒　炭粒少量	ソフト	
い	10YR4/4	褐	礫粒　ローム粒　ロームブロック 火山灰　焼土粒	ソフト	
う	10YR4/3 7.5YR4/4	にぶい黄褐 褐	全粘土　礫粒　ローム粒　ロームブロック　炭粒少量	ソフト	粘性
え	10YR3/3	暗褐	ローム粒　火山灰少量　焼土粒　炭粒少量	ソフト	
お	10YR3/2	黒褐	礫粒　ローム粒　炭粒少量	ソフト	粘性
溝92-あ	7.5YR4/3	褐	礫粒　火山灰　焼土粒　炭粒少量	ソフト	
い	7.5YR4/4	褐	粘質　礫粒　ローム粒　ロームブロック　火山灰	ハード	
溝38-あ	7.5YR3/2	黒褐	礫粒　ローム粒　基盤粒　炭化物 炭粒微量	ソフト	

い	7.5YR4/4	褐	礫粒　ローム粒　ロームブロック　炭粒少量	ソフト	
溝47-イ	10YR3/3	暗褐	礫粒　ローム粒　ロームブロック　基盤礫粒	ややソフト	
ロ	7.5YR3/2	黒褐	礫粒　ローム粒　ロームブロック　基盤粒　炭粒少量	ソフト	
溝82-a	7.5YR3/2	黒褐	礫粒　ローム粒　基盤粒　焼土粒　炭粒少量	ソフト	
b	7.5YR3/2	黒褐	礫粒　ローム粒　炭粒少量	ソフト	
c	7.5YR2/2	黒褐	礫粒　ローム粒　焼土粒　炭粒多量	ソフト	
d	7.5YR3/3	暗褐	礫粒　ローム粒　炭粒少量	ソフト	
溝14-イ	10YR3/3	暗褐	礫粒　ローム粒　砂利多量　焼土粒　炭粒少量	ソフト	
溝か?-あ	10YR3/3	暗褐	礫粒　ローム粒　焼土粒　炭粒微量	ソフト	
い	10YR4/3	にぶい黄褐	礫粒　ローム粒　炭粒微量	ややハード	
P1364-あ	10YR2/3	黒褐	礫粒　ローム粒　焼土粒　炭粒少量	ソフト	
い	10YR2/3	黒褐	礫粒　ローム粒　焼土粒　炭粒多量	ソフト	
う	10YR2/3	黒褐	礫粒　ローム粒　焼土粒　炭粒多量	ソフト	
え	10YR2/3	黒褐	礫粒　ローム粒　焼土粒　炭粒多量	ソフト	
お	10YR2/3	黒褐	礫粒　ローム粒　焼土粒　炭粒多量	ソフト	
P1309-イ	7.5YR3/2	黒褐	礫粒　ローム粒　火山灰微量　炭粒微量	ソフト	
ロ	7.5YR3/3	暗褐	礫粒　ローム粒　焼土粒　炭粒少量	ソフト	
ハ	10YR4/2	灰黄褐	礫粒　ローム粒　火山灰多量　焼土粒　炭粒少量	ソフト	
ニ	10YR4/3	にぶい黄褐	礫粒　ローム粒　ロームブロック　玉砂利少量　火山灰多量	ソフト	
ホ	7.5YR4/4	褐	全粘質　礫粒　ローム粒	ハード	
P1103-イ	10YR4/3	にぶい黄褐	火山灰多量　焼土粒　炭粒少量	ソフト	
ロ	10YR4/3 3/3	にぶい黄褐 暗褐	礫粒　ローム粒　基盤粒　火山灰　焼土粒　炭粒少量	ソフト	
ハ	10YR3/3	暗褐	礫粒　ローム粒　ロームブロック　焼土粒　炭粒少量	ソフト	
ニ	7.5YR3/3	暗褐	礫粒　ローム粒　基盤粒　炭粒微量	ややハード	
ホ					
ヘ	7.5YR4/4	褐	全粘質　ローム粒　焼土粒	ハード	
P1028-イ	7.5YR3/3	暗褐	全ロームブロック　焼土粒　炭粒少量	ハード	
ロ	7.5YR3/2	暗褐	ロームブロック　焼土粒　炭粒少量	ソフト	
P998-イ	10YR3/3	暗褐	礫粒　ローム粒　火山灰　炭粒少量	ソフト	
P705-イ	10YR2/3	黒褐	礫粒　ローム粒　砂利　炭粒少量	ソフト	

表3　20J21・16・11・6.1・19J21・16・11東西セクション北壁土層〈C～C'〉

I-1	10YR2/3	黒褐	粗粒砂　小礫粒多量	ソフト	やや粗　草根多量
II-1	10YR3/3	暗褐	粗粒砂　小礫粒　基盤粒30%	ソフト	密
2	10YR3/3	暗褐	粗粒砂　礫粒10%　火山灰少量　焼土粒微量　炭粒微量		
III-1	10YR4/3	にぶい黄褐	粗粒砂　ローム粒多量　基盤小礫20%	ややソフト	やや粗
2	10YR3/4	暗褐	粗粒砂　小礫粒微量　ローム粒　10YR8/4火山灰微量　基盤礫粒　焼土粒	ソフト	密
3	10YR3/4	暗褐	粗粒砂　ローム粒50%　基盤礫粒10%　焼土粒　炭粒微量	ややハード	密
4	10YR4/4	褐	粗粒砂　小礫粒少量　ローム粒　基盤礫粒50%　炭粒	ハード	密
5	10YR2/3 3/3	黒褐　暗褐	粗粒砂　小礫粒　ローム粒　基盤礫粒少量　炭粒	ソフト	やや密
6	10YR3/4 2/3	暗褐　黒褐	粗粒砂　小礫粒　ローム粒　基盤礫　焼土粒　炭粒	ソフト	やや粗
7	10YR3/3 3/4	暗褐	粗粒砂　ローム粒　基盤礫粒　焼土粒　炭粒	ソフト	やや粗
8	10YR3/2	黒褐	やや粗粒砂　礫粒微量　ロームブロック40%　炭粒微量	ソフト	やや粗
9	10YR3/3 3/4 3/2 2/2	暗褐　黒褐	細粒砂　礫粒　ローム粒　ソフトローム　焼土粒微量　炭粒微量	ソフト	やや粗
10	10YR3/4 4/4	暗褐　褐	粗粒砂　小礫粒　ローム粒　10YR2/1ソフトローム　基盤礫粒　炭粒	ソフト	密
11	10YR4/4 3/4	褐　暗褐	粗粒砂　ローム粒　基盤礫粒　炭粒鬼少量　炭粒少量	ソフト	密
12	10YR2/3	黒褐	粗粒砂　10YR2/1ソフトローム50%　炭粒5%	ソフト	密
13	10YR3/4	暗褐	粗粒砂　小礫粒多量　炭粒鬼　炭粒少量	ソフト	密
14	10YR2/2	黒褐	粗粒砂　10YR3/3粗粒砂5%　炭粒1%	ソフト	密　骨小片10%
IV-1	10YR2/1	黒	ソフトローム　炭粒微量	ソフト	密
V-1	10YR4/6	褐	ソフトローム　基盤礫粒少量	ソフト	密
2	10YR4/3 4/4 3/3 2/2	にぶい黄褐 褐 暗褐 黒褐	細粒砂　礫粒　ローム粒　ソフトローム　焼土粒　炭粒	ソフト	密
VI-1	10YR4/4	褐	ローム粒　基盤礫粒50%　基盤礫少量	ややハード	やや密
2	10YR4/4 3/4	褐　暗褐	ローム粒　基盤礫粒微量　基盤礫50%	ややソフト	粗
3	10YR4/4	褐	ローム粒　基盤礫粒多量	ハード	密
4	10YR3/4	暗褐	ローム　基盤礫70%	ハード	密
5	10YR4/4	褐	礫粒少量　ソフトローム　炭粒	ソフト	密　土器片
竪穴77-あ	10YR3/4	暗褐	礫粒少量　ローム粒少量	ソフト	
溝7-イ	10YR3/4 3/3	暗褐	粗粒砂　ローム粒　10YR7/2 7/3火山灰少量　基盤礫	ややハード	密
ロ	10YR3/4	暗褐	粗粒砂　ローム粒30%　基盤礫粒40%　炭粒10%	ややハード	やや粗

ハ	10YR3/4	暗褐	粗粒砂　小礫粒多量　ローム粒50% 炭粒	ソフト	粗
ニ	10YR3/3	暗褐	粗粒砂　ローム粒少量　基盤礫粒50% 炭粒少量	ソフト	密
ホ	10YR3/4	暗褐	粗粒砂　ローム粒少量　基盤礫30% 基盤礫粒多量　炭粒	ソフト	粗
ヘ	10YR3/4	暗褐	粗粒砂　ローム粒50%　炭粒少量	ややハード	密
ト	10YR4/4	褐	粗粒砂　ローム粒少量　基盤礫粒少量 炭粒微量	ソフト	密
溝30-い	10YR3/4	暗褐	粗粒砂　炭粒微量	ソフト	やや密
ろ	10YR4/4	褐	粗粒砂　小礫粒少量　ローム粒　基盤 礫粒50%　炭粒	ソフト	やや密
は	10YR3/3	暗褐	粗粒砂　ローム粒少量　基盤礫粒10% 炭粒5%	ソフト	やや粗
に	10YR4/4 5/4	褐 にぶい黄褐	粗粒砂　小礫粒多量　ローム粒　基盤 礫粒多量	ややハード	密
溝29-イ	10YR3/4	暗褐	粗粒砂　ローム粒　基盤礫粒30% 炭粒	ハード	やや粗
ロ	10YR3/4	暗褐	粗粒砂　ローム粒　10YR6/3火山灰 少量　基盤礫少量　炭粒	ソフト	やや密
ハ	10YR2/3	黒褐	粗粒砂　ローム粒　基盤礫粒少量　焼 土粒5% 炭粒5%	ソフト	密
溝69あ	10YR2/3	黒褐	粗粒砂　ローム粒　基盤礫粒20%　焼 土粒少量 炭粒少量	ソフト	やや密
溝28-a	10YR2/2	黒褐	粗粒砂　ローム粒10%　基盤礫粒40% 炭粒	ややハード	密
b	10YR2/3	黒褐	粗粒砂　小礫粒少量　ローム少量 基盤礫粒1%	ソフト	密
c	10YR3/3 3/2	暗褐　黒褐	粗粒砂　ローム粒　基盤礫粒少量	ソフト	粗
D	10YR3/3	暗褐	粗粒砂　小礫粒少量　ローム粒少量	ソフト	密
溝38-い	10YR2/3	黒褐	粗粒砂　ローム粒微量　基盤礫	ソフト	密
ろ	10YR3/2	黒褐	粗粒砂　礫粒50%　ローム粒極微量	ソフト	粗
溝10-イ	10YR4/3	にぶい黄褐	粗粒砂　小礫粒多量　焼土粒微量 炭粒微量	ソフト	密
ロ	10YR3/3	暗褐	粗粒砂　小礫粒30%　ローム粒少量 基盤礫粒10%　焼土粒微量	ソフト	やや密
ハ	10YR2/3	黒褐	粗粒砂　小礫　基盤礫粒　炭粒微量	ソフト	粗
ニ	10YR2/3	黒褐	粗粒砂　小礫粒少量　炭粒少量	ソフト	やや粗
溝39-あ					
い	10YR3/3	暗褐	粗粒砂　小礫粒50%　ローム粒 基盤礫粒40%　炭粒少量	ソフト	粗
溝100-1	10YR2/3	黒褐	粗粒砂　ローム粒　基盤礫粒　焼土粒 極微量　炭粒	ソフト	密
2	10YR3/3	暗褐	粗粒砂　小礫粒　10YR6/3火山灰5% 炭粒少量	ソフト	やや粗
3	10YR2/3	黒褐	粗粒砂　小礫粒10%　基盤礫粒 炭粒少量	ソフト	やや密
4	10YR3/3	暗褐	粗粒砂　小礫粒　基盤礫粒　炭粒少量	ソフト	密
5	10YR4/4	褐	10YR3/3粗粒砂少量　ローム　基盤 礫粒30%　炭粒	ややハード	密
6	10YR3/3	暗褐	粗粒砂　小礫粒10%　基盤礫粒1% 炭粒少量	ソフト	やや密
7	10YR3/4	暗褐	粗粒砂　小礫粒　ローム粒　基盤礫粒 少量	ややハード	密
溝20-あ	10YR3/2 4/3	黒褐 にぶい黄褐	粗粒砂　礫粒少量　ローム粒塊 ローム粒微量	ソフト	やや密
溝14-イ	10YR3/3	暗褐	粗粒砂　礫粒微量　ローム粒微量 基盤礫粒5%	ソフト	やや密
ロ	10YR2/2	黒褐	粗粒砂　礫粒微量　10YR7/3火山灰 極微量	ソフト	密
ハ	10YR4/3 3/4	にぶい黄褐 暗褐	粗粒砂　礫粒　ローム粒　10YR7/8 火山灰微量	ややソフト	密
溝15-a	10YR3/2 4/3	黒褐 にぶい黄褐	粗粒砂　礫粒少量　ローム塊　ローム 粒微量	ソフト	やや粗
溝14-イ	10YR3/3	暗褐	粗粒砂　礫粒微量　ローム粒微量 基盤礫粒5%	ソフト	やや密
ロ	10YR2/2	黒褐	粗粒砂　礫粒微量　10YR7/3火山灰 極微量	ソフト	密
ハ	10YR4/3 3/4	にぶい黄褐 暗褐	粗粒砂　礫粒　ローム粒　10YR7/8 火山灰微量	ややソフト	密
溝15-a	10YR3/2 3/3	黒褐　暗褐	中粒砂混りの粗粒砂　礫粒微量 ローム粒微量　焼土粒微量	ソフト	粗
溝4イ	10YR3/4	暗褐	粗粒砂　礫粒多量　ローム粒微量 炭粒極微量	ややハード	やや粗
ロ	10YR3/3 4/3	暗褐 にぶい黄褐	中粒砂混りの粗粒砂　礫粒　小礫粒 ローム（粗粒砂混り）　ロームブロッ ク	ハード	密
溝-い	10YR4/3	にぶい黄褐	礫粒少量　ローム粒少量　焼土粒少量 炭粒少量	ソフト	やや密
ろ	10YR3/3	暗褐	礫粒微量　ローム粒　炭粒微量		やや密
は	10YR3/3 3/2	暗褐　黒褐	礫粒少量　ローム　炭粒微量	ソフト	やや粗
に	10YR5/6	黄褐	ローム主体　礫粒微量　焼土粒微量 炭粒微量	ややハード	密
95溝58-あ	10YR4/4 4/3	褐 にぶい黄褐	礫粒少量　ローム粒　ロームブロック 火山灰20%　焼土粒少量　炭粒	ややソフト	
い	10YR3/4	暗褐	礫粒少量　ローム粒少量　炭粒少量		やや密

う	10YR3/3	暗褐	礫粒少量　ローム粒少量　炭粒少量	ソフト	やや粗
え	10YR4/4	褐	礫粒少量　ローム粒少量　炭粒少量	ソフト	
P1329イ	10YR3/3 3/2	暗褐　黒褐	粗粒砂　基盤礫粒　基盤礫　炭粒	ソフト	やや粗
ロ	10YR4/4 4/3	褐 にぶい黄褐	粗粒砂　基盤礫粒少量　基盤礫	ややハード	密
ハ	10YR3/3	暗褐	粗粒砂　基盤礫粒多量	ソフト	やや密
-イ	10YR3/4	暗褐	粗粒砂　小礫粒30%　ローム粒　基盤礫粒30%　炭粒少量	ソフト	密
P1323ロ	10YR4/4	褐	粗粒砂　ローム粒80%　基盤礫粒10%	ソフト	粗
ハ	10YR4/3	にぶい黄褐	粗粒砂　礫粒70%　ロームブロック10%　基盤礫少量	ソフト	やや粗
ニ	10YR3/4	暗褐	粗粒砂　小礫粒50%	ソフト	粗
ホ	10YR4/4	褐	粗粒砂　基盤礫粒50%　基盤礫少量	ソフト	粗
ヘ	10YR3/4	暗褐	粗粒砂　基盤礫少量	ソフト	やや密
ト	10YR4/4	褐	粗粒砂　基盤礫粒多量　基盤礫少量	ややハード	やや密
-イ	10YR3/4	暗褐	粗粒砂　ローム粒微量　基盤礫粒少量	ハード	やや粗
P1277ロ	10YR4/4 4/6	褐	粗粒砂　小礫粒　ローム粒　基盤礫粒	ソフト	粗
ハ	10YR3/3 3/4	暗褐	細粒砂　小礫粒多量　ローム粒　基盤礫　焼土粒微量	ソフト	密
ニ	10YR4/3	にぶい黄褐	細粒砂　子　基盤礫粒	ソフト	密
ホ	10YR5/6	黄褐	小礫粒少量　ローム粒　基盤礫粒	ややソフト	密
P1254イ	10YR3/4 3/3	暗褐	粗粒砂　小礫粒多量　10YR6/4火山灰少量　基盤礫粒　焼土粒微量	ソフト	密
ロ	10YR3/3	暗褐	粗粒砂　ローム粒　基盤礫粒　基盤礫	ソフト	密
ハ	10YR3/4	暗褐	粗粒砂　ローム粒　基盤礫	ソフト	密
P1401イ	10YR2/3 3/3	黒褐　暗褐	粗粒砂　ローム粒　基盤礫粒　炭粒少量	ソフト	やや粗
ロ	10YR3/4	暗褐	粗粒砂　小礫粒多量　ローム粒少量　ロームブロック少量　炭粒5%	ソフト	やや粗
ハ	10YR4/3	にぶい黄褐	粗粒砂　小礫粒多量　ローム粒微量	ソフト	やや密
ニ	10YR3/4	暗褐	粗粒砂　礫粒多量　ローム粒微量	ソフト	やや密
ホ	10YR4/4	褐	粗粒砂　ローム　基盤礫粒50%	ややソフト	やや密
P1244-イ	10YR3/3	暗褐	粗粒砂　小礫粒　基盤礫粒30%　基盤礫10%　焼土粒少量　炭粒少量	ソフト	粗
ロ	10YR2/3	黒褐	粗粒砂　小礫粒30%　ローム粒微量　炭粒微量	ソフト	やや粗
ハ	10YR4/3	にぶい黄褐	粗粒砂　ローム粒微量　基盤礫80%	ソフト	やや粗
ニ	10YR4/4	褐	粗粒砂　ロームブロック30%　基盤礫少量	ソフト	粗
ホ	10YR3/3	暗褐	粗粒砂　礫粒50%　小礫粒多量　基盤礫少量　基盤礫少量　炭粒少量	ソフト	粗
ヘ	10YR3/3	暗褐	粗粒砂　礫粒　ローム粒少量　基盤礫粒少量　焼土粒微量　炭粒微量	ソフト	密
P1243-a	10YR2/3	黒褐	粗粒砂　小礫粒30%　ローム粒微量	ソフト	密
b	10YR3/3 3/4	暗褐	粗粒砂　小礫粒多量　ローム粒　基盤礫粒少量　炭粒微量	ソフト	密
P938-イ	10YR3/3	暗褐	粗粒砂　小礫粒　10YR2/1ソフトローム30%　ロームブロック40%　基盤礫粒	ソフト	やや粗
ロ	10YR3/3	暗褐	粗粒砂　ロームブロック80%　基盤礫　基盤礫粒多量	ややハード	やや密
ハ	10YR4/4	褐	ローム+10YR3/3粗粒砂少量　基盤礫粒少量　炭粒少量	ソフト	粗
ニ	10YR4/3	にぶい黄褐	10YR4/3中粒砂　ローム粒30%　基盤礫少量　基盤礫粒少量　炭粒少量	ソフト	密
P920-イ	10YR4/4 4/3	褐 にぶい黄褐	粗粒砂　礫粒　ローム　ロームブロック　炭粒少量	ソフト	粗
ロ	10YR3/4 4/4	暗褐　褐	礫粒少量　ローム　焼土粒少量	ややハード	密
ハ	10YR3/3 3/4	暗褐	粗粒砂　礫粒多量　ローム粒少量　ロームブロック少量　炭粒少量	ソフト	粗
ニ	10YR4/3	にぶい黄褐	粗粒砂　ローム粒　ロームブロック80%　炭粒少量	ソフト	粗
P919-イ	10YR4/3 3/3	にぶい黄褐 暗褐	粗粒砂　礫粒　ローム塊	ソフト	やや粗
P634-イ	10YR3/4 3/3	暗褐	粗粒砂　礫粒（全体に混入）　ローム粒50%　ロームブロック5%　炭粒少量	ソフト	粗
P-あ	10YR4/4	褐	粗粒砂　10YR3/3粗粒砂20%　礫粒少量　ソフトローム　焼土粒微量　炭粒微量	ソフト	密
P627-イ	10YR3/4	暗褐	粗粒砂　礫　小礫粒少量　ロームブロック30%	ソフト	粗
ロ	10YR4/4	褐	10YR3/4粗粒砂30%　小礫粒30%　ローム　炭粒少量	ややソフト	密　鉄（釘?）
ハ	10YR4/4	褐	10YR3/4粗粒砂少量　礫粒　ローム　焼土粒少量　炭粒少量	ハード	密
ニ	10YR3/4	暗褐	粗粒砂　小礫粒10%　ロームブロック50%　炭粒微量	ハード	密
P614-イ	10YR3/4 4/4	暗褐　褐	粗粒砂　礫粒少量　小礫粒少量　ローム　ローム粒微量　炭粒微量	ソフト	粗
P444イ	10YR3/4	暗褐	礫粒少量　ローム粒少量　炭粒	ややソフト	やや密
ロ	10YR3/4	暗褐	礫粒少量　ローム粒2%　炭粒1%	ややソフト	
ハ	10YR3/4	暗褐	礫粒少量　ローム粒少量　火山灰5%　炭粒	ややソフト	やや密
ニ	10YR4/3	にぶい黄褐	礫粒15%　ローム粒5%　炭粒3%	ややソフト	やや粗
ホ	10YR4/3 5/8	にぶい黄褐 黄褐	礫粒少量　ロームブロック　焼土粒　炭粒	ハード	やや密

へ	10YR4/3 5/8	にぶい黄褐 黄褐	礫粒1%　ロームブロック80%　炭粒1%	ハード	
Pか?-a	10YR3/3	暗褐	礫粒　ローム粒　焼土粒　炭粒		
b	10YR2/3	黒褐	礫粒少量　ローム粒少量　焼土粒少量 炭粒		
c	10YR3/2 10YR3/3	黒褐　暗褐	ローム粒　ロームブロック　火山灰 炭粒	ソフト	
D	10YR2/2 4/4.4/3.5/3	黒褐　褐 にぶい黄褐	ロームブロック　火山灰多量	ソフト	
P374-イ	10YR2/3 10YR3/3	黒褐　暗褐	礫粒　ローム粒　基盤粒　焼土粒 炭粒		
ロ	10YR3/2	暗褐	粗粒砂　礫粒少量　ローム粒少量 ロームブロック　火山灰　炭粒	ソフト	
ハ	10YR3/3	暗褐	粗粒砂　礫粒少量　ローム粒少量 ロームブロック　火山灰　炭粒	ソフト	
ニ	10YR3/3 10YR4/3	暗褐 にぶい黄褐	粗粒砂　火山灰　炭粒	ソフト	密
P-イ	10YR3/3	暗褐	礫粒　ローム粒少量　焼土粒微量 炭粒微量		
ロ	10YR3/3 10YR3/2	暗褐　黒褐	礫粒　ローム粒　焼土粒微量	ハード	
ハ	10YR3/2 10YR2/3	黒褐	礫粒少量　ローム粒少量	ソフト	
P341-イ	10YR2/3 10YR3/3	黒褐　暗褐	礫粒少量　ローム粒少量　焼土粒少量 炭粒微量		
ロ	10YR2/3	黒褐	礫粒少量　ローム粒少量　炭粒微量		
ハ	10YR2/2	黒褐	礫粒少量　ローム粒少量　焼土粒微量	ソフト	
ニ	10YR3/3	暗褐	ローム粒少量	ソフト	

表4　20K9・10・20J6・7・8・9・10・20I6・7・8南北セクション西壁土層〈D〜D'〉

I-1	10YR3/3 2/3.3/4.4/4	暗褐　黒褐 褐	礫粒　ローム粒　基盤礫　砂利　砂粒 砕石	ややソフト	粗　草根
2	10YR4/3 3/3.3/4 2/3.4/4	にぶい黄褐 暗褐　黒褐 褐	小礫粒　礫粒　ローム粒　基盤粒 焼土粒　粗粒砂　火山灰　炭粒	ややハード	土器
II-1	10YR3/4	暗褐	礫粒微量　ローム粒微量　砂粒5% 炭粒微量	ややハード	
2	10YR3/4	暗褐	礫粒　ローム粒　基盤礫　砂粒微量 火山灰　炭粒微量	ソフト	
3	10YR3/4	暗褐	礫粒　ローム粒　炭粒	ややソフト	
III-1	10YR3/4	暗褐	礫粒　ローム粒　炭粒微量	ややソフト	
2	10YR3/3	暗褐	礫粒　ローム粒　炭粒微量	ややソフト	
3	10YR3/4	暗褐	礫粒　基盤礫7cm大30cm大2こ	ハード	
4	10YR3/4	暗褐	礫粒　ローム粒	ハード	
5	10YR3/3	暗褐	ローム粒　炭粒微量	ややソフト	
6	10YR3/4	暗褐	ローム粒　炭粒微量	ややソフト	
7					
8	10YR3/4	暗褐	粘質　礫粒	ハード	
9	10YR3/4 10YR2/2	暗褐　黒褐	礫粒　ローム粒　ロームブロック 炭粒	ややソフト	
10	10YR3/4	暗褐	粘質　礫粒	ハード	
11	10YR4/4	褐	粘質　礫粒	ハード	III-10より明るい
12	10YR4/2	灰黄褐	礫粒　ローム粒　基盤粒少量　火山灰 30%　炭粒	ややソフト	
13	10YR4/3	にぶい黄褐	礫粒　礫　ローム粒　基盤粒　炭粒	ハード	土器　焼土粒
14	10YR2/3	黒褐	礫粒　ローム粒　基盤粒　炭粒	ソフト	
15	7.5YR3/3	暗褐	礫粒　ローム粒　ロームブロック状 焼土粒　炭粒微量	ハード	土器
16	7.5YR4/3 7.5YR2/1	褐　黒	整地　ローム粒　焼土粒　炭粒		
17	7.5YR3/3 7.5YR3/2	暗褐　黒褐	礫粒　ローム粒　ロームブロック 焼土粒　炭粒	ソフト	
18	7.5YR3/3	暗褐	整地　ローム粒　ロームブロック 焼土粒　炭粒微量	ややハード	
19	7.5YR4/3	褐	礫粒　ローム粒　炭粒微量	ややハード	
20	7.5YR3/1 3/2.3/3	黒褐　暗褐	整地　ローム粒　ロームブロック少量 焼土粒　炭粒多量	ソフト	土器
21	7.5YR3/3	暗褐	礫粒　ローム粒　焼土粒　炭粒微量	ソフト	土器
22	7.5YR3/3	暗褐	ローム粒　ロームブロック　焼土粒 炭粒少量	ややハード	
23	7.5YR4/4 7.5YR4/3	褐	ローム粒　ロームブロック　焼土粒 炭粒少量		陶磁器1こ　土器
24	7.5YR3/3 7.5YR3/4	暗褐	礫粒　ローム粒　炭粒少量	ソフト	
25	7.5YR4/4	褐	礫粒　ローム粒　ロームブロック 炭粒微量	ハード	
26	7.5YR4/3	褐	礫粒　ローム粒　炭粒少量	ハード	
土壙30	10YR2/3	黒褐	ローム粒　火山灰多量　焼土粒　炭化材	ソフト	
溝56-イ	7.5YR3/3	暗褐	礫粒　ローム粒　炭粒微量	ソフト	
溝6-あ	7.5YR3/3	暗褐	ローム粒　炭粒微量	ソフト	
い	7.5YR3/3	暗褐	ローム粒　炭粒微量	ハード	
溝73-あ	10YR2/2 10YR4/6	黒褐　褐	礫粒　ローム粒　ロームブロック 炭粒	ソフト	粘性
い	10YR4/3	にぶい黄褐	礫粒　ローム粒	ややソフト	
溝72A	10YR3/1	黒褐	礫粒　ローム粒　ロームブロック　基盤粒 炭粒	ソフト	
溝か?-イ	10YR3/3	暗褐	礫粒　礫　ローム粒　基盤粒　基盤礫 炭粒	ソフト	

溝49-イ	10YR3/3	暗褐	礫粒 ローム粒 ロームブロック 炭粒	ソフト	
ロ	10YR3/3	暗褐	礫粒 ローム粒 基盤粒 焼土粒 炭粒	ややソフト	
溝50-あ	10YR3/4 10YR4/4	暗褐 褐	礫粒 ローム粒 ロームブロック 炭粒微量		土器
段覆土-あ	10YR3/3	暗褐	礫粒 ローム粒 基盤粒 炭粒	ややソフト	
い	10YR2/3	黒褐	礫粒 ローム粒 基盤粒 玉石	ややソフト	
う	10YR3/3	暗褐	ローム粒 ロームブロック	ソフト	
え	10YR2/3	黒褐	礫粒 ローム粒 基盤粒 炭粒	ソフト	
お	7.5YR3/2	黒褐	礫粒 ローム粒 ロームブロック 炭粒少量	ソフト	土器
か	10YR4/3	にぶい黄褐	礫粒 ローム粒 ロームブロック	ソフト	
溝66-イ	10YR2/3	黒褐	礫粒 ローム粒 基盤粒 火山灰5% 玉石	ややソフト	
ロ	10YR3/4	暗褐	礫粒 ローム粒 全ローム質 基盤粒	ややソフト	
ハ	10YR3/3	暗褐	礫粒 礫 ローム粒 基盤粒 玉石	ややソフト	
溝a	10YR4/4 10YR4/3	褐 にぶい黄褐	礫粒 ローム粒 基盤粒 焼土粒 全ローム質 炭粒	ハード	
溝b	7.5YR3/2	黒褐	礫粒 ローム粒 ロームブロック 火山灰 焼土粒	ソフト	
溝c	7.5YR3/3	暗褐	礫粒 ローム粒 炭粒微量	ややソフト	
溝d	7.5YR3/2	黒褐	ローム粒 ロームブロック 火山灰 焼土粒	ソフト	
溝47-イ	10YR3/2	黒褐	ローム粒 焼土粒 炭粒多量	ややソフト	
ロ	10YR2/1	黒	ローム粒 焼土粒 炭粒多量	ややソフト	
溝82あ	10YR2/2	黒褐	ローム粒 炭粒多量	ややソフト	
溝39-イ	10YR3/3	暗褐	礫粒 ローム粒 粗粒砂 焼土粒極微量 炭粒極微量	ややハード	やや粗
ロ	10YR4/4	褐	ローム粒 粗粒砂 炭粒極微量	ややハード	やや密
ハ	10YR3/3	暗褐	礫粒 ローム粒 粗粒砂 炭粒微量	ややハード	やや粗
ニ	10YR4/3 10YR4/4	にぶい黄褐 褐	ローム粒 粗粒砂 基盤礫 炭粒微量	ややハード	密
P845-イ	7.5YR3/2	黒褐	礫粒 ローム粒 焼土粒	ややハード	
ロ	10YR3/4 7.5YR3/3	暗褐	礫粒 ローム粒 ロームブロック 焼土粒 炭粒少量	ややハード	
ハ	10YR4/4	褐	礫粒 全ローム粒 焼土粒 炭粒微量	ハード	密
ニ	7.5YR4/3	褐	礫粒 ローム粒 ロームブロック 焼土粒 炭粒微量	ややハード	粘性
ホ	7.5YR4/2	灰褐	礫粒 ローム粒 焼土粒 炭粒微量	ややソフト	粘性
ヘ	7.5YR4/4	褐	礫粒 ローム粒 焼土粒 炭粒微量	ややソフト	
ト	7.5YR4/4	褐	礫粒 ローム粒 全ロームブロック	ややハード	
チ	7.5YR4/4	褐	礫粒 ローム粒 全ロームブロック	ソフト	
P844-イ	10YR2/1	黒	礫粒 ローム粒 炭粒	ソフト	
ロ	10YR3/3	暗褐	礫粒 ローム粒 ロームブロック 炭粒	ソフト	
ハ	10YR2/2	黒褐	礫粒 ローム粒 ロームブロック 炭粒	ソフト	
P999-イ	10YR3/3	暗褐	礫粒 ローム粒 焼土粒 炭粒少量	ややソフト	
P995-イ	10YR4/4	褐	礫粒 ロームブロック 基盤礫粒 粗粒砂 焼土粒 炭粒	ソフト	密
ロ	10YR3/4	暗褐	礫粒 ローム粒 ロームブロック 基盤礫粒 粗粒砂 炭粒微量	ソフト	密
ハ	10YR4/4	褐	礫粒 ローム粒 ロームブロック 粗粒砂 炭粒少量	ややハード	密
ニ	10YR4/3	にぶい黄褐	礫粒 ロームブロック 粗粒砂 中粒砂	ソフト	やや粗
ホ	10YR3/4	暗褐	礫粒 ロームブロック 粗粒砂 炭粒微量	ソフト	やや密
P1003-イ	10YR3/3	暗褐	礫粒 粗粒砂 焼土粒 炭粒	ややソフト	やや粗 草根
ロ	10YR3/3	暗褐	礫粒 ローム粒 基盤礫粒 粗粒砂 炭粒微量	ソフト	密
ハ	10YR3/3 10YR3/4	暗褐	礫粒 ローム粒多量 粗粒砂 中粒砂 炭粒微量	ソフト	やや密
ニ	10YR3/4 3/3.4/4	暗褐 褐	礫粒 ローム粒 基盤礫粒 中粒砂 粗粒砂 焼土粒 炭粒	ソフト	密
P1000-イ	10YR4/4 10YR4/6	褐	礫粒 ローム粒 ロームブロック 基盤礫 中粒砂	ソフト	やや粗
ロ	10YR4/4	褐	礫粒 基盤礫粒 粗粒砂 中粒砂 炭粒少量	ハード	やや粗
ハ	10YR4/6	褐	ロームブロック 基盤礫粒 粗粒砂 中粒砂	ややハード	やや密
P963-あ	10YR2/3	黒褐	礫粒 ロームブロック 中粒砂 炭粒少量	ソフト	粗
P903-イ	10YR3/3	暗褐	礫粒 ローム粒 炭粒微量	ややハード	
ロ	10YR3/3	暗褐	基盤礫4cm大5%	ややハード	
ハ	10YR3/4	暗褐	ロームブロック 基盤礫50% 炭粒微量		

表5　20I18・17・16南北セクション西壁土層 〈E～E'〉

Ⅰ-1	10YR4/3	にぶい黄褐	礫粒 炭粒		土器
Ⅱ-1	10YR3/4	暗褐	礫粒 焼土粒 玉砂利少量 炭粒		土器
Ⅲ-1	7.5YR3/4	暗褐	ローム粒		
2	7.5YR3/3	暗褐	礫粒 ローム粒 炭粒微量	ソフト	
3	10YR4/3	にぶい黄褐	礫粒 焼土粒 炭粒微量	ハード	
4	10YR3/3 10YR4/3	暗褐 にぶい黄褐	礫粒 ローム粒 焼土粒やや多量 炭粒微量	ややソフト	やや暗い

5	10YR4/3	にぶい黄褐	礫粒　ローム粒　ロームブロック　焼土粒やや多量　炭粒微量	ややハード	
6	10YR3/3	暗褐	礫粒　焼土粒　炭粒微量	ややソフト	
7	7.5YR3/3	暗褐	礫粒　ローム粒　焼土粒	ソフト	
8	7.5YR3/3	暗褐	礫粒　ローム粒　焼土粒	ややハード	
9	10YR4/4	褐	礫粒　焼土粒　玉砂利		土器
10	10YR4/3	にぶい黄褐	礫粒　ロームブロック　焼土粒　炭粒微量	ややハード	
11	7.5YR3/3	暗褐	礫粒　ローム粒　焼土粒　炭粒多量	ソフト	
12	10YR4/4	褐	礫粒　ロームブロック状　焼土粒　玉砂利　炭粒微量	ハード	
13	7.5YR3/3	暗褐	礫粒　ローム粒　ロームブロック　炭粒少量	ソフト	〈III-11〉より明るい
14	7.5YR3/3	暗褐	礫粒　ロームブロック　焼土粒　炭粒少量	ややソフト	土器
15					
16	10YR4/3 10YR3/3	にぶい黄褐	礫粒　焼土粒　炭粒微量	ややソフト	
17	10YR4/4	褐	礫粒　焼土粒　炭粒微量	ハード	土器
18	7.5YR3/3	暗褐	礫粒　ロームブロック　焼土粒　炭粒微量	ハード	土器
19					
20	10YR4/3	にぶい黄褐	礫粒　焼土粒　炭粒微量	ハード	
21					
22	7.5YR4/3	褐	礫粒　ローム粒やや多量　焼土粒	ハード	
23	7.5YR4/4	褐	礫粒　ローム粒　焼土粒　炭粒やや多量	ややソフト	土器
24	7.5YR3/3	暗褐	礫粒　ローム粒　玉砂利　炭粒少量	ややハード	
25	7.5YR3/3	暗褐	礫粒　ロームやや多量　ロームブロック　炭粒多量	ややハード	明るい
26	7.5YR3/4	暗褐	礫粒　ローム粒　ロームブロック　炭粒多量	ハード	
27	7.5YR4/4	褐	ローム粒　炭粒微量	ソフト	土器
28	7.5YR4/3	褐	ローム粒　火山灰少量	ソフト	
土壙1-あ	7.5YR3/3	暗褐	礫粒　ローム粒　焼土粒　炭粒微量	ややハード	
い	7.5YR3/3	暗褐	礫粒　ローム粒　焼土粒　炭粒微量	ややソフト	
う	7.5YR3/3	暗褐	礫粒　焼土粒　炭粒少量	ややハード	
え	7.5YR4/4	褐	全粘質　礫粒　焼土粒　炭粒微量	ハード	
お	7.5YR4/4	褐	礫粒　焼土粒　炭粒微量	ソフト	
溝イ	7.5YR3/3	暗褐	礫粒　焼土粒微量		土器
ロ	7.5YR2/1	黒	礫粒　ローム粒　全炭粒多量		
ハ	7.5YR3/3	暗褐	礫粒　ローム粒　焼土粒　炭粒微量		
溝56-イ	7.5YR3/3	暗褐	礫粒　焼土粒　炭粒微量		
ロ	7.5YR3/3	暗褐	礫粒　ローム粒　ロームブロック　焼土粒　炭粒微量	ハード	
ハ	7.5YR3/3	暗褐	暗褐色		混りなし
ニ	7.5YR3/3	暗褐	礫粒　玉砂利少量		
ホ	7.5YR3/3	暗褐	礫粒　ローム粒　炭粒微量		
ヘ	7.5YR3/3	暗褐	礫粒　ローム粒　火山灰少量　炭粒微量		
溝?-あ	7.5YR4/3	褐	礫粒　ローム粒　焼土粒微量　玉砂利	ややハード	
溝6-イ	7.5YR3/3	暗褐	礫粒　ローム粒　炭粒微量		やや暗い
溝-イ	10YR4/3	にぶい黄褐	礫粒　ローム粒　焼土粒　炭粒微量	ややハード	
ロ	10YR4/3	にぶい黄褐	礫粒　ローム粒　焼土粒	ややハード	
ハ	10YR4/3	にぶい黄褐	やや粘質　礫粒　ローム粒　焼土粒　玉砂利少量　炭粒微量	ハード	
ニ	10YR4/3	にぶい黄褐	礫粒　ローム粒　炭粒微量		
P-イ	7.5YR3/3	暗褐	礫粒　炭粒微量		
ロ	10YR4/3	にぶい黄褐	礫粒　ローム粒　焼土粒　炭粒少量	ややソフト	
ハ	7.5YR3/3	暗褐	礫粒　ローム粒　ロームブロック　炭粒少量		土器

表6　21I1・20I22東西セクション南壁土層〈F～F'〉

I-1	10YR2/3	黒褐	礫粒　ローム粒　基盤粒	ややソフト	C
III-1	10YR3/3	暗褐	礫粒　ローム粒	ソフト	C少量　土器
2	10YR2/3	黒褐	礫粒　ローム粒	ややソフト	C　焼土粒少量
3	10YR3/3 10YR3/4	暗褐	礫粒　ローム粒　ロームブロック少量　基盤粒　礫	ハード	
4	10YR3/3	暗褐	全ローム質	ややハード	
5	10YR4/4	褐	全ローム質	ハード	焼土粒微量
6	10YR4/3	にぶい黄褐	全ローム質　小礫	ややハード	C微量
7	10YR4/3	にぶい黄褐	全ローム質　小礫	ややハード	C　焼土粒
8	10YR3/3	暗褐	礫粒　ローム粒　小礫	ややハード	C少量
9	10YR3/3	暗褐	礫粒　ローム粒　基盤粒	ややハード	C微量
杭穴-イ	10YR4/3	にぶい黄褐	礫粒　ローム粒　ロームブロック少量　小礫	ソフト	
溝57-あ	10YR4/3	にぶい黄褐	礫粒　ローム粒	ややソフト	
溝56-イ	10YR3/3	暗褐	礫粒　ローム粒　ロームブロック少量　基盤粒　礫	ややソフト	C
ロ	7.5YR3/3	暗褐	礫粒　ローム粒　礫	ソフト	
ハ	10YR4/3	にぶい黄褐	礫粒　ローム粒　基盤粒	ややハード	C
ニ	10YR3/3	暗褐	礫粒　ローム粒　緑黄色礫粒　基盤粒少量　礫	ややソフト	C
ホ	10YR3/3	暗褐	礫粒　ローム粒　基盤粒	ややハード	C少量
ヘ	10YR3/3	暗褐	礫粒　ローム粒　基盤粒	ややソフト	
ト	10YR3/3	暗褐	礫粒　ローム粒　基盤粒	ソフト	C
溝6-あ	10YR3/3	暗褐	礫粒　ローム粒　ロームブロック	ソフト	土器
い	7.5YR3/3	暗褐	礫粒　ローム粒　ロームブロック	ややソフト	
溝59-イ	10YR4/3	にぶい黄褐	礫粒　ローム粒　ロームブロック　基盤粒	ややハード	C　焼土粒
ロ	10YR4/3	にぶい黄褐	礫粒　ローム粒　ロームブロック多量	ハード	C微量

ハ	10YR4/3	にぶい黄褐	礫粒　ローム粒　小礫	ややソフト	
ニ	10YR4/4	褐	礫粒　ローム粒　基盤粒　小礫	ややソフト	C
ホ	10YR3/4	暗褐	礫粒　ローム粒　ロームブロック　基盤粒	ハード	C
ヘ	10YR3/4	暗褐	礫粒　ローム粒　小礫	ソフト	C　土器
ト	10YR3/3	暗褐	礫粒　ローム粒　小礫	ソフト	C
チ	10YR3/3	暗褐	礫粒　ローム粒　小礫	ソフト	C
溝22-イ	10YR3/4	暗褐	礫粒　ローム粒　火山灰	ややハード	
ロ	10YR3/4	暗褐	礫粒　ローム粒	ハード	C
ハ	10YR3/4	暗褐	礫粒　ローム粒	ややハード	C

表7　19K12・7・2・18K22東西セクション北壁土層〈G～G'〉

Ⅰ-1	10YR3/3	暗褐	礫粒　砂礫		粗　木根
2	10YR3/4	暗褐	礫粒　基盤礫　炭粒	ハード	
Ⅲ-1	10YR4/3	にぶい黄褐	礫粒　基盤礫	ハード	
2	10YR3/4	暗褐	礫粒　ローム20%　砂粒	ハード	
3	10YR3/4	暗褐	礫粒　砂粒	ハード	
4	10YR3/4	暗褐	礫粒　砂粒	ハード	
5	10YR3/4	暗褐	礫粒　砂粒	ハード	
溝21-イ	10YR3/4	暗褐	礫粒　小礫1こ　ローム粒	ややハード	
ロ	10YR3/3	暗褐	礫粒　小礫　火山灰5%　炭粒	ややソフト	
ハ	10YR3/3	暗褐	礫粒微量　ローム粒	ソフト	
溝25-あ	10YR3/3	暗褐	礫粒　火山灰5%　炭粒	ややハード	
い	10YR3/4	暗褐	礫粒　ローム粒	ややハード	
溝52-い	10YR3/4	暗褐	礫粒　ローム粒微量	ソフト	
ろ	10YR3/3	暗褐	礫粒微量　ローム粒	ソフト	
溝24-イ	10YR3/3	暗褐	礫粒微量　ローム粒　火山灰40%	ソフト	
ロ	10YR2/2	黒褐	礫粒　ローム粒微量	ソフト	
ハ	10YR2/2	黒褐	礫粒微量　ローム粒微量　火山灰微量	ソフト	
ニ	10YR2/2	黒褐	礫粒微量　ローム粒	ソフト	
溝51-あ	10YR3/4	暗褐	礫粒　ローム粒　火山灰40%	ややハード	
い	10YR3/4	暗褐	礫粒　ローム40%	ややハード	
P39-イ	10YR3/4	暗褐	礫粒　ローム40%		
ロ	10YR3/3	暗褐	礫粒　ローム10%		
ハ	10YR3/4	暗褐	礫粒　ローム50%		
P17-イ	10YR3/4	暗褐	ロームブロック30%　砂利　火山灰	ハード	
ロ	10YR3/3	暗褐	ロームブロック5%　砂利　火山灰	ややハード	
ハ	10YR3/3	暗褐	礫粒　ローム粒　砂利	ややハード	
P53-あ	10YR4/4	褐	ローム60%　砂利		
P165イ	10YR3/4	暗褐	ローム粒　基盤礫　砂利	ハード	
P195イ	10YR3/1	黒褐	礫粒　ローム粒微量　焼土粒	ソフト	
P284イ	102/3	黒褐	礫粒　小礫　ローム粒	ややソフト	

表8　19L10・19K6・7・8南北セクション東壁土層〈H～H'〉

Ⅰ-1	10YR3/4 10YR4/3	暗褐 にぶい黄褐	礫粒　ロームブロック　砂粒　炭粒	ハード	草、木根
2	10YR3/3	暗褐	礫粒　ローム粒　砂粒　焼土粒極小　炭粒微量	ハード	
3	10YR3/4 10YR3/3	暗褐	礫粒　ローム粒　ロームブロック　砂粒　玉砂利　炭粒微量	ハード	粗　草、木根多量
Ⅲ-1	10YR3/4	暗褐	礫粒微量　ローム粒	ハード	
2	10YR3/3 3/4　4/3	暗褐 にぶい黄褐	礫粒微量　円礫1こ　ローム粒　ロームブロック40%　砂利　砂粒5%	ハード	
3	10YR3/4	暗褐	礫粒微量　基盤礫1cm大	ハード	
4	10YR4/6	褐	礫粒　ローム質	ハード	
5	10YR4/4	褐	礫粒　ローム質　砂粒微量	ハード	
6	10YR4/4	褐	礫粒　ローム質　砂粒微量	ハード	
7	10YR4/3	にぶい黄褐	礫粒微量　ローム60%	ハード	
溝53-イ	10YR3/4	暗褐	礫粒　ローム粒微量	ややハード	
ロ	10YR4/3	にぶい黄褐	礫粒　砂粒微量	ハード	
溝101-あ	10YR4/4	褐	礫粒40%　火山灰微量	ハード	
い	10YR4/4	褐	礫粒微量	ハード	
P26-イ	10YR4/3	にぶい黄褐	礫粒微量　ローム10%　炭粒		
Pa	10YR4/4	褐	礫粒　ローム質　砂粒微量		
P110-イ	10YR4/6	褐	礫粒　ローム質	ハード	
ロ	10YR4/4	褐	礫粒微量　ローム質　砂粒微量	ハード	
P113-イ	10YR3/3	暗褐	礫粒微量　ローム20%　砂利微量　炭粒5%		
P195-イ	10YR3/4	暗褐	礫粒微量　ロームブロック50%　砂粒微量　炭粒微量	ややハード	
ロ	10YR3/3	暗褐	礫粒微量　ロームブロック20%　炭粒	ややソフト	
P196-あ	10YR3/4 YR103/3	暗褐	礫粒微量　ロームブロック30%　砂粒微量　炭粒微量	ややハード	
い	10YR3/3	暗褐	ロームブロック30%　砂粒　炭粒5％	ややハード	
P201い	10YR4/4	褐	礫粒微量　ロームブロック60%　砂粒	ハード	
P237イ	10YR4/4	褐	礫粒微量	ロームブロック50%　砂粒　砂利　炭粒	ハード
P241-イ	10YR2/3	黒褐	礫粒　ローム粒　砂粒微量　炭粒	ソフト	
ロ	10YR3/4	暗褐	礫粒　ローム60%　砂粒微量　炭粒	ハード	
ハ	10YR2/2	黒褐	礫粒　ローム粒　炭粒	ソフト	木根
ニ	10YR3/3	暗褐	礫粒　ローム粒　砂粒　炭粒	ややハード	
P242-あ	10YR4/4	褐	礫粒　ローム80%　砂粒微量	ハード	

置し、同地区全体にまたがっている。桁行6間、梁間3間の南北棟を想定した。建物軸線はN39゜Wである。桁行は全長36尺で、柱間は6尺等間である。南端柱穴を欠失する。梁間は全長19.5尺で、柱間は6.5尺等間である。建物内部は北側部分では桁行2間目及び梁間部分にも間仕切が入り、総柱状となる。南側部分でも桁行2間目に間仕切が入り、梁間部分にも東側1間目に間仕切を持つ。他建物跡との関係では東側桁行P173が1号建物跡柱穴に切られ、北側梁間ではP67、57が3号建物跡柱穴に切られる。地割面積64.54㎡、建物跡面積もほぼ同じである。溝52がこの建物跡に付属すると考えられる。

第3号建物跡（第8図）　調査区北端18K16、17、21、22、18L20、25、19K1、2区の地割面内に位置し、同地区全体にまたがっている。桁行5間、梁間3間の南北棟を想定した。建物軸線はN38.5゜Wである。桁行は全長33尺で、柱間は6.6尺等間である。南端柱穴を欠失する。梁間は全長19.2尺で、柱間は6.4尺等間である。建物内部は北側部分では桁行1間、梁間は東から1間目に間仕切が入る。南側部分では桁行2間、梁間はこの部分にすべて間仕切が入り、総柱状となる。他建物跡との関係では西側桁行柱穴P191は1号建物跡柱穴、P56は2号建物跡柱穴を切っている。地割面積64.54㎡、建物跡面積58.2㎡。溝24がこの建物跡に付属すると考えられる。

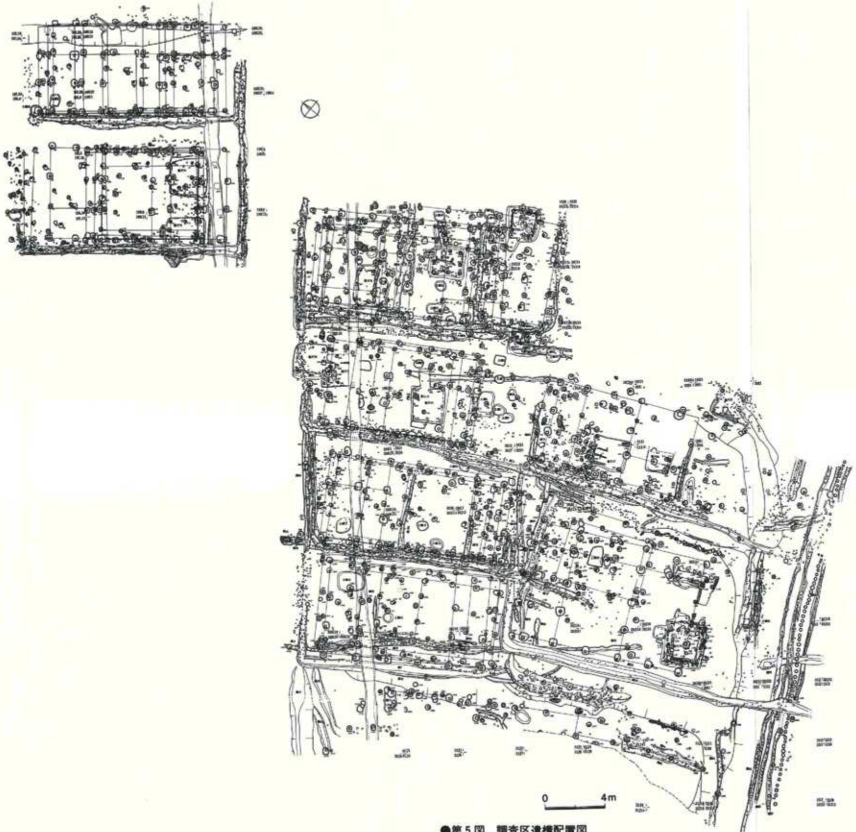
第4号建物跡（第9図）　調査区内19L5、19K6、7、11、12の地割面内に位置し、この内19K6、7区を中心に位置する。桁行3間、梁間3間の南北棟を想定した。建物軸線はN40゜Wである。桁行は全長19.8尺で柱間は6.6尺等間である。梁間は桁行と全長、柱間は全く同じである。東西桁行、南側梁間の柱穴1基を欠失する。南西端柱穴はこの箇所での柱穴の切り合いが激しくつかめなかった。他建物跡との関係では、残存している柱穴すべてが7号建物跡柱穴に切られている。同地割面内にある竪穴74、75よりも新しい。地割面積94.5㎡の内建物面積36㎡である。

第5号建物跡（第10図）　調査区内19L5、19K6、7、11、12の地割面内に位置し、この内19K6、7区を中心に位置する。桁行4間、梁間3間の南北棟を想定した。建物軸線はN40゜Wである。桁行は全長25.7尺。柱間は北から6.6尺、7.9尺、5.6尺、5.6尺である。梁間は全長19.2尺。柱間は6.4尺等間である。建物内部は桁行北から2間目に間仕切、それをさらに梁間1間で仕切っている。他建物跡との関係では、6号建物跡柱穴により、南側梁間柱穴P242、229が切られている。　地割面積94.5㎡の内建物面積45.18㎡である。溝38がこの建物に付属する。尚中世の通路側溝である溝55がこの溝38と同時に機能したと考えられる

第6号建物跡（第11図）　調査区内19L5、19K6、7、11、12の地割面内に位置し、この内19K6、7区を中心に位置する。桁行4間、梁間3間の南北棟を想定した。建物軸線はN37゜Wである。桁行は全長23.1尺。柱間は北から8.9尺、6.6尺、7.6尺である。梁間は全長19.1尺。柱間は東から6.6尺、6.6尺、5.5尺である。建物内部は側柱のみで間仕切もなく、比較的小規模な建物である。他建物跡との関係では南側梁間P241、228が5号建物跡を構成する柱穴を切り、7号建物跡柱穴に切られている。また西側桁行P150、205が7号建物跡柱穴に切られる。地割面積94.5㎡のうち建物面積40.53㎡である。溝25がこの建物跡に付属する。なおこの溝25と中世の通路側溝である溝55が同時に機能したと考えられる。

第7号建物跡（第12図）　調査区内19L5、19K6、7、11、12の地割面内に位置し、この内19K6、7区を中心に位置する。桁行6間、梁間3間の南北棟を想定した。建物軸線はN39゜Wである。桁行は全長38.4尺、柱間は北側2間、南側2間は5.9尺で中央部分2間は6.9尺、7.9尺となる。梁間は全長19.8尺。柱間は6.6尺等間である。建物内部は北側部分では桁行2間目に間仕切が入り、この空間の中でさらに梁間北側西から1間目が仕切られる。南側部分では桁行、梁間ともすべてに間仕切が入り総柱状となる。またこの建物跡中央部分P109、199、158、141で囲まれた空間には堅致な盛土層が厚く堆積している。他建物跡との関係では東側桁行P109、199、240は4号建物跡柱穴を、西側桁行中央部P148は6号及び4号建物跡柱穴を切っている。梁間部分でもP226、217は、4号及び6号建物跡の柱穴を切っている。地割面積94.5㎡のうち建物跡面積は69.84㎡である。この地割面の中で最も新しい建物跡である。溝21がこの建物跡に付属する。

第8号建物跡（第13図）調査区内19L5、19K6、7、11、12区の地割面内に位置し、この内19K6、



●第５図　調査区遺構配置図

7、11、12区に位置する。桁行3間、梁間2間の南北棟を想定した。桁行は全長21.7尺。柱間は北から2間は7.6尺、南側1間は6.5尺である。梁間は全長14.2尺で、柱間は7.1尺等間である。建物跡は側柱の建物で、同じ地割面のどの建物跡とも柱穴が重複していない。またこの建物跡を区画する溝も検出されていない。同じ地割面内の4～7号の建物跡は相互に柱穴の切り合いが見られ、竪穴74、75とも重複し竪穴より新しいが、この建物跡については竪穴とも切りあっておらず新旧関係も不明である。地割面積94.5m²のうち建物跡面積28.251m²

柵列（付図）

柵列①…前述の4～8号建物跡が存在する地割面北端部にP29、20、10、7を結ぶラインがある。全長19.8尺で3間であり、柱間は6.6尺等間である。柱痕跡は10cm内外で細い。

柵列②…前述の4～8号建物跡が存在する地割面北端部にP27、19、12、4を結ぶライン。全長18.9尺で3間である。柱間は6.3尺等間である。柱痕跡は10cm以上あり、柵列①に比し太い。軸線、建物跡との距離からみてこの2列の柵列はこの地割面で最も新しい7号建物跡に付属するものと考えられる。　　　　　（第1～8号建物跡：斉藤）

第9号建物跡(第14図)：調査区東、19K15区周辺に位置する。桁行2間以上、梁間2間の南北棟？の建物跡を想定した。柱間寸法は、桁行方向は6尺6寸等間、梁間方向は6尺9寸等間である。柱穴の切り合い関係により第10号建物跡より古いものと考えられる。

第10号建物跡(第15図)：調査区東、19K20区周辺に位置する。桁行3間、梁間2間の東西棟の建物跡を想定した。柱間寸法は、桁行方向は6尺3寸等間、梁間方向は8尺等間である。柱穴の切り合い関係により第11号建物跡より古いものと考えられる。(第9・10号建物跡：松田)

第11号建物跡(第16図)：調査区東、19K20区周辺に位置する。桁行5間、梁間3間の南北棟の建物跡を想定した。建物の北を中央通路に平行に掘った溝48と建物の西側を掘った溝2によって区画される。柱間寸法は、桁行方向は南第2・3間が5尺9寸、他は6尺9寸、梁間方向は東第1間が4尺8寸、他は5尺9寸である。(柳沼)

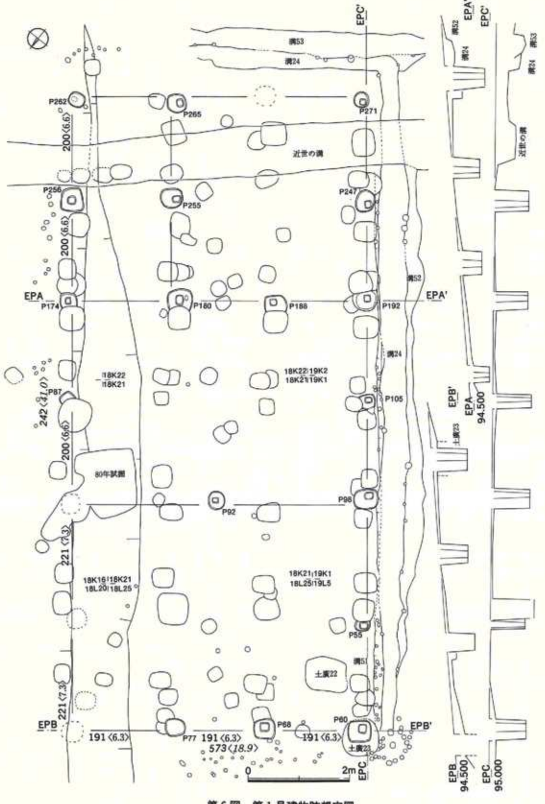
第12号建物跡(第17図)：調査区東19K20区周辺に位置する。桁行6間×梁間3間の南北棟の建物跡を想定した。間取りは二通り考えられる。1つはP413・436により3間×3間（九間）の2部屋に仕切られ、さらに北側は、部屋の東側を3間×1間に仕切っている案。もう一つは、南第1間で1×3間に仕切られ、北第2間でP363と土壙39（柱穴？）に仕切られる案である。前者では、北より3間×1間、3間×2間、2間×3間、3間×3間となり、後者では北から2間×1間、2間×2間、1間×3間、2間×3間、1間×3間という部屋割りになる。柱間寸法は、桁行方向は北第1・2間が6尺6寸で、他は6尺2寸、梁間方向は6尺6寸等間である。建物の北は、中央通路に平行に掘られた溝12によって区画されている。柱穴の切り合い関係により第11号建物跡よりも新しいものと考えられる。(柳沼・松田)

第13号建物跡(第18図)：調査区東、19K20区周辺に位置する。桁行6間、梁間3間の南北棟の建物跡を想定した。建物の北及び西をL字形に掘った溝4によって区画される。長軸は若干東に傾く。P364・370・425・451によって、3つの2間×3間の部屋に仕切られ、さらに北の部屋ではP310によって2間×1間と2間×2間に、南の部屋でもP443によって2間×2間と2間×1間に仕切られると考えられる。桁行方向は中央の2間が7尺6寸、他は6尺6寸、梁間方向は東第1間のみ6尺3寸、他は6尺6寸である。柱穴の切り合い関係により第11号建物跡よりと考えられる。(柳沼)

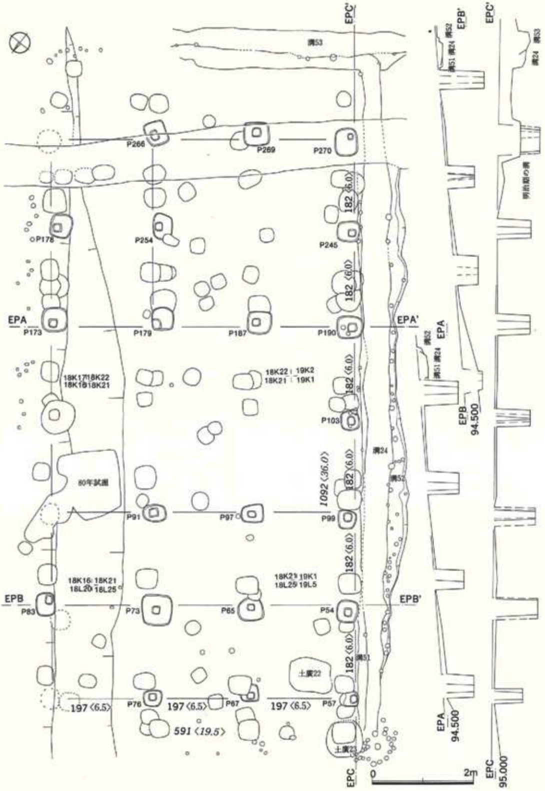
第14号建物跡(第19図)：調査区東、19J18区周辺に位置する。南側を溝38（95年調査番号）で画される桁行3間×梁間3間の東西棟の建物跡を想定した。柱間寸法は、桁行方向は西第1間のみ7尺で、他は7尺9寸、梁間方向は北第1間のみ5尺3寸で、他は4尺1寸であり桁行方向の柱間寸法がかなり長い。

P507・521は平成7年度調査第26号建物跡（平成7年度調査概報P28・56）の想定柱穴と重複するため、後日改めて検討したい。(松田)

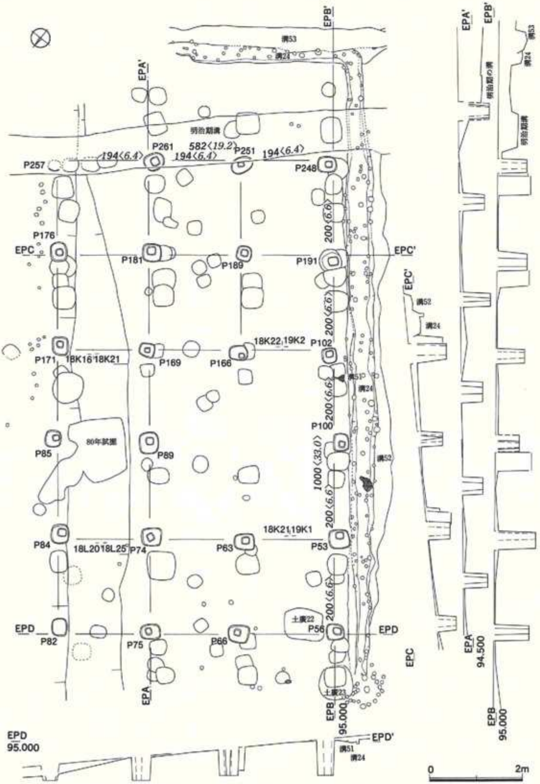
第15号建物跡（第20図）　調査区内東側19J21、22、19K25、20k5、21J1、2区の地割面内にあり、この内19J21、20J1区を中心として位置する。桁行3間、梁間3間の南北棟を想定した。建物軸線はN31° Wである。桁行は全長18.7尺で、柱間は北から2間は5.9尺、残り1間は6.9尺である。梁間は全長19.1尺で、柱間は東側1間は7.3尺、残り2間は



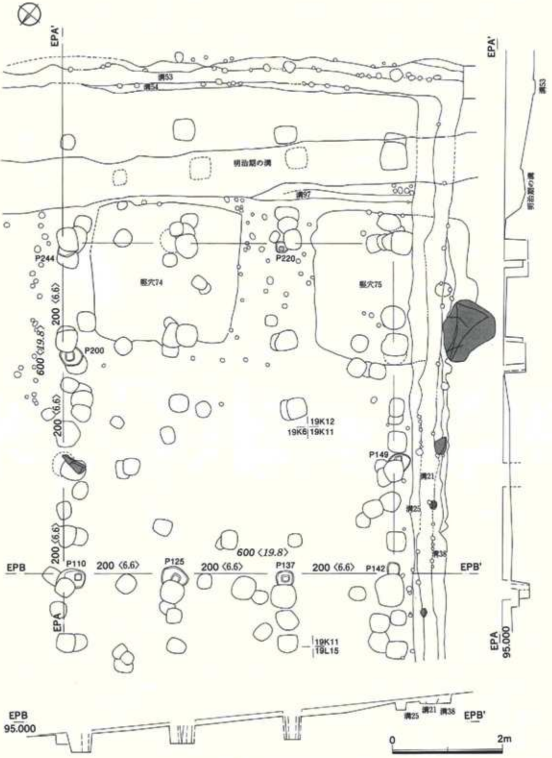
第6図　第1号建物跡想定図



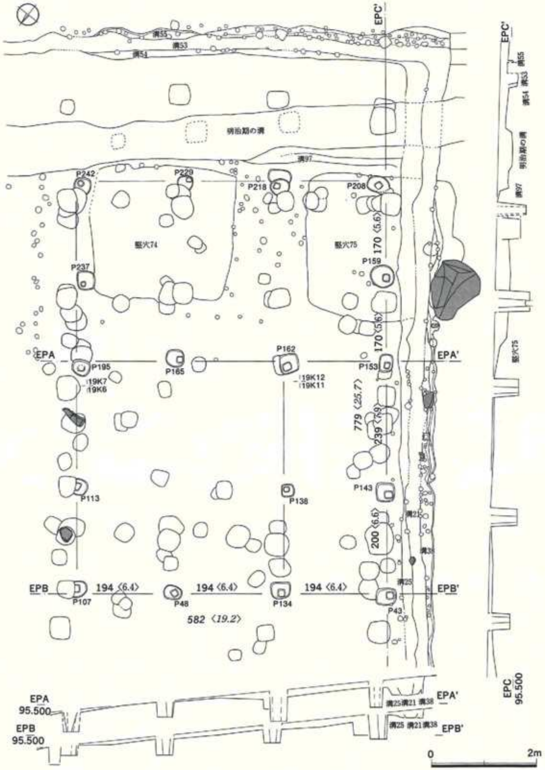
第７図　第２号建物跡想定図



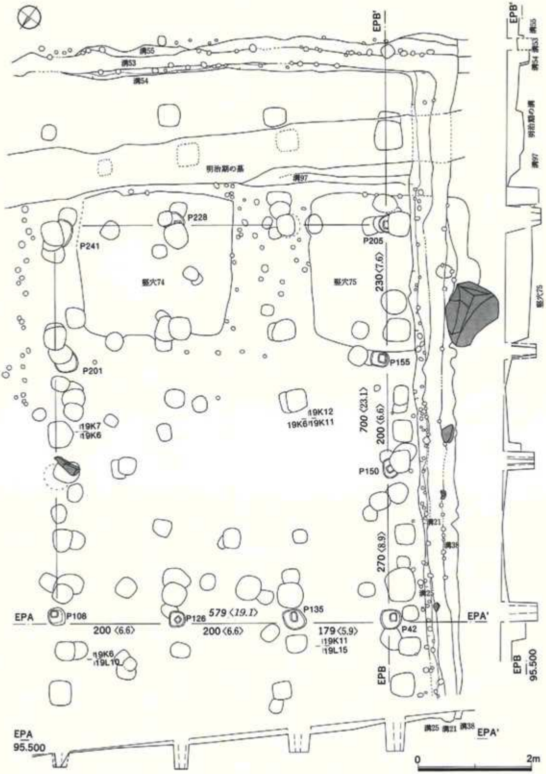
第８図　第３号建物跡想定図



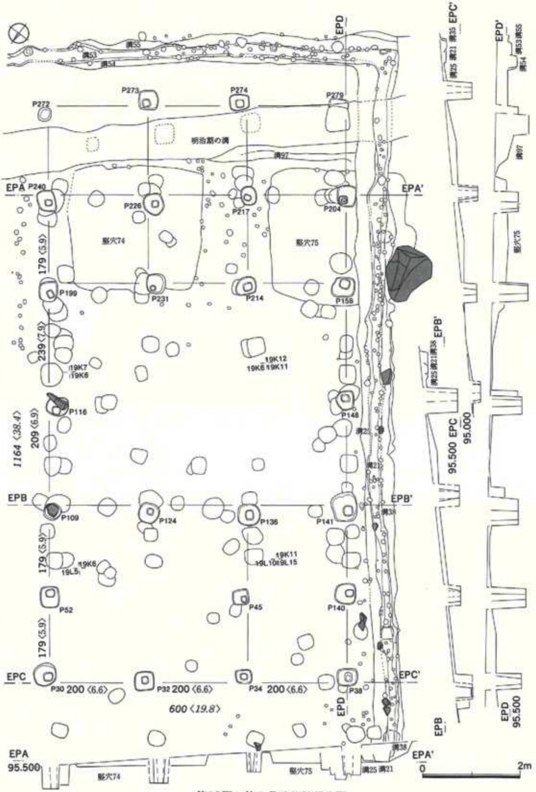
第９図　第４号建物跡想定図



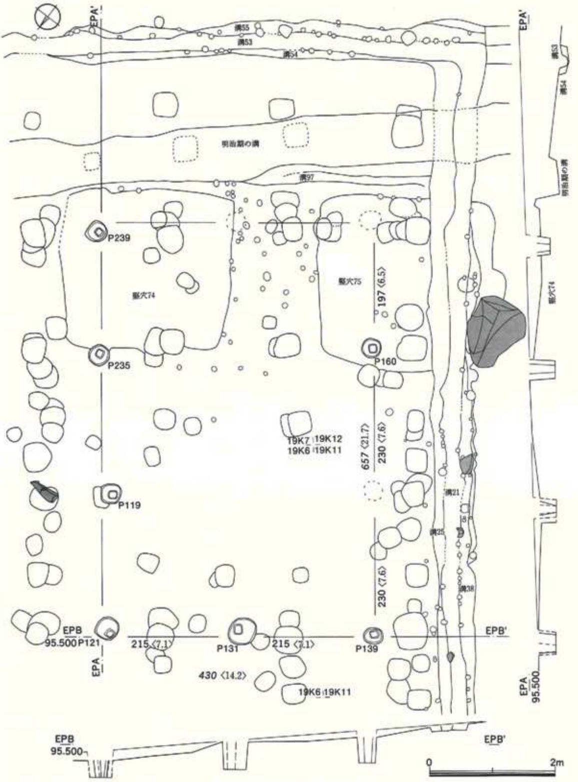
第10図　第５号建物跡想定図



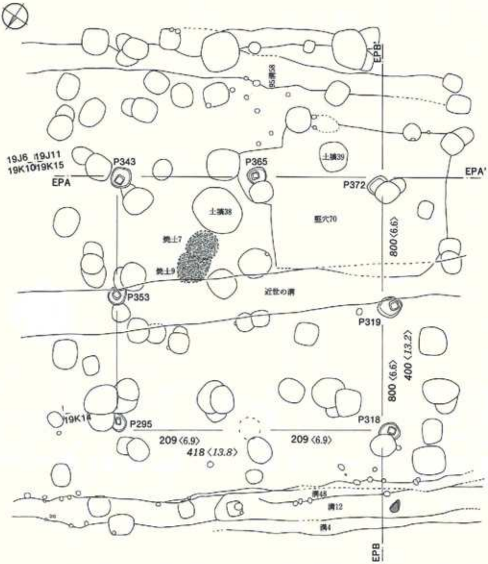
第11図 第6号建物跡想定図

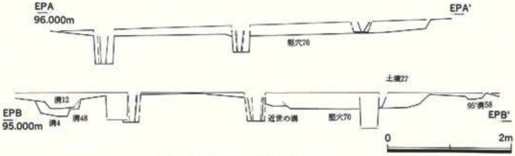


第12図　第7号建物跡想定図

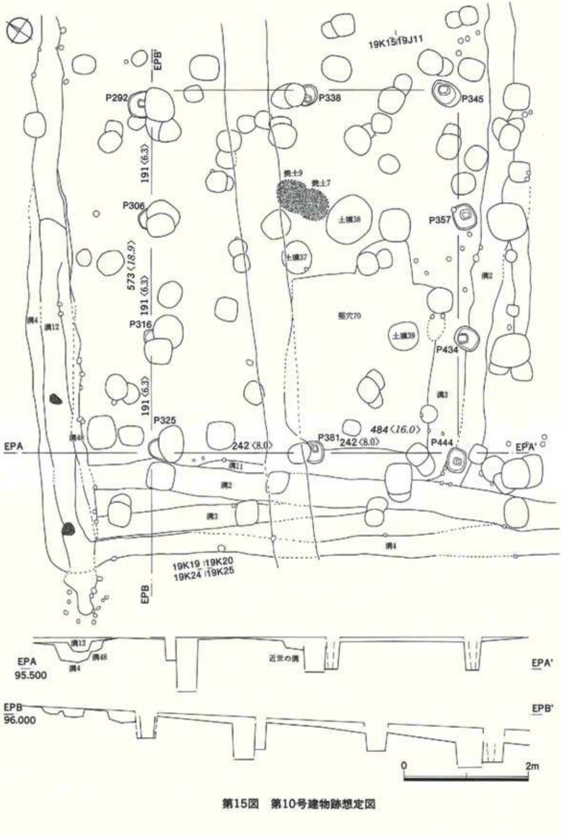


第13図　第８号建物跡想定図

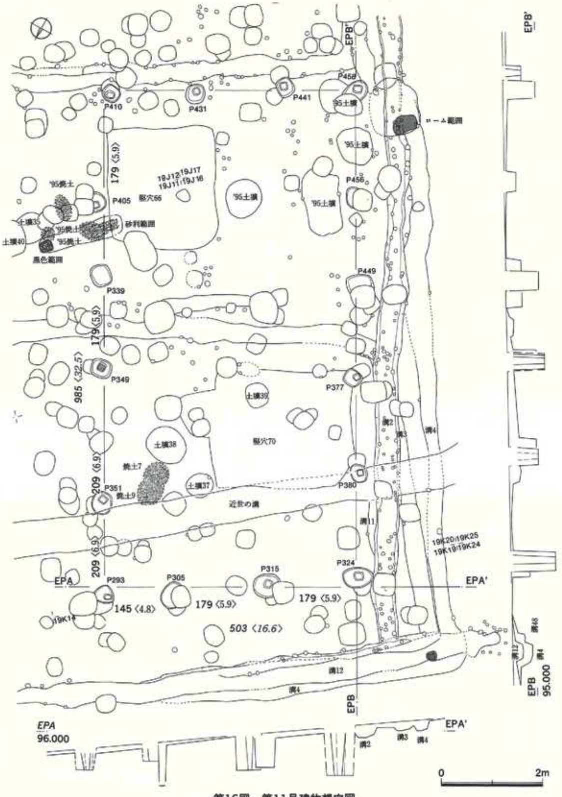




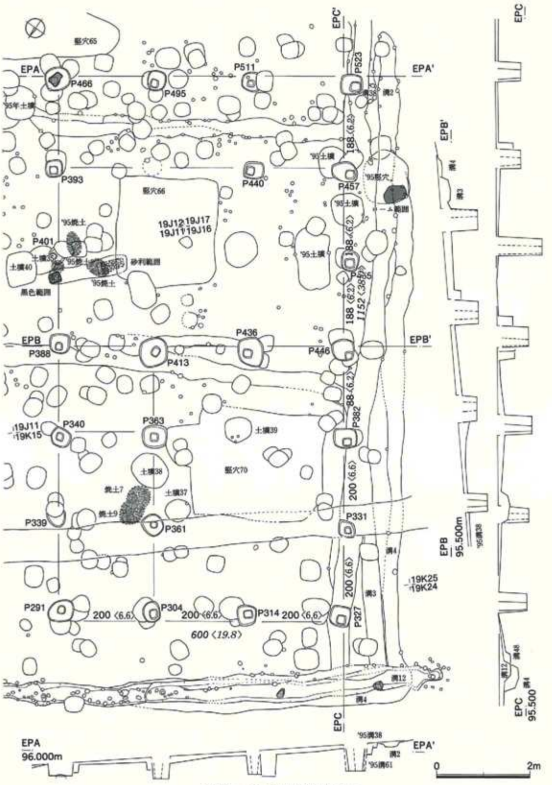
第14図　第９号建物跡想定図



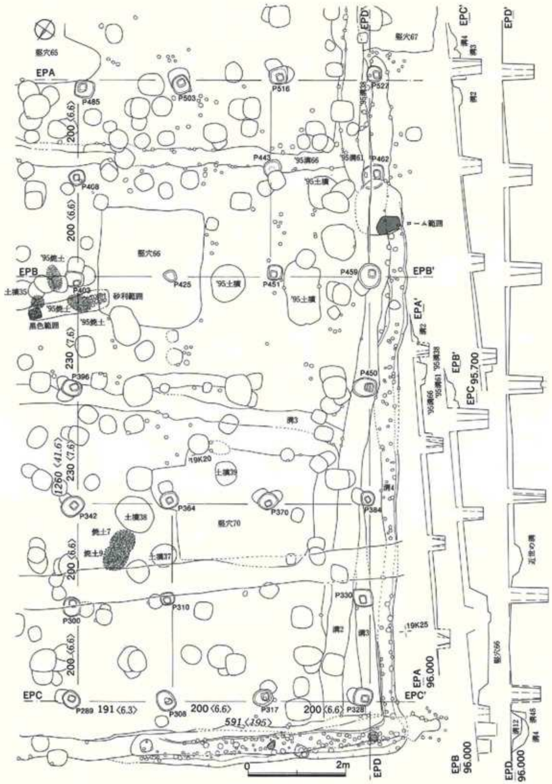
第15図　第10号建物跡想定図



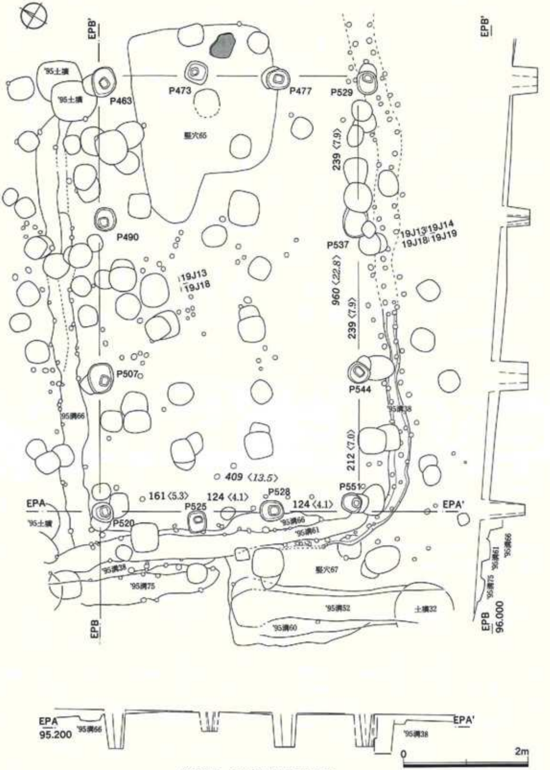
第16図　第11号建物想定図



第17図　第12号建物跡想定図



第18図　第13号建物跡想定図



第19図　第14号建物跡想定図

5.9尺である。建物平面形は側柱のみで、間仕切もなく小規模な建物である。溝15がこの建物跡に付属する溝と考えられるが、他建物跡との重複関係もなく不明な点が多い。地割面積72㎡の内建物跡面積は32.83㎡と半分にも満たない。

第16号建物跡（第21図） 調査区内東側19Ｊ21、22、19K25、20k5、21Ｊ1、2区の地割面内にあり、この内19Ｊ21、22、19K25、20K5区を中心として位置する。桁行5間、梁間3間の南北棟を想定した。建物軸線はN30.5゜Wである。桁行は全長33.3尺で柱間は北から6.4尺、7.1尺、南側3間は6.6尺等間である。梁間は全長18.6尺で、6.2尺等間である。建物内部は桁行北から2間目、南から1間目に間仕切をもつ。北側梁間2基の柱穴には底部分に平坦なれきが据えられている。他建物跡との関係では西側桁行P606、633が17号建物跡柱穴に切られる。竪穴72より新しい。溝19がこの建物跡に付属すると考えられる。地割面積72㎡、建物跡面積61.5㎡。

第17号建物跡（第22図） 調査区内東側19Ｊ21、22、19K25、20K5、21Ｊ1、2区の地割面内にあり、この内19Ｊ21、22、19K25、20K5区を中心として位置する。桁行4間、梁間3間の南北棟を想定した。建物軸線はN29゜Wである。桁行は全長26.1尺で、柱間は北から6.9尺、6.3尺、6.3尺、6尺である。梁間は全長19.5尺で、柱間は東から7.3尺、残り2間は6.1尺である。欠失柱穴が3分の1程あり、西側桁行のみ柱穴がすべてそろっている状態である。他建物跡との関係では西側桁行柱穴P632、東側桁行柱穴P649が16号建物跡柱穴を切っている。竪穴73より新しい。溝14がこの建物跡に付属する。地割面積72㎡の内建物跡面積46.5㎡。

第18号建物跡（第23図） 20Ｊ6、7、11、12、20K10、15区の地割面内にあり、20Ｊ6、7、11、12区を中心として位置する。桁行5間、梁間3間の南北棟を想定した。建物軸線はN30゜Wである。桁行は全長35尺、柱間は北から2間までは7.3尺、残りは6.6尺、7.3尺、6.3尺である。梁間は全長16.5尺、柱間は、東から5.9尺、残り2間は5.3尺である。建物内部は桁行南側1間目に間仕切を持つ。他建物跡との関係では東西桁行北から2間目までの柱穴は19号建物跡柱穴に切られている。溝39がこの建物跡に付属する。地割面積72㎡の内建物跡面積53.3㎡。

第19号建物跡（第24図） 20Ｊ6、7、11、12、20K10、15区の地割面内にあり、20Ｊ6、7、11、12区を中心として位置する。桁行6間、梁間3間の南北棟を想定した。建物軸線はN29゜Wである。桁行は全長36.9尺、柱間は北から2間目までは6.6尺、残りは6.9尺、5.1尺、5.1尺、6.6尺となる。梁間は全長17.4尺で5.8尺等間である。建物内部は桁行南側1間に間仕切を持つ。他建物跡との関係では東西桁行の2間目及び3間目の柱穴が18号建物跡柱穴を切っている。また西側桁行北から5間目P1015、北側梁間P893が20号建物跡柱穴に切られる。溝38がこの建物跡に付属する。地割面積72㎡の内建物跡面積59.1㎡。

第20号建物跡（第25図） 20Ｊ6、7、11、12、20K10、15区の地割面内にあり、20Ｊ6、7、11、12区を中心として位置する。桁行6間、梁間3間の南北棟を想定した。建物軸線はN29.5゜Wである。桁行は全長40.3尺、柱間は北から5間は6.6尺等間、残り南側1間は7.3尺となる。梁間は全長18.6尺、柱間は6.2尺等間である。建物内部は桁行の北から2間に間仕切、梁間では東から1間目に間仕切を持つ。さらに桁行の南から1間目にも間仕切を持つ。他建物跡との関係では桁行の北から6間目P1014、梁間東から2間目P892が19号建物跡柱穴を切っている。溝10がこの建物跡に付属する。地割面積72㎡の内建物跡面積68.9㎡。（斉藤）

第21号建物跡（第26図）：調査区西、20Ｊ11区周辺に位置する。桁行５間以上、梁間２間の南北棟の建物跡と想定した。北西側の柱は失われてしまったと考えられる。柱間寸法は、桁行方向は東第１間～第３間までは５尺６寸、他は６尺６寸、梁間方向は６尺６寸等間である。南第３間でP1256・1265によって仕切られると推する。P1239・1286には根石がある。柱穴の切り合い関係から、第22号建物跡より古いものと考えられる。

第22号建物跡（第27図）：調査区西、20Ｊ11区周辺に位置する。桁行５間、梁間３間の南北棟の建物跡と想定した。南側と西側を溝７で画されていると考えられる。北第１間と南第１間に間仕切りがあり、中央に３間×３間（九間）の部屋を持ち、南北両側に１間×３間の部屋を持つ。柱間寸法は、桁行方向は南第２間のみ６尺６寸、他は７尺１寸、梁間方向は東第１間が７尺６寸と広く、他は６尺６寸である。P1205・1242には根石がある。柱穴の切り合い関係から、第21号建物跡より新しく、

第23号建物跡より古いものと考えられる。

第23号建物跡(第28図)：調査区西、20Ｊ11区周辺に位置する。桁行６間、梁間３間の南北棟の建物跡を想定した。南第１間と北第２間を間仕切り、中央に３間×３間（九間）の部屋をもつ。さらに北側の２間×３間分は、２間×１間と２間×２間に仕切られる。この間取りは隣接する地割（20Ｋ５区他）に位置する第20号建物跡と共通である。柱間寸法は、桁行方向は南第１間のみ６尺１寸で、他は６尺６寸。梁間方向は東第１間が６尺３寸、他は５尺９寸であり同じ間取りの第20号建物跡よりは若干短い寸法である。柱穴の切り合い関係により第22号建物跡より新しいものと考えられる。

第24号建物跡(第29図)：調査区南、20Ｊ９区周辺に位置する。桁行６間、梁間３間の南北棟の建物跡と想定した。南第２間と北第２間に間仕切りがあり、中央に２間×３間（六間）の部屋を持つ。北第１間は庇と考えられるが、この建物を区画する溝66を切っているため、後の増築であることも考えられる。後述の第26号建物跡と共通点が見られる。推測ではあるが南側２間×３間は、さらに２間×２間と１間×２間の部屋割になっていたと考えられる。南側は立木のため未調査であり不明、又南東部分は緩やかに傾斜しており削平されていると考えれる。柱間寸法は、桁行方向は南第１・２間が６尺６寸、他は５尺９寸、梁間方向は５尺９寸等間である。北庇は３尺である。南の側柱列に見られる溝は、建築史の鈴木亘先生から地覆の痕跡ではないかとのご教示を得た。しかし、溝49には区画溝に見られるような小柱穴も見られ、区画溝の可能性もある。また、Ｐ761には柱材が残っていた（第46図11）。切り合い関係から第77・80号竪穴建物跡よりもあたらしいものと考えられる。

第25号建物跡(第30図)：調査区南東、20Ｊ19区周辺に位置する。桁行三間、梁間二間の南北棟の建物跡を想定した。柱間寸法は、桁行方向は北から６尺６寸、５尺２寸、５尺９寸と不揃いだが、梁間方向は６尺６寸等間である。切り合い関係から第26号建物跡より古いものと考えられる。

第26号建物跡(第31図)：調査区南東、20Ｊ19区周辺に位置する。２間×３間の空間（六間）が２つと１間×３間の空間を１つ持ち、東面と北面に庇をもつ南北棟の建物を想定した。間仕切りは南第２間と第４間にある。本年度調査区の中で一番大型の建物跡である。柱間寸法は、身舎の桁行方向が７尺２寸等間、梁間方向は６尺８寸等間で、北庇は４尺６寸、東庇は５尺である。身舎の柱間寸法は、勝山館跡の掘立柱建物で見られる柱間寸法としては長い。Ｐ1055・1062・1067・1073・1103・1106・1109・1110・1121・1131と南側の柱穴想定位置には根石があり、特にＰ1041には平らな石を３枚も重ねていた。Ｐ1180には柱材も残っていた（第46図12)。20Ｉ21区周辺が若干空閑地があり帯曲輪との段差も少ないので、ここが建物のアプローチの一つとも考えられる。区画の南東区付近の段縁は、第76号竪穴建物跡の東壁を若干削って作られており、その部分に石積を約４ｍにわたって検出した。切り合い関係により第76・78・79号竪穴建物跡よりも新しいものと考えれる。また、建物を区画する溝22が、一番新しく作られた柵列(溝６）を切っている状況から溝６より後か、ほぼ同時期に存在していたと考えられる。(第21～26号建物跡　松田)

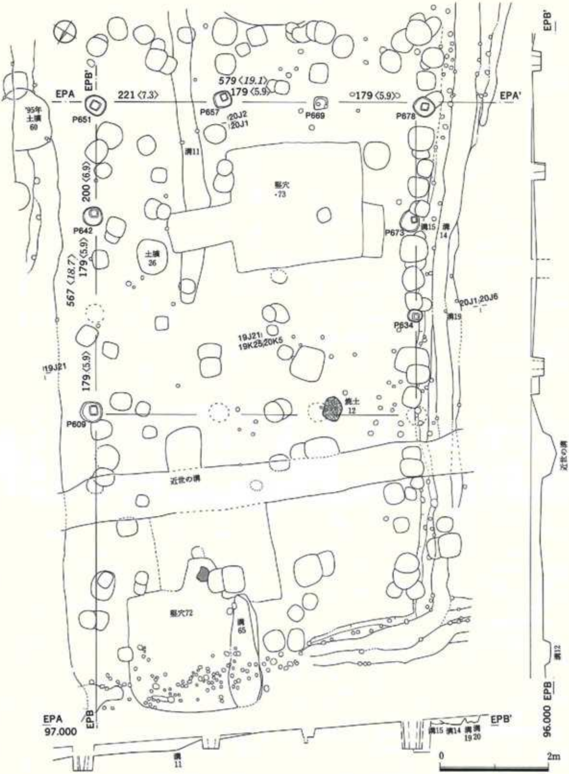
(4)竪穴建物跡、土坑、通路跡

a　竪穴建物跡

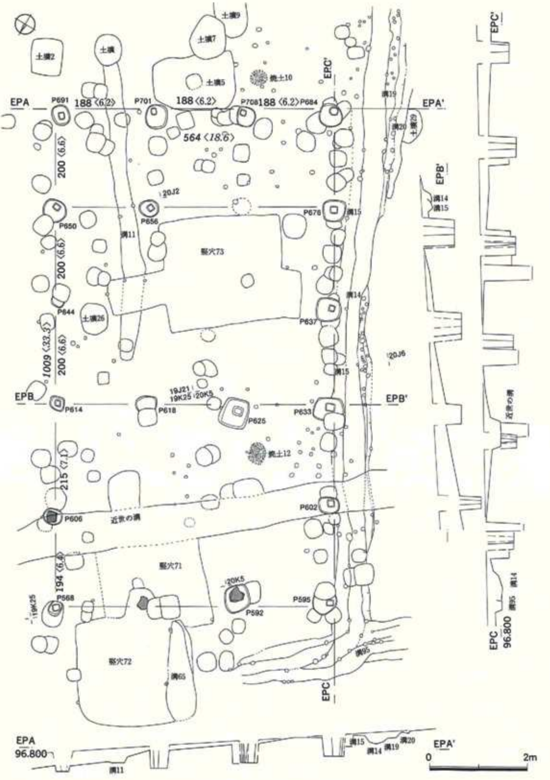
第66号竪穴建物跡(第32図)：平成７年度調査区と重複する19Ｊ11・12区に位置する。北角にある入口は、７年度調査で土壙としたが、覆土がほとんど同じで切り合い及び壁の立ち上がりがはっきりしないこと、柱穴がこの付近にないことから７年度調査結果を修整して入口とした。柱は前述した北角を除く四隅及びその中間に１本ずつの計７本で、規模が小さい割にはしっかりした建物である。壁の内側には板を打ち込んだ跡と思われる細長い小穴が並んでいるが、北西壁のものが柱の間にあるのに対し、南西と北東の壁のものは柱穴のやや外側に位置する。中央には根太跡と思われる溝があった。また、分布が集中していないため図示し得なかったが、底面と根太跡からは砂利が検出されので、底面に砂利を敷いて使用していた可能性がある。

覆土は、基盤礫を多く含んだやや赤みがかった暗褐色土が中心である。この土は周囲の地山と同じであることから、整地等で生じた土を使って一気に埋め戻したものと考えられる。

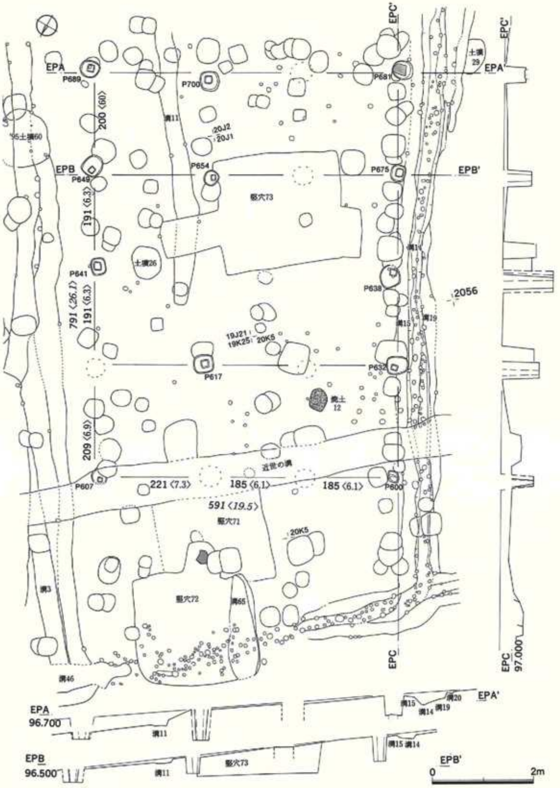
遺物は陶磁器、鉄製品、スラッグ、骨角器、石製品が出土したが、底面に近いものがあるものの、全て覆土中から出土したものである。陶磁器は白



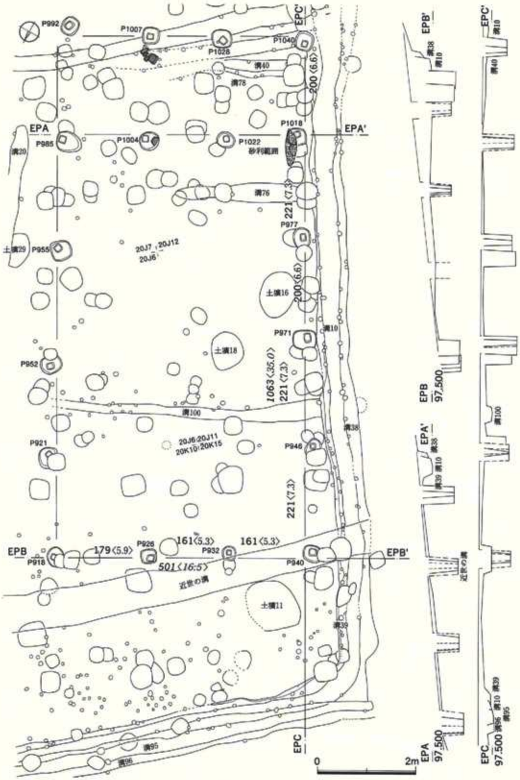
第20図　第15号建物跡想定図



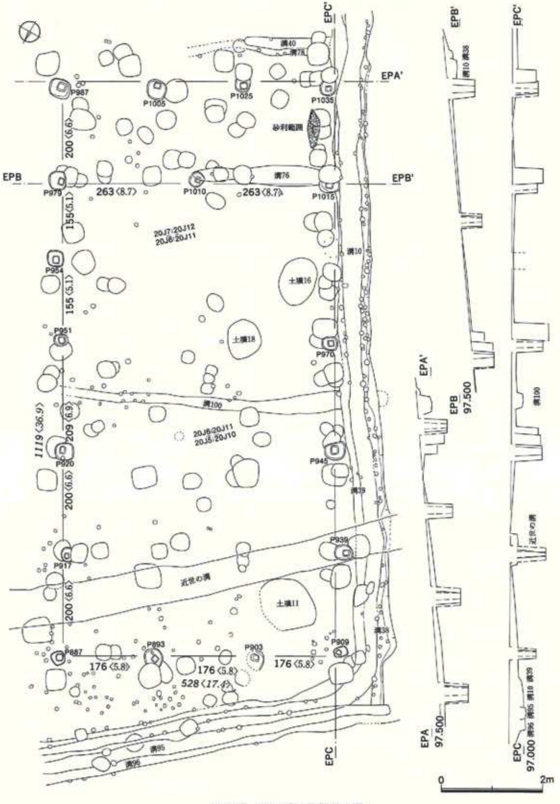
第21図　第16号建物跡想定図



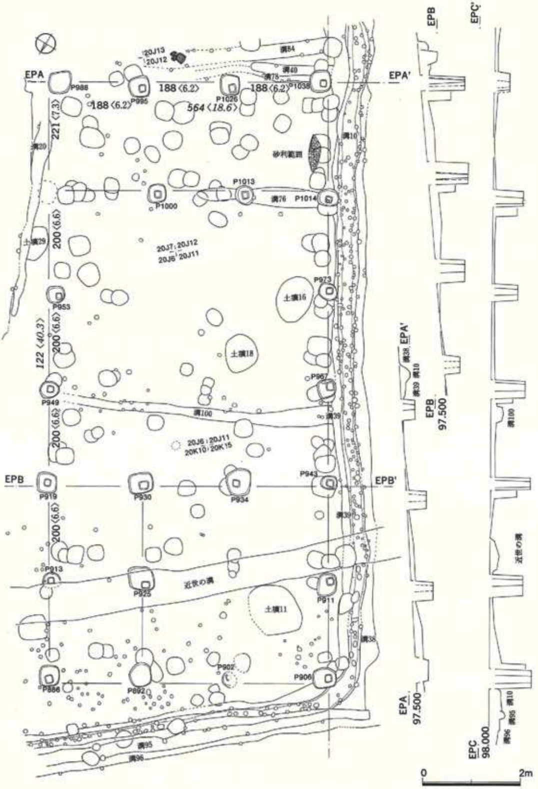
第22図　第17号建物跡想定図



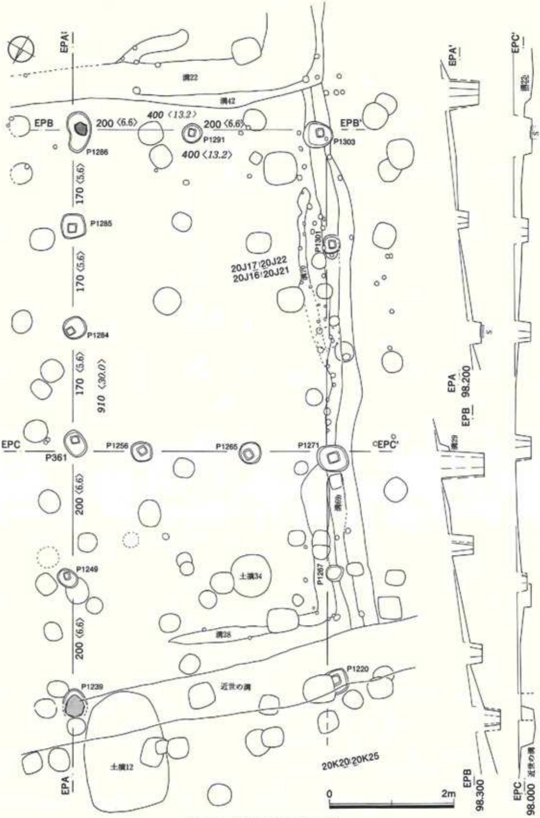
第23図　第18号建物跡想定図



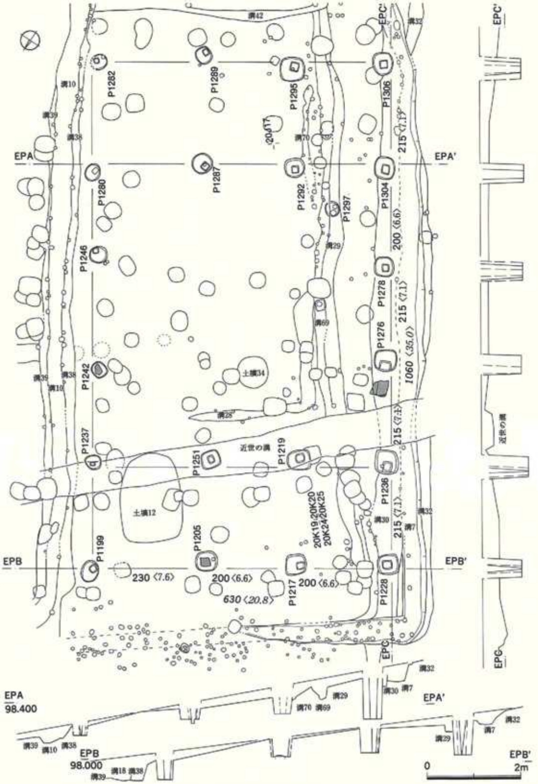
第24図　第19号建物跡想定図



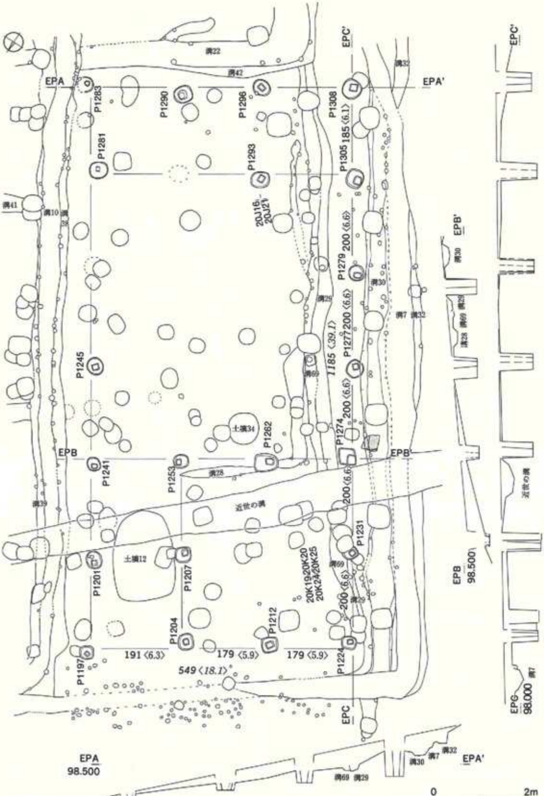
第25図　第20号建物跡想定図



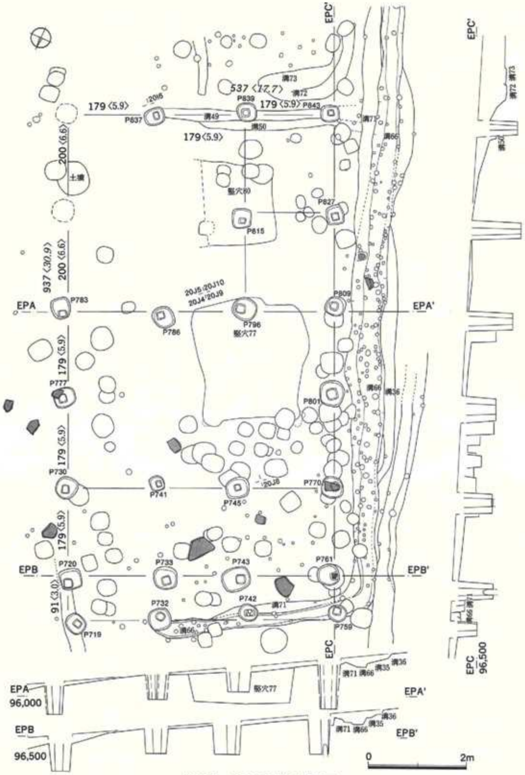
第26図　第21号建物跡想定図



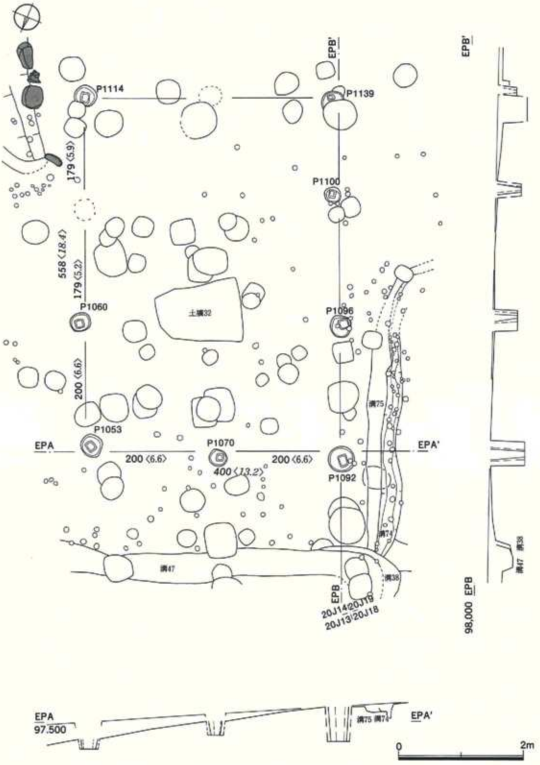
第27図　第22号建物跡想定図



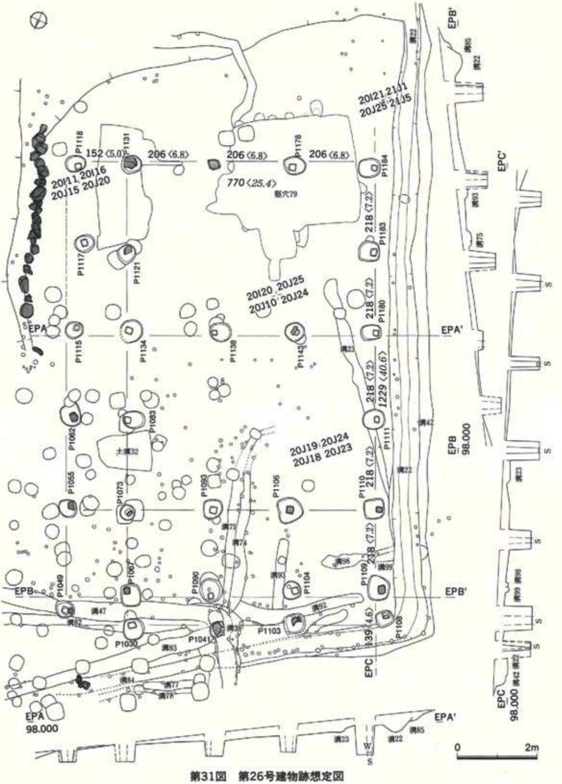
第28図　第23号建物跡想定図



第29図　第24号建物跡想定図



第30図　第25号建物跡想定図



第31図　第26号建物跡想定図

磁皿(遺物分布図18、20、31、以下同じ)、染付碗（2、4、18、27、30)、染付皿(3、10、15、16、23、24、28、29)、瀬戸美濃灰釉碗（20)、瀬戸美濃灰釉皿(1、6、8、9、12、22、25、26)、瀬戸美濃鉄釉碗(7、13)、越前擂鉢(5)、陶錘(14)が出土した。鉄製品は、釘(1、2、3、4、5)と鍋（6）が出土した。石製品は砥石（1)、用途不明（3)、縄文期の装飾品（2）が出土した。骨角器は全て基部のみの欠損品で用途不明だが中柄と思われる。この竪穴の北東約2mの地点に骨角器が23点出土した'95-土壙40があり、何らかの関連があるかも知れないが、ここでは可能性を示すに留める。(佐藤)

第70号竪穴建物跡（第34・35図　PL.2）：調査区東、19K20区に位置する。東方向に張り出した入り口を持ち、長辺約2.8m、短辺約2.3mの規模である。焼失建物跡である。上部は若干削平されているようだが、炭化材が多量に残っていたため建物構造を推定するうえで貴重な資料が得られた。底面には1～2㎝大の玉砂利を敷き、中央北寄りにある東西溝は転ばし根太の痕跡と考えられる。柱穴は全部で8本で、柱材は約12㎝の角材を半分にした半柱を使用している。柱はすべて長辺を南東－北西方向に向けてあり、間柱は大きな面を壁に接していなかったことがうかがえる。西壁と北壁には細長いピットが検出され、板状の杭のようなものが打ち込まれていたと考えれる。切り合い関係により第14号建物跡より古いものと考えられる。

遺物（第35図）の1～3は和釘。4は碁笥底の染付皿で、見込みには寿の文字が描かれている。5～8・10はガラス玉で、無色透明（3）のものと淡い青緑色の半透明のもの（5・6・9・10）の計5点出土している。8のビーズ玉が2つ重なった様な形状のものは、玉の一種と思われるが材質は不明である。鉄鍋は二枚が重なった状態（11が上、12が下）で出土している。ほぼ水平状態で置かれたような状況で出土したので、竪穴建物焼失時のもので、そのまま放置されたものと考えられる。12は吊耳式のもので底部には3足が付く。接合は出来なかったが、一括出土した底部片は一文字湯口である。11も吊耳式のものと思われる。炭化物には小豆や米が見られるが、他にも穀物の一種と考えられるものが多量に出土している。

砂利敷の底面であることや、焼失建物跡であることは、平成6年度調査で検出した第59号竪穴建物跡と同じであるため、今後比較検討を加えて、併せて後日詳細な報告をしたい。(松田)

第71号竪穴建物跡（第33図）19K24、25区、第15～17号建物跡がある地割面北端に位置する。平面形は隅丸方形であり、南南東方向に軸線を持つ。規模は2.1m×2.4m程である。入り口張り出し残存部は60cm×75cm程である。第72号建物跡に切られている。深さは5cm内外である。面積5.04㎡、張り出し部分0.45㎡

第72号竪穴建物跡（第33図）　19K24、25区第15～17号建物跡がある地割面北端に位置する。平面形は隅丸方形であり、南南東方向に軸線を持つ。規模は2.1m×2.2m、深さは20cm程である。入り口張り出し部分は70cm×60cmである。内部は壁面に添うように6基の柱穴が確認されている。柱穴は軸方向に直交するＥＰＢ～Ｂ′間では全長5.5尺程であり、柱間は2.75尺等間である。それに対して直交する方向は全長5.1尺で2.55尺等間となる。覆土全体はさほど堅致ではなく、ロームブロックの比率も低い。面積4.62㎡、張り出し部分0.42㎡。他遺構との関係では第16号建物跡、溝14、15、95等に切られ、第71号竪穴建物跡を切っている。

第73号竪穴建物跡（第32図）　19K24、25区第15～17号建物跡がある地割面中央に位置する。平面形はほぼ方形を呈し、北東方向に軸線をもつ。規模は2.3m×2.4m、深さは最も深いところで約70cmである。入り口張り出し部分は1.1m×70cmであり、緩い傾斜を持つ。内部には壁面に添うように8基の柱穴が確認されている。軸方向であるＥＰＢ～Ｂ′、ＥＰＤ～Ｄ′間では、全長6.6尺で、柱間は3.3尺等間である。直交するＥＰＡ～Ａ′間では全長6.3尺で、柱間は3.3尺、3尺である。ＥＰＣ～Ｃ′間では全長が6尺であり、3尺等間となる。それぞれ5～6cm程の隅丸、円形の柱痕跡がある。また幅2～3cm、長さ15～30cmの板材を土に埋め込んだと考えられる溝状の痕跡も確認されており、柱穴に沿って内部を回る。覆土の状態は入り口張り出し部分には床面直上に厚さ数cmの小砂利の堆積が見られる。また床面より10cmほど高い箇所に炭化物が2～3cm程堆積する。特に西側に厚い堆積が見られる。覆土全体はロームが主体をなした土であり、非常に固くしまっており埋め戻しの状

況を呈している。面積5.52㎡、張り出し部分0.77㎡。他建物跡との関係では、17号建物跡柱穴に切られている。

第74号竪穴建物跡（第33図） 19K7区第4～8号建物跡がある地割面南側に位置する。平面形は隅丸方形を呈する。規模は2.5m×2.5m程。深さは10cmで極めて浅い。入り口張り出し部分は確認できなかった。内部には壁面に沿うように8基の柱穴が確認されている。ＥＰＡ～Ａ′間では全長6.9尺、柱間は北西より、3.6尺、3.3尺である。直行するＥＰＤ～Ｄ′間では全長6.5尺、柱間は南西から3尺、3.5尺である。いずれも確認された柱痕跡は8cm内外で、細い。面積6.25㎡。他建物跡との関係ではこの地割面で確認された5～8号建物跡柱穴に切られており、深さも極めて浅く、この地割面が作られる際に壁面が削平されたと考えられ、第4～8号建物跡が作られる以前の遺構と考えられる。

第75号竪穴建物跡（第33図） 19K712区第4～8号建物跡がある地割面南側にあり、第74号竪穴建物跡の南西部に位置する。規模は約2.7m×2.7m、深さは20cmである。入り口張り出し部分は南西部大礫の東側の若干の壁面の張り出しと思われる。内部には壁面に沿うように6基の柱穴が確認されている。ＥＰＡ～Ａ′間では全長6.6尺で、柱間は3.3尺等間である。ＥＰＤ～Ｄ′間では全長6.8尺、柱間は東から4.1尺、2.7尺となる。覆土にはロームブロック、炭化物等が入り、下部はややソフトであるが、上面は固くしまっており、埋め戻しの状態を呈する。面積7.29㎡。他建物跡との関係では5～7号建物跡に付属する3つの溝より古い。またこの地割面の第4～8号建物跡の柱穴に切られているため、第74号竪穴建物跡と同様第4～8号建物跡が作られる以前の遺構と考えられる。

（第71～75号竪穴建物跡：斉藤）

第76号竪穴建物跡(第36図)：調査区20Ｊ16区に位置する。第26号建物跡が存在する地割造成時に東壁が一部切られているため正確なプランは不明だが、推定方約3.1m規模に西方向に出入口となる張り出しを持つ、焼失建物跡である。屋根材と思われる萱のような炭化材が、南北方向に束になって多量に出土した。茅の方向から東西棟の妻入と推測される。また、北壁際では炭化した板材（壁材？）を検出した。Ｐ1124とＰ1132が西壁の柱穴と推される。南壁には柱穴の間に浅い溝が検出され、西壁には板状のものが打ち込まれたと考えられる溝と小柱穴が検出された。入り口では左右に小柱穴を２個づつ検出した。切り合い関係から第26号建物跡よりも古いものと考えられる。

第77号竪穴建物跡(第36図)：調査区南20Ｊ９区に位置する。長辺約2.2m、短辺約２m。柱穴が壁よりやや外側に作られるという特異な形態である。柱穴は２個重複していることから、作り替えがなされたと考えられる。底面に転ばし根太の痕跡と思われる浅く細い溝が南北方向に３条、それを繋ぐ様に直交する溝が２条検出された。南半分でも同様の溝を確認したが、図化する前に失ってしまった。この様に縦横に走る転ばし根太痕跡から床張構造であったと推測する。遺物は越前甕、白磁皿、鉄鍋（第46図７）などがある。切り合い関係から第24号建物跡より古いものと考えられる。

第78号竪穴建物跡(第37図)：調査区20Ｊ25区に位置する。第79号竪穴建物跡に先行して存在したと推される。覆土の観察では別の掘り込みが見られないことから、主体部の規模は第79号建物跡より小さいか、若しくは同じと考えられる。北方向に出入口と思われる張り出しを持ち、小柱穴を左３右２個づつ検出した。柱穴はＰ1153・1159・1403・1171・1175？がこの竪穴に属する柱穴と考えられるが、他にも第79号竪穴建物跡に属するものや、Ｐ1150・1155・1169・1173・1179で一つの建物を構成すると考えられる柱穴群が存在し複雑である為、全体的に再検討が必要である。

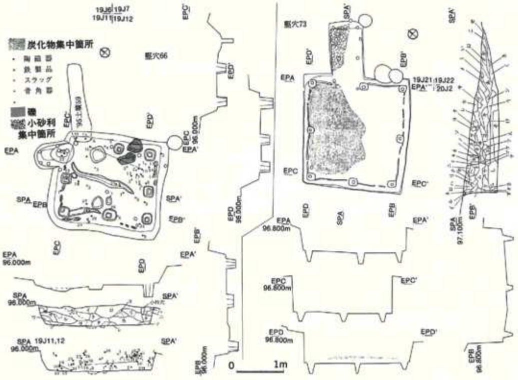
第79号竪穴建物跡(第37図)：調査区南西、20Ｊ25区に位置する。東方向に出入口と思われる張り出しを持ち、長辺3.1m、短辺2.7mの規模である。主体部は第78号竪穴をそのまま、若しくは拡張した利用していると考えられる。柱穴痕跡の形態から柱は半柱を用いていたようである。柱穴はＰ1151・1158・1162・1164・1166・1170・1175・の８個が属すると考えられる。底面には土止めの壁や床を支える材（根太？）の痕跡と思われる溝が２・３条検出されたが、第78号竪穴建物跡に属するものもありそうなので再検討が必要である。東壁南よりに炭化物範囲が見られ鉄鍋の底部が出土した。覆土には埋め立てに使用されたと考えられる大量の礫が集中して見られた。切り合い関係に

より第26号建物跡よりも古いと推される。

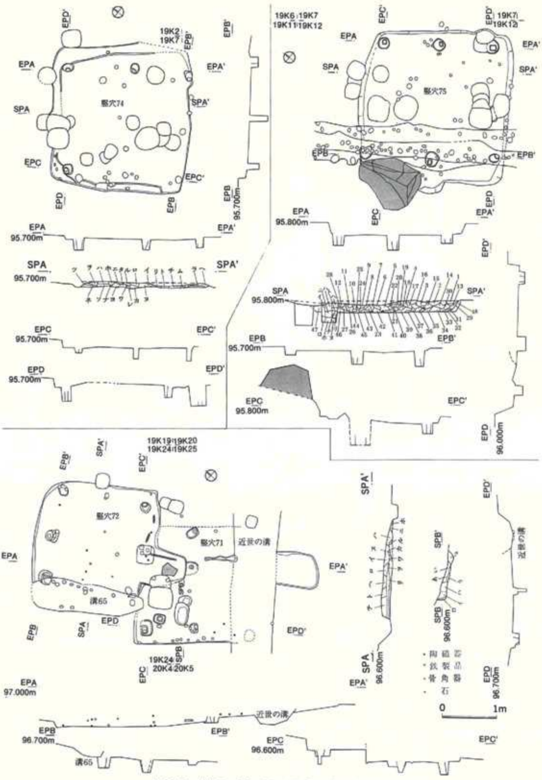
第80号竪穴建物跡(第５図)：調査区南東、20Ｊ10区に位置する。立木のため完掘できなかったのでプランは確定できなかったが、長辺1.7m以上、短辺1.6mの長方形と推定する。壁際の西･南部分に浅い溝を検出したが、竪穴建物跡に伴うと思われる柱穴は見られない。竪穴建物跡というよりは大型の土壙と考える方がよいのかも知れない。切り合い関係により第24号建物跡より古いと推される。

第81号竪穴建物跡(第36図)：調査区南東、20Ｉ1区に位置する。昨年度調査区に隣接して発見された。東半分は平成７年度調査検出の第41号建物跡等４回の立て替えが確認された地割面の造成により削り取られているが、南方向に張り出しの出入口を持つ方約２ｍのプランを想定できる。底面中央西寄りに、骨片を多量に含んだ炭化物範囲を検出した。西・北壁際には柱穴を繋ぐ溝が検出された。柱穴は全部で７個検出した。東部に集中する小柱穴は、平成７年度調査建物跡に伴う区画溝のものと考えれる。

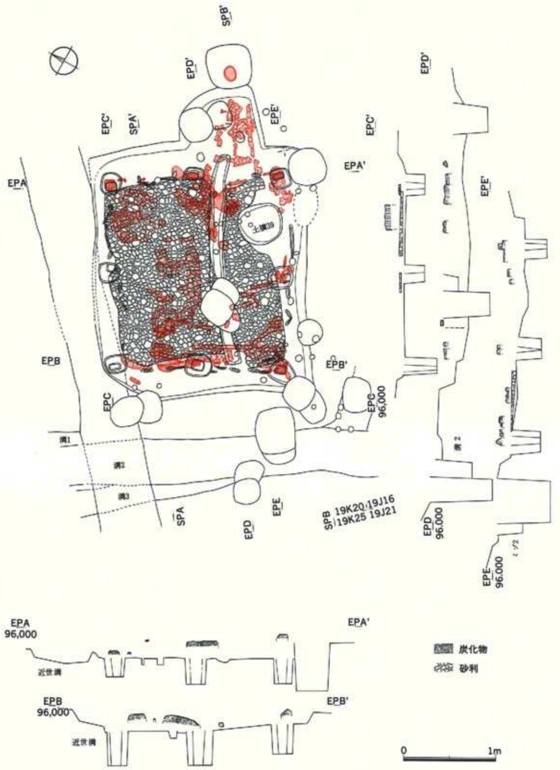
（第76～81号竪穴建物跡　松田）



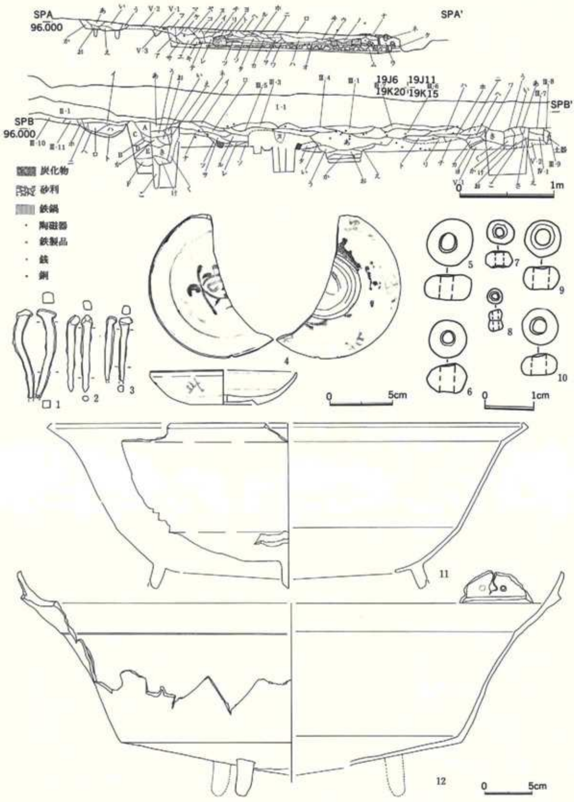
第32図　第66・73号竪穴建物跡平面図他



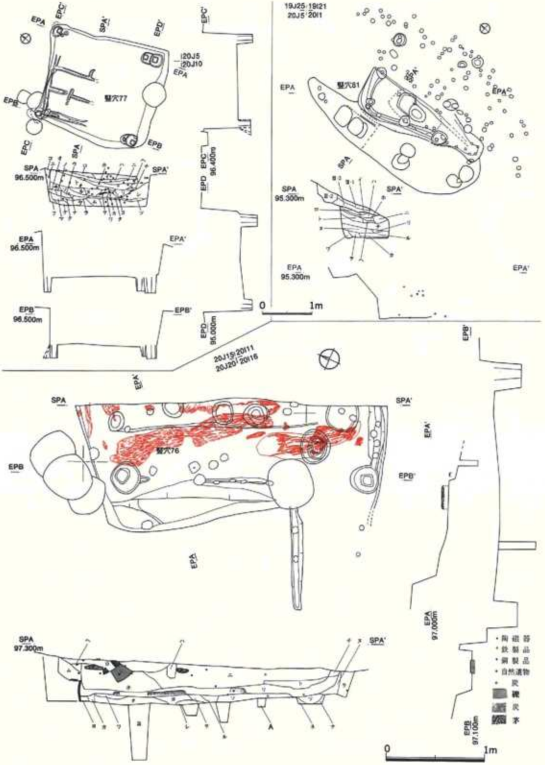
第33図　第71・72・74・75号竪穴建物跡平面図他



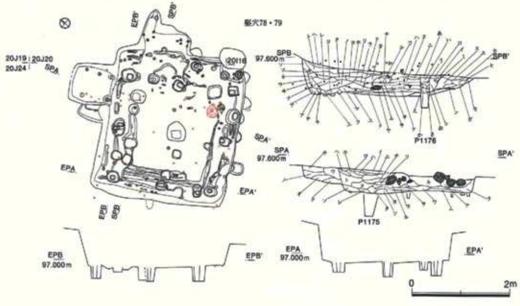
第34図　第70号竪穴建物跡平面図他



第35図　第70号竪穴建物跡出土遺物他



第36図　第76・77・81号竪穴建物跡平面図他



第37図　第78・79号竪穴建物跡平面図他

表9　竪穴建物跡セクション土層観察表

竪穴74 (SPA~A')					
イ	10YR4/4	褐	全面ローム　砂粒微量	ハード	
ロ	10YR3/3	暗褐	ロームブロック　基盤礫砂粒微量	ハード	
ハ	10YR3/3	暗褐	ロームブロック　40%ローム粒　礫粒 砂粒微量	ややハード	C微量
ニ	10YR3/2	暗褐	ローム粒　礫粒　砂粒微量	ややハード	C微量
ホ	10YR3/2	暗褐	基盤礫　砂利微量	ややハード	C30%
ヘ	10YR4/4	褐	全面ローム	ハード	C極少
ト	10YR4/4	褐	全面ローム	ハード	C極少
チ	10YR4/3	にぶい黄褐	ロームブロック	ハード	C微量
リ	10YR3/3	暗褐	砂粒微量　砂利4~3cm大2個	ややソフト	C40%
ヌ	10YR3/2	黒褐	ロームブロック20%　礫粒微量	ややソフト	
ル	10YR3/3	暗褐	ロームブロック　礫粒微量	ややソフト	
ヲ	10YR3/3	暗褐	ローム粒　礫粒微量	ややハード	
ワ	10YR4/4	褐	ロームブロック70%	ややソフト	
カ	10YR3/3	暗褐	ローム粒　礫粒微量	ややソフト	C2%
ヨ	10YR3/3	暗褐	ローム粒　礫粒微量	ややハード	C微量
タ	10YR3/4	暗褐	ロームブロック　礫粒　砂利微量	ややソフト	
レ	10YR3/3	暗褐	ローム粒　礫粒微量	ソフト	C微量
ソ	10YR3/3	暗褐	ローム粒　礫粒微量	ハード	C微量
ツ	10YR3/2	黒褐	ローム粒　礫粒微量　砂粒	ハード	
ネ	10YR2/3	黒褐	ローム粒　砂粒微量	ややハード	C微量
ナ	10YR4/4	褐	ローム80%　礫粒微量	ハード	C微量
ラ	10YR3/3	暗褐	ロームブロック　砂粒微量	ややハード	
ム	10YR3/4	暗褐	ローム40%　礫粒微量	ハード	
竪穴 (SPA~A')					
1	10YR3/4	暗褐	ロームブロック　礫粒　砂粒微量	ややハード	
2	10YR3/4	暗褐	ロームブロック20%　砂利　砂粒微量	ハード	
3	10YR4/2	褐	ロームブロック90%　礫粒微量	ハード	
4	10YR4/4	褐	ロームブロック60%　基盤礫10% 火山灰微量	ハード	
5	10YR4/3	にぶい黄褐	ロームブロック10%　礫粒微量　火山灰20%	ややソフト	
6	10YR4/3	にぶい黄褐	ロームブロック70%　基盤礫10% 火山灰微量	ハード	
7	10YR4/3	にぶい黄褐	ロームブロック10%　砂粒微量 火山灰30%	ややハード	
8	10YR4/4	褐	全面ローム	ハード	
9	10YR3/4	暗褐	ローム30%　砂粒微量	ハード	
10	10YR4/4	褐	全面ローム	ハード	
11	10YR3/4	暗褐	ローム粒　火山灰微量	ソフト	
12	10YR4/4	褐	ロームブロック80%　砂粒微量	ハード	
13	10YR4/3	にぶい黄褐	礫粒　砂粒微量　火山灰20%	ややソフト	
14	10YR4/4	褐	ローム40%　基盤礫30%　砂利 火山灰微量	ハード	
15	10YR3/4	暗褐	ローム30%　基盤礫30%　砂利 火山灰微量	ハード	
16	10YR3/4	暗褐	基盤礫30%　砂粒微量	ややハード	

17	10YR3/3	暗褐	ロームブロック30% 基盤礫 砂粒微量 火山灰微量	ややソフト	
18	10YR2/2	黒	砂粒極少 火山灰10%	密	
19	10YR4/3	にぶい黄褐	ローム80% 砂粒微量	ハード	
20	10YR3/4	暗褐	ロームブロック30% 基盤礫10% 火山灰微量	ややハード	
21	10YR4/3	にぶい黄褐	ロームブロック10% 礫粒 砂粒微量	ややソフト	
22	10YR4/3	にぶい黄褐	ロームブロック10% 礫粒 砂粒微量	ややソフト	
23	10YR4/3	にぶい黄褐	ローム40% 基盤礫10% 砂粒 火山灰微量	ハード	
24	10YR4/3	にぶい黄褐	ローム80% 基盤礫 火山灰微量	ハード	
25	10YR3/4	暗褐	ローム20% 礫粒微量	ややソフト	
26	10YR3/4	暗褐	玉砂利2こ 砂粒極少 火山灰10%	ソフト	
27	10YR3/3	暗褐	礫粒微量	ソフト	
28	10YR3/4	暗褐	ロームブロック60% 砂粒微量	ハード	
29	10YR4/4	褐	ローム80% 砂粒微量 火山灰5%	ハード	
30	10YR4/3	にぶい黄褐	ロームブロック30% 礫粒 砂粒 火山灰	ややソフト	
31	10YR4/4	褐	ローム80% 砂粒微量 火山灰5%	ハード	
32	10YR4/3	にぶい黄褐	ロームブロック ローム粒微量	ハード	
33	10YR4/4	褐	ローム80% 礫粒微量	ハード	
34	10YR4/4	褐	ローム40% 基盤礫30% 砂利 火山灰微量	ハード	
35	10YR4/3	にぶい黄褐	ロームブロック10% 礫粒微量	ややソフト	C微量
36	10YR4/4	褐	ローム50% 基盤礫5% 砂粒微量	ハード	
37	10YR4/3	にぶい黄褐	ロームブロック 礫粒 砂利2こ	ややソフト	
38	10YR4/4	褐	ロームブロック60% 礫粒 砂粒 砂利微量	ややハード	
39	10YR3/4	暗褐	ローム粒 礫粒微量	ややソフト	
40	10YR3/4	暗褐	ロームブロック5% 礫粒 砂粒微量	ややソフト	
41	10YR3/4	暗褐	ロームブロック5% 礫粒 砂粒微量	ややソフト	
42	10YR4/3	にぶい黄褐	ロームブロック10% 火山灰20%	ややハード	C微量
43	10YR4/4	褐	ローム80% 基盤礫微量	ハード	C微量
44	10YR4/3	にぶい黄褐	ロームブロック40% 礫粒微量	ハード	
45	10YR4/4	褐	ロームブロック80% 礫粒微量	ややハード	
46	10YR4/4	褐	ローム90% 砂粒微量	ハード	
47	10YR4/4	褐	ローム80% 砂粒微量	ハード	
48					
イ	10YR4/4	褐	ローム60% 礫粒微量 基盤礫50㎝大1こ	ハード	
ロ					
ハ	10YR4/3	にぶい黄褐	ローム粒 礫粒 砂粒微量 火山灰40%	ややソフト	
ニ	10YR5/4	褐	礫粒微量 火山灰50%		
ホ	10YR4/6	褐	礫粒微量 火山灰30%		
ヘ	10YR4/4	褐	ロームブロック50% 基盤礫 砂利微量	ハード	
ト	10YR3/4	暗褐	ロームブロック30% 基盤礫 砂利微量	ハード	
チ	10YR4/4	褐	ローム60% 礫粒 砂粒微量	ハード	
リ	10YR3/4	暗褐	ロームブロック40% 砂粒5% 礫粒5%	ハード	
竪穴72 (SPA-A')					
竪穴72-イ	10YR3/4	暗褐	ロームブロック5% 礫粒 焼土粒 C微	ハード	
ロ	10YR4/3	にぶい黄褐	ロームブロック C 焼土粒微量	ややハード	
ハ	10YR3/4	暗褐	ロームブロック10% 炭化物微量		
ニ	10YR2/3	黒褐	ローム粒 礫粒微量 C10%	ややソフト	
ホ	10YR3/4	暗褐	ロームブロック40% 礫粒 砂粒微量	ややソフト	
ヘ	10YR2/3	黒褐	ローム粒微量 礫粒 C2%	ややソフト	
ト	10YR2/3	黒褐	礫粒 焼土粒2% C2%	ややソフト	
チ	10YR3/4	暗褐	ローム粒 礫粒微量 焼土粒微量 C微量	ややハード	
リ	10YR3/4	暗褐	ロームブロック60% 礫粒10% 焼土粒 C微量	ハード	
ヌ	10YR3/4	暗褐	ロームブロック30% 礫粒微量 C2%		
ル	10YR3/4	暗褐	ロームブロック20% 礫粒微量 焼土粒 C5%		
ヲ	10YR3/4	暗褐	ローム粒 礫粒微量 焼土粒10% C10%	ややハード	
ワ	10YR3/4	暗褐	ローム粒 礫粒微量 焼土粒 C		
カ	10YR3/4	暗褐	ロームブロック40% 礫粒微量 C	ハード	
竪穴71 (SPA-A')					
竪穴71-イ	10YR3/4	暗褐	ロームブロック 礫粒 砂粒微量	ややハード	
ロ	10YR3/4	暗褐	ロームブロック 礫粒 ローム粒微量 C2%	ハード	
ハ	10YR4/4	褐	礫粒微量	粘土質	
柱穴-あ	10YR3/4	暗褐	基盤礫1㎝大2こ 礫粒 ローム粒微量 C	ハード	
い	10YR3/4	暗褐	ローム粒微量 礫粒 C2%	ハード	
う	10YR3/4	暗褐	ロームブロック50% 礫粒 C微量	ハード	
柱穴-a	10YR3/4	暗褐	ロームブロック 礫粒微量 C2%	ハード	
竪穴70 (SPA-A')					
V-1	10YR3/4	暗褐	ローム粒1% 焼土粒少量 炭粒1%	ハード	密
2	10YR3/4	暗褐	小礫粒微量 ソフトローム 焼土粒微量	ややハード	密

3	10YR4/3 にぶい黄褐	礫粒少量 ローム粒少量 炭粒		密
竪穴70-イ	10YR2/2 黒褐	粗粒砂 小礫粒少量 ロームブロック5% 焼土粒5% 炭粒30%	ソフト	密
ロ	10YR2/3 黒褐	粗粒砂 礫粒少量 焼土粒少量	ハード	密
ハ	10YR3/4 暗褐	粗粒砂 礫粒90%		粗
ニ	10YR3/2 黒褐	粗粒砂 小礫粒60% ローム粒10% 焼土粒 炭粒微量	ソフト	やや粗
ホ	10YR2/3 黒褐	粗粒砂 礫粒多量 焼土粒少量 炭粒10%	ややソフト	密
ヘ	10YR3/3 暗褐	粗粒砂 小礫粒少量 焼土粒少量	ややソフト	密
ト	10YR2/3 黒褐	粗粒砂 小礫粒多量 ローム粒少量 焼土粒5% 炭粒3%	ソフト	やや密
チ	10YR2/3 黒褐	粗粒砂 小礫粒多量 ロームブロック10% 炭粒50%	ソフト	やや粗
リ	10YR17/1 黒	粗粒砂 小礫粒80% 焼土粒		粗
ヌ	10YR2/1 黒	粗粒砂 礫粒70% ローム粒5% 炭粒多量	ややハード	粗 (釘)
ル	10YR17/1 黒	粗粒砂 礫粒多量 焼土粒 炭粒少量	ソフト	粗
ヲ	10YR2/3 黒褐	粗粒砂 小礫粒50% 焼土粒 炭粒少量	ソフト	密
ワ	10YR3/3 暗褐	粗粒砂 小礫粒多量 焼土粒微量 炭粒30%	ソフト	密
カ	10YR2/3 黒褐	粗粒砂 小礫粒70% 火山灰微量 焼土粒少量 炭粒	ソフト	密
ヨ	10YR3/3 暗褐	粗粒砂 礫粒90% 焼土粒微量	ハード	密
タ	10YR3/2 黒褐	粗粒砂 小礫粒多量 ロームブロック3% 焼土粒微量	ソフト	やや粗
レ	10YR2/2 黒褐	粗粒砂 ロームブロック5% 焼土粒 炭粒80%	ソフト	粗
ソ	10YR2/3 黒褐	粗粒砂 小礫粒多量 炭（板状）90%		粗
ツ	10YR4/3 にぶい黄褐	粗粒砂 小礫粒多量 ロームブロック 焼土粒少量	ややハード	密
ネ	10YR2/2 黒褐	粗粒砂 小礫粒微量 ローム粒 焼土粒微量	ソフト	密
ナ	10YR3/2 黒褐	粗粒砂 礫粒少量 炭塊	ソフト	粗
ラ	10YR2/3 黒褐	粗粒砂 ローム粒20% 焼土粒微量 炭塊	ソフト	やや密
ム	10YR3/3 暗褐	粗粒砂 小礫粒多量 焼土粒少量 炭粒50%	ソフト	やや粗
ウ	10YR3/3 暗褐	粗粒砂 小礫粒少量 炭粒微量	ソフト	密
ヰ	10YR2/3 黒褐	粗粒砂 礫粒10% ローム粒微量	ソフト	やや粗
ノ	10YR2/3 黒褐	粗粒砂 小礫粒少量 ローム粒5% 炭粒	ソフト	やや粗
オ	10YR3/4 暗褐	粗粒砂 円礫90% ローム粒少量 焼土粒微量 炭粒	ソフト	やや粗
ク	10YR3/3 暗褐	粗粒砂 円礫90% ロームブロック 焼土粒微量 炭粒5%	ソフト	密
ヤ	10YR3/3 暗褐	粗粒砂 小礫粒少量 焼土粒10% 炭粒10%	ややソフト	密
マ	10YR2/3 黒褐	粗粒砂 小礫粒30% 火山灰 焼土粒多量	ソフト	やや粗
ケ	10YR2/3 黒褐	粗粒砂 小礫粒少量 焼土粒5% 炭化種子80%	ソフト	粗
フ	10YR3/3 暗褐	粗粒砂 ロームブロック10% 火山灰1% 炭塊少量	ハード	密
コ	10YR2/3 黒褐	粗粒砂 小礫粒多量 ロームブロック 焼土 炭粒多量	ソフト	やや粗
エ	10YR3/3 暗褐	粗粒砂 小礫粒多量 礫粒 焼土粒少量	ソフト	やや粗
テ	10YR4/4 褐	粗粒砂 小礫粒多量 ロームブロック50% 焼土粒 炭粒	ソフト	やや密
ア	10YR6/6 明黄褐	粗粒砂 ロームブロック 焼土粒少量 炭粒少量	ハード	密
サ	10YR4/3 にぶい黄褐	粗粒砂 小礫粒少量 ローム粒 焼土粒 炭粒	ソフト	やや粗
キ	10YR3/3 暗褐	粗粒砂 小礫粒 ローム粒微量 焼土粒微量	ソフト	やや粗
溝2-あ	10YR2/3 黒褐	粗粒砂 小礫粒微量 上面に白色火山灰の堆積有 焼土粒	ややソフト	密
い	10YR3/3 暗褐	粗粒砂 小礫粒30% ローム粒微量 焼土粒少量 炭粒少量	ややソフト	やや密
う	10YR3/3 暗褐	粗粒砂 小礫粒少量 ロームブロック5% 炭粒1%	ややソフト	密
え	10YR3/4 暗褐	粗粒砂 小礫粒40% 基盤礫少量 10YR7/3火山灰少量 焼土粒 炭粒微量	ソフト	やや粗
お	10YR4/3 にぶい黄褐	粗粒砂 小礫粒少量 ロームブロック50% 炭粒微量	ややソフト	密
か	10YR3/4 暗褐	粗粒砂 小礫粒全体に混 ロームブロック5% 焼土粒	ややソフト	密
小P-1	10YR4/4 褐	粗粒砂 焼土粒少量 炭粒	ソフト	粗
2	10YR4/3 にぶい黄褐	粗粒砂 礫粒微量 焼土粒微量	ソフト	粗
竪穴70 (SPB~B')				
I-1	10YR3/3 暗褐	礫粒 ローム粒 焼土粒 砂利 炭粒		
II-1	10YR 3/3~3/4 暗褐	ローム粒微量 焼土粒微量 火山灰10%		
III-1	10YR2/3 黒褐	ローム粒微量 焼土粒微量 炭粒		やや密
2	10YR3/2 黒褐	礫粒少量 焼土粒少量 炭粒少量		やや密
3	10YR3/2 黒褐	礫粒少量 焼土粒 炭粒微量		やや密
4	10YR3/2 黒褐	礫粒 焼土粒		やや密

5	10YR3/2	黒褐	礫粒多量　焼土粒　炭粒		
6	10YR3/2	黒褐	礫粒　焼土粒　炭粒	ソフト	径3cm大の炭1こ
7	10YR3/3	暗褐	礫粒50%　ローム粒　焼土粒微量　炭粒少量	ややハード	
8	10YR3/3	暗褐	礫粒5%　ローム粒微量　焼土粒少量		密
9	10YR3/3	暗褐	礫粒50%　ローム粒少量	ソフト	
10	10YR3/3	暗褐	礫粒　ローム粒　炭粒微量		やや粗
11	10YR3/3	暗褐	礫粒　ローム粒　炭粒微量	〈III-10〉よりソフト	
IV-1	10YR2/2	黒褐	ローム粒微量	ソフト	
V-1	10YR3/4	暗褐	焼土粒少量	ソフト	
2	10YR2/3	黒褐	ローム粒少量		
竪穴70-イ	10YR 3/2～3/3	黒褐～暗褐	礫粒　ローム粒少量　炭粒微量		
ロ	10YR3/2	黒褐	礫粒15%　焼土粒		
ハ	10YR2/2	黒褐	礫粒　ローム粒少量　焼土粒　炭粒		
ニ	10YR2/2	黒褐	礫粒　焼土粒多量	ソフト	粗
ホ	10YR2/2	黒褐	礫粒　焼土粒　炭粒		
ヘ	10YR2/2	黒褐	礫粒　焼土粒　炭粒	ソフト	
ト	10YR3/3	暗褐	ローム粒少量　炭粒	サラサラ　ソフト	
チ	10YR2/2	黒褐	礫粒少量　炭粒少量	サラサラ　ソフト	
リ	10YR4/3	にぶい黄褐	炭粒微量		
ヌ	10YR3/2	黒褐	礫粒少量　炭粒	ソフト	
ル	10YR3/2	黒褐	礫粒10%　焼土粒　炭粒	ソフト	
ヲ	10YR2/2	黒褐	礫粒20%　炭粒	ソフト	
ワ	10YR3/3	暗褐	礫粒　ローム粒少量　炭粒	ややハード	
カ	10YR2/2	黒褐	礫粒　ローム粒少量　炭粒	ハード	
ヨ	10YR3/2	黒褐	礫粒少量　焼土粒　炭粒		
タ	10YR2/2	黒褐	礫粒　焼土粒　玉砂利多い　炭粒		
レ	10YR2/2	黒褐	礫粒　炭粒	ソフト	粗　径3cm大の炭1こ
ソ	10YR4/4	褐	粘土質　ロームブロック　炭粒微量		
ツ	10YR4/4	褐	粘土質　ロームブロック　炭粒		
ネ	10YR3/3	暗褐	礫粒少量　ローム粒少量		
ナ	10YR4/3	にぶい黄褐	やや粘性　焼土粒微量		
溝2-イ			注記なし		
ロ	10YR3/4	暗褐	礫粒少量　ローム粒少量　焼土粒　炭粒微量	ソフト	
ハ	10YR3/4	暗褐	礫粒少量　ローム粒少量　炭粒	(ロ)よりソフト	
ニ	10YR3/4 ～4/4	暗褐～褐	ロームブロック　炭粒	ややハード	
ホ	10YR3/4	暗褐	ロームブロック	炭粒微量	
ヘ	10YR3/4	暗褐	礫粒少量　ローム粒少量　炭粒微量	サラサラ　ソフト	
ト	10YR4/4	褐	粘性　礫粒少量　ローム粒少量　炭粒少量		
柱穴10-あ	10YR3/3	暗褐	礫粒　ローム粒　炭粒微量		
い	10YR4/3	にぶい黄褐	粘土質　礫粒　ローム粒15%　炭粒微量		
う	10YR3/2	黒褐	礫粒5%　炭粒少量		
え	10YR4/3	にぶい黄褐	礫粒　ローム粒　炭粒微量		
お	10YR4/2	にぶい黄褐	礫粒　ローム粒5%　炭粒微量	ソフト	
か	10YR3/1	黒褐	礫粒　ローム粒　炭粒	径3cm大の石1こ	
き	10YR4/4	褐	粘土質　礫粒　ローム粒多量　炭粒		
く	10YR2/3	黒褐	砂質　礫粒　ローム粒　炭粒	サラサラ　ソフト	
け	10YR3/1	黒褐	礫粒　ローム粒　炭粒	ソフト	
こ	10YR3/3	暗褐	礫粒少量　焼土粒微量		やや粗
さ	10YR3/3	暗褐	礫粒少量　ローム粒少量	ソフト	
柱穴71-あ	10YR3/3	暗褐	礫粒　ローム粒　焼土粒　炭粒	ややソフト	
い	10YR3/4	にぶい黄褐	粘土質　礫粒　ローム粒　炭粒微量	ややハード	
う	10YR3/3 ～3/4	暗褐	礫粒　ローム粒	ソフト	
え	10YR4/4 ～4/6	褐	粘土質　ローム　炭粒微量		
お	10YR4/3	にぶい黄褐	礫粒ローム粒　炭粒微量		
か	10YR4/3	にぶい黄褐	礫粒　ローム粒	(お)よりソフト	
き	10YR4/3	にぶい黄褐	全面ローム		
く	10YR5/6	黄褐	全面ローム　炭粒多量	ややソフト	
け	10YR5/4	にぶい黄褐	ロームブロック　炭粒多量	ややソフト	径3cm大の石1こ
こ	10YR5/4 ～5/6	にぶい黄褐 ～黄褐	ロームブロック　炭粒多量	ややソフト	
柱穴-A	10YR3/3	暗褐	礫粒　ローム粒　焼土粒		径2cm大の炭2こ
B	10YR4/3 ～4/4	にぶい黄褐 ～褐	ロームブロック30%　炭粒微量		
C	10YR4/3 ～4/4	にぶい黄褐 ～褐	全面ローム　礫粒少量　ロームブロック20%		
D	10YR5/4	にぶい黄褐	全面ローム　砂利少量　炭粒微量		
E	10YR4/3	にぶい黄褐	砂粒少量　ローム粒　炭粒微量	ソフト	
F	10YR5/4	にぶい黄褐	全面ローム　炭粒多量	径3cm大の石1こ	
竪穴66 (SPA-A)					
竪穴66-イ	10YR3/2	黒褐	礫粒　基盤礫　ローム粒　ロームブロック　炭粒少量		やや密
ロ	10YR3/3	暗褐	礫粒　基盤礫　ローム粒　ロームブロック　砂利少量　炭粒少量		密
ハ	10YR3/3	暗褐	礫粒　ローム粒　焼土粒少量　炭粒少量		
ニ	10YR3/2	黒褐	礫粒　3cm大基盤礫1こ	ソフト	(ハ)よりボロボロ
ホ	10YR3/3 ～4/3	暗褐～にぶい黄褐	礫粒　基盤礫　ローム粒　ロームブロック　焼土粒微量　炭粒少量	ややソフト	
ヘ	10YR3/3 ～4/3	暗褐～にぶい黄褐	礫粒　基盤粒　ローム粒　ロームブロック　焼土粒微量　炭粒		
ト	10YR3/3	暗褐	礫粒　基盤礫　ローム粒　ロームブロック　炭粒微量	ソフト	ザラザラ　粗

チ	10YR3/2	黒褐	礫粒多量　ローム粒少量		
リ	10YR3/3 ~3/4	暗褐	礫粒　ローム粒　炭粒微量		やや密
ヌ	10YR3/4	暗褐	礫粒　ローム粒　炭粒微量	ややソフト	
ル	10YR2/3 ~3/3	黒褐~暗褐	礫粒多量　ローム粒　砂利　焼土粒	ソフト	粗
ヲ	7.5YR4/4 ~10YR4/4	褐	全面ローム　礫粒　ロームブロック60%　焼土粒微量　炭粒少量		
ワ	10YR4/3	にぶい黄褐	粘土質　礫粒少量　ロームブロック　火山灰微量　炭粒少量		
カ	10YR3/3	暗褐	礫粒　基盤礫　ローム粒　砂利	ソフト	ザラザラ
ヨ	10YR3/3	暗褐	礫粒　基盤礫　ローム粒　砂利		やや密
タ	10YR3/3 ~3/4	暗褐	粘土質　礫粒　ローム粒　砂利	ソフト	
レ	10YR4/4 ~4/6	褐	粘土質　礫粒　ロームブロック　砂利	ハード	
ソ	10YR3/2 ~3/4	黒褐~暗褐	粘土質　礫粒　ローム粒		
ツ	10YR2/3	黒褐	粘土質　礫粒　ローム粒　砂利		
堅穴73 (SPA-A')					
イ	10YR3/4	暗褐	基盤礫10m大5%　礫粒微量	ハード	C微量
ロ	10YR3/3	暗褐	基盤礫　ロームブロック　礫粒微量	ややハード	C微量
ハ	10YR3/3	暗褐	基盤礫　ローム粒微量	ややハード	C微量
ニ	10YR3/4	暗褐	基盤礫　ロームブロック　礫粒	ややハード	C微量
ホ	10YR4/6	褐	基盤礫80%　ローム粒微量	ハード	
ヘ	10YR3/3	暗褐	礫粒　ローム粒　火山灰微量	ソフト	
ト	10YR3/4	暗褐	基盤礫5%　ロームブロック10%　礫粒微量	ややハード	C微量
チ	10YR3/4	暗褐	礫粒　ローム粒　火山灰微量	ややハード	
リ	10YR3/3	暗褐	礫粒微量　ロームブロック5%	ややソフト	C5%
ヌ	10YR3/3	暗褐	礫粒　ロームブロック微量	ややハード	C微量
ル	10YR3/4	暗褐	礫粒　ローム粒微量	ソフト	C微量
ヲ	10YR3/4	暗褐	基盤礫　ロームブロック　礫粒　石器1こ	ややハード	C微量
ワ	10YR3/4	暗褐	基盤礫　ロームブロック　礫粒　砂利　10m大1こ微量	ややハード	C微量
カ	10YR4/4	褐	基盤礫　礫粒　ロームブロック40%微量	ハード	C微量
ヨ	10YR4/3	にぶい黄褐	礫粒微量　ロームブロック30%	ややハード	C微量
タ	10YR3/3	暗褐	礫粒　ロームブロック　火山灰微量	ソフト	C微量
レ	10YR4/4	褐	基盤礫微量　ロームブロック30%	ハード	C微量
ソ	10YR4/3	にぶい黄褐	礫粒微量　ロームブロック40%　火山灰	ハード	C
ツ	10YR3/4	暗褐	礫粒微量　ロームブロック10%　火山灰	ハード	
ネ	10YR4/4	褐	ローム質70%　火山灰微量	ハード	C
ナ	10YR4/4	褐	ローム質80%　火山灰　礫粒微量	ハード	C
ラ	10YR3/4	暗褐	ロームブロック20%　ローム粒　礫粒　火山灰5%	ややソフト	
ム	10YR4/4	褐	ローム質80%　火山灰5%　砂粒	ハード	C微量
ヰ	10YR3/4	暗褐	ローム質40%　火山灰10%　礫粒	ハード	C
ノ	10YR3/4	暗褐	ロームブロック30%　火山灰5%　礫粒	ハード	C
オ	10YR4/4	褐	ローム質60%　火山灰10%	ハード	C微量
ク	10YR4/3	にぶい黄褐	ロームブロック20%　火山灰60%　礫粒	ややハード	C
ヤ	10YR4/4	褐	ロームブロック30%　火山灰30%　礫粒	ややハード	C2%
マ	10YR4/3	にぶい黄褐	ロームブロック微量　火山灰10%	ややハード	C
ケ	10YR4/4	褐	ローム質80%　礫粒微量	ハード	C微量
フ	10YR3/4	暗褐	ロームブロック40%　礫粒微量	ややハード	C5%
コ	10YR3/4	暗褐	ロームブロック60%　火山灰微量	ハード	C微量
エ	10YR4/4	褐	ロームブロック90%　基盤礫5%	ハード	C2%
テ	10YR4/4	褐	ロームブロック60%　火山灰微量	ハード	C微量
ア	10YR3/4	暗褐	ロームブロック　基盤礫　礫粒微量	ハード	C微量
サ	10YR3/4	暗褐	ロームブロック　基盤礫　礫粒微量	ソフト	C微量
キ	10YR3/4	暗褐	ロームブロック30%　礫粒微量	ややハード	C微量
ユ	10YR4/4	褐	ローム質80%　礫粒微量	ややハード	C微量
メ	10YR3/3	暗褐	ロームブロック　礫粒微量	ソフト	C微量
ミ	10YR3/4	暗褐	ロームブロック　礫粒微量	ややハード	C
シ	10YR4/4	褐	ローム質80%　礫粒微量	ハード	C微量
あ	10YR4/4	褐	ローム質80%　礫粒微量	ハード	C5%
い	10YR3/4	暗褐	ロームブロック30%　礫粒　砂利微量	ややハード	C微量
う	10YR4/6	褐	ローム質90%　基盤礫微量	ハード	C微量
え	10YR4/6	褐	ローム質90%　基盤礫微量	ハード	C微量
お	10YR4/4	褐	ロームブロック80%　礫粒	ハード	C
か	10YR3/4	暗褐	ロームブロック40%　基盤礫　礫粒	ハード	C5%
き	10YR3/3	暗褐	ローム粒微量　基盤粒40%	粗　ハード	C
く	10YR3/3	暗褐	ローム質40%　礫粒微量	ハード	C微量
け	10YR1.7/1	黒		ソフト	C100%
こ	10YR3/3	暗褐	ロームブロック微量　基盤粒30%	ハード	C微量
さ	10YR4/3	にぶい黄褐	ロームブロック10%　火山灰20%	ハード	C微量
し	10YR4/4	褐	ローム質90%　火山灰微量	ハード	C微量
す	10YR4/3	にぶい黄褐	ロームブロック10%　火山灰微量	ハード	C微量
せ	10YR4/4	褐	ロームブロック80%　礫粒微量	ハード	C微量
そ	10YR3/3	暗褐	ロームブロック20%　礫粒		C5%
P121a	10YR3/3	暗褐			
b	10YR3/2	黒褐			
c	10YR3/3	暗褐			
d	10YR3/3	暗褐			

竪穴79-イ	10YR4/6	褐	ロームブロック80%　基盤礫10%	ハード		
ロ	10YR3/4	暗褐	ローム粒　基盤礫　炭粒微量	ややソフト		
ハ	10YR4/3	にぶい黄褐	礫粒微量　ロームブロック10%　基盤礫20%	ややハード		
ニ	10YR4/3	にぶい黄褐	炭粒5%　ロームブロック20%　基盤礫微量　砂粒極少量	ややハード		
ホ	10YR3/3	暗褐	礫粒　ローム粒微量　炭粒10%	ソフト		
ヘ	10YR3/4	暗褐	礫粒　ローム粒　炭粒微量	ソフト		
ト	10YR3/3	暗褐	礫粒微量　ローム粒　ロームブロック　基盤礫5%　炭粒微量	ソフト		
チ	10YR3/4	暗褐	ローム粒　火山灰微量　基盤礫5%　炭粒	ソフト		
リ	10YR3/4	暗褐	礫粒　ローム粒10%　炭粒微量	ややハード		
ヌ	10YR3/4	暗褐	礫粒　ローム粒5%　砂粒微量　基盤礫5%　炭粒極少量	ややハード		
ル	10YR3/4	暗褐	礫粒　ローム粒　焼土粒微量　炭粒	ハード		
ヲ	10YR3/4	暗褐	礫粒　ローム粒	ややハード		
ワ	10YR3/4	暗褐	礫粒5%　ローム粒5%　炭粒5%	ややハード		
カ	10YR4/3	にぶい黄褐	礫粒　ローム粒　炭粒5%	ソフト		
ヨ	10YR3/3	暗褐	礫粒　ロームブロック　炭粒微量	ややハード		
タ	10YR3/4	暗褐	礫粒　ロームブロック10%　炭粒微量	ややハード		
レ	10YR3/4	暗褐	礫粒微量　ロームブロック　炭粒10%	ややハード		
ソ	10YR3/4	暗褐	ロームブロック　基盤礫5%　炭粒微量	ややハード		
ツ	10YR3/4	暗褐	礫粒微量　ロームブロック　炭粒10%	ややハード		
ネ	10YR3/4	暗褐	礫粒微量　ローム粒　炭粒	ソフト		
ナ	10YR3/3	暗褐	礫粒　ローム粒　炭粒極少量	ソフト		
ラ	10YR4/3	にぶい黄褐	礫粒　ローム粒　炭粒極少量	ややソフト		
ム	10YR4/3	にぶい黄褐	礫粒　ロームブロック10%　炭粒10%	ソフト		
ウ	10YR3/4	暗褐	円礫5cm大1こ　ローム粒　砂粒極少量　基盤礫　炭粒微量	ややハード		
ヰ	10YR4/6 4/4	褐	ローム粒　基盤礫　炭粒微量	ハード		
ノ	10YR3/4	暗褐	礫粒微量　ローム粒　ロームブロック　基盤礫微量　炭粒極少量	ややハード		
オ	10YR4/3	にぶい黄褐	基盤礫粒30%　基盤礫　炭粒微量	ハード		
ク	10YR3/4	暗褐	礫粒　ローム粒微量　基盤礫　炭粒	ハード		
竪穴79-イ	10YR3/4	暗褐	礫粒微量　ローム粒	ややハード		
ロ	10YR3/4	暗褐	礫粒微量　ロームブロック30%	ハード		
ハ	10YR4/6	褐	ロームブロック　基盤礫30%	ハード		
ニ	10YR3/4	暗褐	ローム粒　基盤礫粒　火山灰微量	ややソフト		
ホ	10YR4/4	褐	ローム粒微量　基盤礫90%	ハード		
ヘ	10YR3/4	暗褐	ローム粒　基盤礫粒　炭粒微量	ソフト		
ト	10YR3/2	黒褐	ロームブロック40%　基盤礫　炭粒微量	ややハード		
チ	10YR3/4	暗褐	ロームブロック20%　基盤礫　炭粒5%	ややハード		
リ	10YR3/2	黒褐	ロームブロック20%　基盤礫　炭粒5%	ややハード		
ヌ	10YR4/3	にぶい黄褐	ローム粒　ロームブロック10%　基盤礫10%　火山灰微量	ハード		
ル	10YR3/3	暗褐	礫粒　ローム粒　火山灰極少量	ソフト		〈カ〉より新い
ヲ	10YR3/4	暗褐	礫粒微量　ロームブロック　火山灰5%	ややハード		
ワ	10YR2/3	黒褐	礫粒微量　ローム粒	ややソフト		
カ	10YR3/3	暗褐	礫粒　ローム粒　火山灰極少量	ソフト		
ヨ	10YR2/2	黒褐	ロームブロック5%　炭粒10%　火山灰	ソフト		
タ	10YR3/3	暗褐	礫粒微量　ロームブロック5%　火山灰20%	ソフト		
レ	10YR3/4	暗褐	礫粒微量　ローム粒	ややソフト		
ソ	10YR3/4	暗褐	ローム粒　基盤礫　炭粒	ややソフト		
ツ	10YR3/2	黒褐	ローム粒　基盤礫　炭粒	ややハード		
ネ	10YR2/3	黒褐	礫粒微量　ローム粒　炭粒10%	ソフト		
ナ	10YR3/3	暗褐	礫粒微量　ローム粒	ソフト		
ラ	10YR2/3	黒褐	礫粒　ローム粒　炭粒微量	ソフト		
ム	10YR3/3	暗褐	礫粒　ローム粒　炭粒極少量	ソフト		
ウ	10YR3/4	暗褐	ローム粒　ロームブロック20%　炭粒微量	ハード		
ヰ	10YR3/3	暗褐	ローム粒　ロームブロック　基盤礫　炭粒微量	ややハード		
ノ	10YR3/4	暗褐	ローム粒　ロームブロック　基盤礫　炭粒微量	ややハード		
オ	10YR3/3	暗褐	礫粒　ローム粒　炭粒極少量	ソフト		
ク	10YR3/4	暗褐	ローム粒　ロームブロック　基盤礫　炭粒　火山灰	ややソフト		
ヤ	10YR3/4	暗褐	礫粒　ロームブロック　砂粒微量	ややハード		
マ	10YR3/4	暗褐	礫粒微量　ローム粒　ロームブロック　基盤礫　炭粒　火山灰	ややハード		
ケ	10YR3/3	暗褐	礫粒　ロームブロック　炭粒微量	ややハード		
フ	10YR3/4	暗褐	礫粒微量　ロームブロック20%　炭粒5%	ややハード		
コ	10YR3/4	暗褐	ローム粒微量　基盤礫10%	ややハード		
エ	10YR4/3	にぶい黄褐	礫粒　ロームブロック20%　砂粒微量	ややハード		
テ	10YR3/4	暗褐	礫粒微量　ローム粒	ややソフト		
ア	10YR3/4	暗褐	礫粒　ロームブロック　炭粒	ややハード		
サ	10YR4/3	にぶい黄褐	礫粒微量　ロームブロック50%	ハード		
キ	10YR4/4	褐	ローム粒　炭粒微量　火山灰20%	ややハード		
ユ	10YR3/4 10YR3/3	暗褐	ロームブロック　基盤礫　炭粒微量　火山灰	ソフト		
メ	10YR3/4	暗褐	礫粒微量　ロームブロック　炭粒10%	ややハード		
ミ	10YR4/3	にぶい黄褐	ロームブロック　基盤礫20%	ハード		

シ	10YR3/4	暗褐	礫粒　円礫1こ　火山灰微量	ややハード	
ヱ	10YR4/6	褐	ロームブロック　基盤礫30%	ハード	
ヒ	10YR3/4	暗褐	礫粒微量　ローム粒	ややハード	土器1こ
モ	10YR3/4	暗褐	礫粒　ローム粒　炭粒微量	ハード	
セ	10YR3/3	暗褐	礫粒微量　ローム粒	ややハード	
ス	10YR3/4	暗褐	ローム粒　ロームブロック10%　基盤礫10%	ハード	
ン	10YR3/3	暗褐	礫粒　ローム粒　火山灰微量	ハード	
ガ	10YR4/3	にぶい黄褐	ロームブロック40%　炭粒	ハード	
竪穴79 P1176-あ	10YR4/6	褐	ロームブロック　基盤礫30%	ハード	
い	10YR3/3	暗褐	ローム粒微量　ロームブロック　基盤礫	ややハード	
う	10YR3/4	暗褐	礫粒　ローム粒　炭粒微量	ややソフト	
え	10YR3/4	暗褐	礫粒5%　ローム粒　基盤礫3cm大1こ　炭粒	ややソフト	
お	10YR3/3	暗褐	礫粒　ローム粒　炭粒微量	ソフト	
か	10YR3/3	暗褐	礫粒微量　ローム粒	ソフト	
き	10YR3/3	暗褐	礫粒　ローム粒微量　ロームブロック	ソフト	
竪穴77-イ	10YR3/3	暗褐	ローム粒　礫粒　基盤粒　火山灰	ややソフト	炭化物　焼土粒
ロ	10YR3/4	暗褐	ローム粒　礫粒　基盤粒	ハード	炭化物
ハ	10YR4/4	褐	ローム粒　基盤粒　基盤礫　小礫	ややハード	炭化物
ニ	10YR2/3	黒褐	ローム粒　礫粒　基盤粒	ややソフト	炭化物　焼土粒
ホ	10YR3/3	暗褐	ローム粒　礫粒　基盤粒	ややソフト	炭化物　焼土粒
ヘ	10YR3/3	暗褐	ローム粒　礫粒　基盤粒　小礫　ロームブロック　火山灰	ややソフト	炭化物　土器
ト	10YR3/3	暗褐	ローム粒　礫粒　基盤粒	ソフト	炭化物　焼土粒　骨
リ	10YR4/4	褐	ローム粒　礫粒　基盤粒　火山灰	ややハード	炭化物　焼土粒
ヌ	10YR3/4	暗褐	ローム粒　礫粒　ロームブロック　火山灰	ソフト	炭化物
ル	10YR3/3	暗褐	ローム粒　礫粒　基盤粒　ロームブロック	ソフト	炭化物微量
ヲ	10YR3/3	暗褐	ローム粒　礫粒　ロームブロック　基盤粒	ソフト	炭化物
ワ	7.5YR4/4	褐	ローム粒　礫粒　ロームブロック	ハード	炭化物　土器
カ	10YR3/3	暗褐	ローム粒　礫粒　ロームブロック　基盤粒	ソフト	
ヨ	7.5YR4/6	褐	ロームブロック　ローム粒　基盤粒	ややハード	炭化物
タ	10YR3/4	暗褐	ローム粒　基盤粒		炭化物　土器
レ	10YR3/4	暗褐	ローム粒　ロームブロック　基盤礫　基盤粒　礫粒	ハード	炭化物　焼土粒微量
ソ	10YR3/3	暗褐	ローム粒　礫粒　基盤粒　ロームブロック 火山灰	ソフト	炭化物
ツ	10YR3/3	暗褐	ローム粒　基盤粒	ややソフト	炭化物
ネ	10YR3/4	暗褐	ローム粒　ロームブロック　基盤粒　礫粒	ややハード	炭化物　焼土粒微量
ナ	10YR4/6	褐	ローム粒　基盤礫	ハード	炭化物
ラ	10YR3/4	暗褐	ローム粒　礫粒　ロームブロック	ソフト	炭化物少量　焼土粒微量
ム	10YR4/4	褐	ローム粒　ロームブロック	ハード	炭化物少量
ウ	10YR3/4	暗褐	ローム粒　ロームブロック　基盤粒　火山灰10%	ややハード	炭化物
ヰ	10YR2/3	黒褐	ローム粒　礫粒　基盤粒	ややソフト	炭化物　焼土粒微量
ノ	10YR3/4	暗褐	ローム粒　ロームブロック　礫粒	ややソフト	炭化物微量
オ	10YR3/3	暗褐	ローム粒　ロームブロック　基盤粒	ややソフト	炭化物少量
ク	10YR3/4	暗褐	ローム粒　基盤粒　火山灰	ソフト	
ヤ	10YR4/6	褐	ローム粒　ロームブロック　基盤粒　礫粒	ややハード	炭化物微量
マ	10YR3/4	暗褐	ローム粒　ロームブロック　基盤粒　火山灰少量	ややハード	
ケ	10YR4/4	褐	ローム粒　ロームブロック　基盤粒　火山灰	ややソフト	
フ	10YR4/4	褐	ローム粒　ロームブロック　基盤粒	ハード	
コ	10YR4/4	褐	ローム粒　礫粒　基盤粒	ややハード	炭化物微量
エ	10YR4/4	褐	ローム粒　礫粒　基盤粒	ややハード	炭化物
竪穴76-イ	10YR3/4	暗褐	ローム粒　基盤粒	ややハード	焼土粒10%　炭化物少量　骨片微量
ロ	10YR3/3	暗褐	ローム粒　基盤粒	ややハード	炭化物　焼土粒　骨片微量
ハ	10YR3/3	暗褐	ローム粒　基盤粒	ハード	炭化物少量
ニ	10YR3/3	暗褐	ローム粒　基盤粒　礫粒	ややハード	炭化物　焼土粒　骨片
ホ	10YR2/3	黒褐	ローム粒　基盤粒　礫粒　礫	ややハード	炭化物　焼土粒　骨片
ヘ	10YR3/3	暗褐	ローム粒　基盤粒	ややソフト	炭化物30%　焼土粒
ト	10YR2/3	黒褐	ローム粒　基盤粒　基盤礫　礫粒	ややハード	炭化物　焼土粒微量
チ	10YR2/3	黒褐	ローム粒　基盤粒	ややソフト	炭化物少量　焼土粒微量
リ	10YR1.7/1	黒	全面炭化物	ややソフト	焼土粒
ヌ	10YR3/3	暗褐	ローム粒　基盤粒　礫粒	ややハード	炭化物　焼土粒
ル	10YR2/3	黒褐	炭化物40%　ローム粒　基盤礫　基盤粒	ややソフト	焼土粒
ヲ	10YR2/3	黒褐	ハードローム　基盤粒少量	ややハード　粘性に富む	炭化物20%　焼土粒
ワ	7.5YR3/3	暗褐	ハードローム　基盤粒少量	ややハード	炭化物多量　焼土粒　骨片少量
カ	10YR3/4	暗褐	ハードローム	ハード　粘性	炭化物少量
ヨ	7.5YR4/4	褐	ハードローム　基盤粒少量	ややハード　粘性に富む	炭化物10%
タ	7.5YR3/4	暗褐	ハードローム　基盤粒少量	ややハード　粘性に富む	炭化物10%　焼土粒
レ	7.5YR4/4	褐	ハードローム　基盤粒　礫粒少量	ややソフト	炭化物
ソ	7.5YR3/4	暗褐	ハードローム　基盤粒少量	ややソフト　粘性に富む	炭化物　焼土粒
ツ	10YR3/3	暗褐	ローム粒　基盤礫　基盤粒　礫粒	ややハード	炭化物20%　焼土粒微量
ネ	10YR2/3	黒褐	ローム粒　基盤粒　礫粒	ややハード	炭化物10%　焼土粒少量
ナ	10YR3/4	暗褐	ローム粒　基盤粒	ややハード	炭化物少量
ラ	10YR3/4	暗褐	ローム粒　基盤粒	ややハード	炭化物　焼土粒微量
ム	10YR3/4	暗褐	ローム粒　基盤粒　礫粒	ややハード	炭化物　焼土粒少量
ウ	10YR1.7/1	黒	全面炭化物　ローム粒　基盤粒	ソフト	焼土粒微量
P1126A	10YR3/4	暗褐	ローム粒　基盤粒　礫粒	ソフト	C少量　焼土粒微量
小柱穴a	10YR3/4	暗褐	基盤粒	ややソフト	C少量

b 土壙

土壙24（第38図） 19L9区、4～8号建物跡がある地割面の北端にありこれら建物跡の外に位置する。直径80cm、深さ40cmの不整円形を呈する。壁面は95°で急な立ち上がりである。覆土はやや湿性に富んでおり、全体に柔らかい土が主体となり、火山灰、微量のれき、ローム粒が混入している。特に底部にいくに従い、混入成分が火山灰主体となっており柔らかく、上部はローム粒が多いこと等より、自然埋没後若干の埋め戻しを行ったと考えられる。覆土中より鍛造剝片26.1g、獣骨14.15g木炭193.4g米2.4gが検出されている。（表12）

土壙37（第38図） 19K15区、第10～13号建物跡がある地割面内に位置する。隣接して東側は焼土7、9、南側には土坑38があり、焼土、土坑の密集部分に位置する。特にこの地割面は東西に2本の溝が入り、細かく3つに区割りされており、この中で、これら焼土7、9、土坑37、38は第10号建物跡のほぼ中央部に位置している。直径50cm、深さ5cmの不整円形を呈し、壁面は120°の角度で緩やかに立ち上がる。床面より第45図11の仏具の脚と思われる銅製品が出土している。

土壙26（第38図） 19J21区、第15～17号建物跡がある地割面中央のやや東側、第73号竪穴建物跡入り口張り出し付近に位置する。直径65cm、深さ22cmの不整円形を呈し、壁面は91°とほぼ直角に立ち上がる。覆土は暗褐の土に焼土粒、炭化物粒、ローム粒が入り、やや柔らかい。覆土中より米、胡桃等が検出されているが、1g以下であり、極めて微量である。（表12）

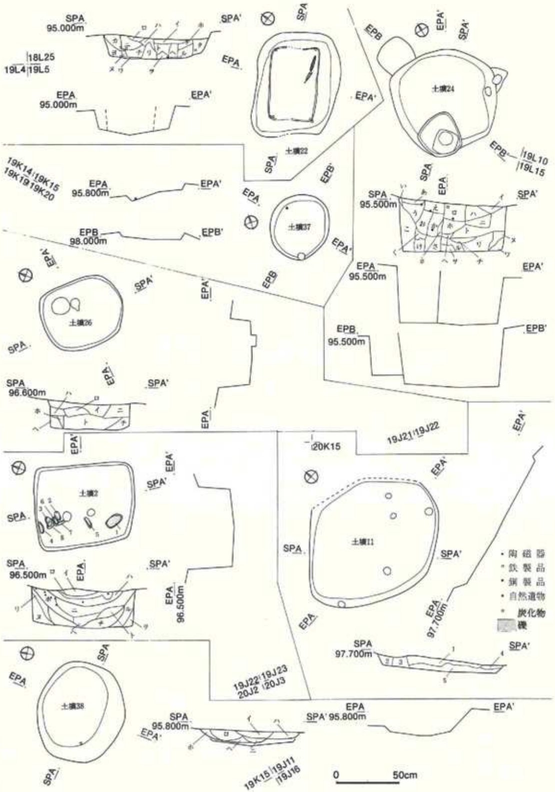
土壙22（第38図） 18L25、19L5区、第1～3号建物跡がある地割面北西端に位置する。80cm×65cmの隅丸方形を呈し、北東～南西方向に長軸をとる。深さ20cm、壁面は西側は105°、東側は116°の急傾斜で立ち上がる。底部はほぼ平坦となる。覆土観察によると、図上ヨ、カ、タがローム質で極めて堅致な土に対しその内側の、イ、ロ、ハ、チ、ヌが黒褐～暗褐の土を主体としたソフトロームブロックが混入したやや柔らかい土であり、下部に行くに従いハードロームの含有率が高くなりやや締まった感じであるが、上部では極めて粗であった。この覆土ヨ、カ、タがほぼ垂直に立ち上がり、さらにニ、ホ、チの境目に6点の和釘が出土した。これを平面的に調査していくと土坑内部に55cm×38cmの隅丸方形の掘方が検出され、さらに四隅に和釘が検出された。またこの掘方内部床面から木質の柄部の付着した小刀も検出された。覆土からは木質炭化物、獣骨、鍛造剝片等が検出されているが、1g以下であり、極めて微量であった。出土遺物は第40図に図示したが、和釘6点、そのうち木質の付着した和釘4点、木質柄部の付着の小刀である。和釘は木質が付着、頭部が欠損のため明確ではないが、1.5寸程の大きさと考えられる。小刀は柄部に5箇所程切り込みが入る。

土壙2（第38図） 19J22区第15～17号建物跡がある地割面の西に建物跡群より50cm程離れた箇所に位置する。65cm×80cmの隅丸方形を呈し、深さ30cm、壁面は93°とほぼ直角に立ち上がる。覆土は上部のイ、ロ、ハはロームが主体となった堅致な土であり、下部は焼土、炭化物が混入している柔らかい土であり、自然埋没後埋め戻され、若干の整地が行われたと考えられる。覆土からは木質炭化物277.94g、小豆23.2g、胡桃3.75g、獣骨3.65g、不明溶解物16.6g等が主に検出されている。（表12）

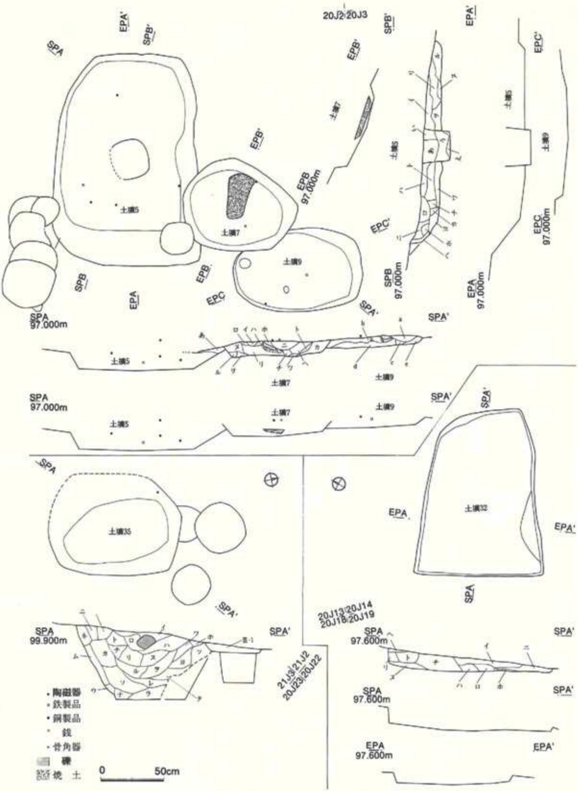
土壙11（第38図） 20K15区18～20号建物跡がある地割面内北端に位置する。120cm×105cmの不整形を呈し、深さ12cm、壁面は120°の角度で立ち上がる。底部は5°の角度でやや緩やかに南東側に傾斜する。覆土は全体がやや堅致であり、基盤礫を多量に含む。全体がほぼ同質の土であり、一気の埋め戻しである。覆土中より木質炭化物14.2g、鍛造剝片14.5gが主に検出されている。（表12）

土壙38（第38図） 19K15区9～13号建物跡がある地割面内の土坑37に隣接し、第10号建物跡のほぼ中央部分に位置する。80cm×70cmの不整円形を呈し、深さ10cm、壁面は132°の緩い角度で立ち上がる。覆土は焼土粒、炭化物粒が入り比較的柔らかい。覆土中より鍛造剝片30.1g、木質炭化物25.7g、米7.5g、不明溶解物4.8g等が主に検出されている。（表12）

土壙5（第39図） 20J2区15～17号建物跡の南側、24号建物跡がある地割面との中間地点に位置する。170cm×110cmの不正隅丸台形状を呈し、北東～南西方向に長軸をとる。深さ10～15cm、壁面は底部付近が南西側は139°北東側は131°の角度で緩やかに立ち上がるが、上に行くに従い壁面の角度はやや急となる。またこの付近の傾斜は南西



第38図　土壙2・11・22・24・26・37・38平面図他

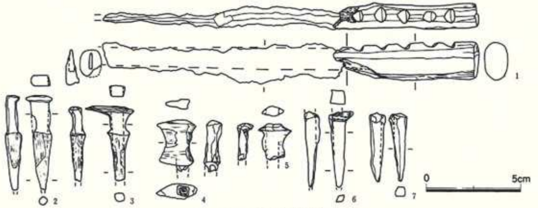


第39図 土壙5・7・9・32・35平面図他

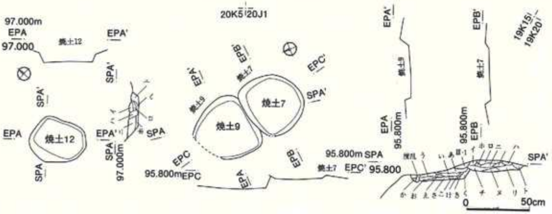
表10　土壙土層観察表

土壙22イ	10YR2/2	黒	ローム粒　礫粒	ソフト　やや粗	
ロ	10YR2/2	黒	ローム粒　礫粒　ソフト		
ハ	10YR3/3	暗褐	ローム粒微量	ややハード	C微量
ニ	10YR3/3	暗褐	ローム60%　礫粒　砂粒微量	ややハード	
ホ	10YR3/3	暗褐	ローム60%　礫粒　砂粒微量	ややハード	
ヘ	10YR3/4	暗褐	ローム70%　砂粒微量	ややハード	
ト	10YR4/4	褐	ローム90%　礫粒　砂粒極少	ハード	
チ	10YR4/4	褐	ローム90%　火山灰3~10%　礫粒極少量	ややハード　やや粗	
リ	10YR4/4	褐	ローム90%　礫粒　砂粒	ハード	
ヌ	10YR4/4	褐	ローム90%　礫粒微量	やや粗	
ル	10YR4/4	褐	ローム90%　礫粒極少	ハード	
ヲ	10YR4/4	褐	ローム90%　礫粒　砂粒極少	ややハード　酸性	
ワ	10YR3/4	暗褐	ローム50%　礫粒微量	やや粗	
外カ	10YR4/6	褐	ローム95%　礫粒極少	ハード	
周ヨ	10YR4/6	褐	ローム95%　礫粒極少	ハード	
部タ	10YR4/6	褐	ローム95%　礫粒　砂粒極少	ハード	
土壙4-イ	10YR3/4	暗褐	礫粒　ローム粒微量　炭粒微量	ソフト	
ロ	10YR4/4	褐	礫粒少量　ロームブロック20%　炭粒2%	ソフト	
ハ	10YR4/4	褐	ロームブロック30%　火山灰微量	ややソフト	
ニ	10YR3/4	暗褐	礫粒微量　ローム粒	ソフト	
ホ	10YR4/6	褐	礫粒　ロームブロック50%　炭粒	ややハード	
ヘ	10YR3/4	暗褐	ローム粒微量	ソフト	
ト	10YR3/4	暗褐	礫粒　ローム粒　火山灰　炭粒微量	ソフト	径3、4㎝大の礫1こ
チ	10YR3/3	暗褐	ローム粒　火山灰微量	ソフト	
リ	10YR4/3	にぶい黄褐	礫粒　ローム粒微量　火山灰30%	ソフト	
ヌ	10YR5/3	にぶい黄褐	火山灰50%　炭粒微量	ソフト	
ル	10YR3/3	暗褐	ローム粒5%　炭粒5%	ソフト	
ヲ	10YR4/3	にぶい黄褐	ローム粒　火山灰50%　炭粒	ソフト	
ワ	10YR4/3	にぶい黄褐	ローム粒　火山灰50%　炭粒	ソフト	
柱穴-あ	10YR3/3	暗褐	礫粒　ローム粒　火山灰微量　炭粒	ややハード	
い	10YR3/2	黒褐	礫粒微量　ロームブロック30%　炭粒	ハード	
う	10YR4/3	にぶい黄褐	礫粒　ロームブロック40%　炭粒	ややハード	
え	10YR3/3	暗褐	礫粒　ローム粒　炭粒	ややソフト	
お	10YR3/4	暗褐	礫粒微量　ローム粒　ロームブロック5%	ややソフト	
か	10YR3/3	暗褐	礫粒　ローム粒　ロームブロック5%	ややソフト	
き	10YR4/4	褐	礫粒　ローム70%　炭粒微量		
く	10YR4/4	褐	礫粒　ローム50%　炭粒微量		
け	10YR3/3	暗褐	礫粒　ローム粒　炭粒微量		
こ	10YR3/4	暗褐	礫粒　ローム粒　火山灰　炭粒微量	ややハード	
さ	10YR3/4	暗褐	礫粒　ローム粒　火山灰　炭粒微量	ソフト	
し	10YR4/4	褐	ローム40%　火山灰　炭粒5%　ややハード		
土壙8-イ	10YR2/3	黒褐	礫粒　ローム粒微量　焼土粒　炭粒微量	ややハード	
ロ	10YR3/3	暗褐	礫粒　ローム粒微量　焼土粒微量　炭粒	ややソフト	不明形解物3㎝大1こ
ハ	10YR3/3	暗褐	礫粒　ロームブロック20%　焼土粒　炭粒	ハード	
ニ	10YR3/2	黒褐	礫粒　ローム粒　焼土粒微量　炭粒微量	ややソフト	
ホ			注記なし		
ヘ	10YR3/4	暗褐	礫粒微量　ロームブロック30%　焼土粒微量	ハード	
土壙6-イ	10YR3/3	暗褐	礫粒　ローム粒　基盤粒　ロームブロック　焼土粒　炭粒	ややソフト	
ロ	10YR3/3	暗褐	礫粒　ローム粒　基盤粒　炭粒	ややソフト	
ハ	10YR3/3	暗褐	礫粒　ローム粒　炭粒	ややソフト	
ニ	10YR2/3	黒褐	礫粒　ローム粒　焼土粒　炭粒	ややソフト	
ホ	10YR2/3	黒褐	礫粒　ローム粒　焼土粒　炭粒	ややソフト	
ヘ	10YR3/3	暗褐	礫粒　ローム粒　ロームブロック　焼土粒　炭粒	ややハード	
ト	10YR2/3	黒褐	礫粒　ローム粒　基盤粒　焼土粒　炭粒	ソフト	
チ	10YR3/3	暗褐	礫粒　ローム粒　焼土粒微量　炭粒	ややソフト	
土壙2-イ	10YR4/4	褐	全ローム質土　礫粒　小礫まじる	ハード	
ロ	10YR3/3	暗褐	礫粒　ローム粒　焼土粒微量	ハード	炭少量
ハ	10YR4/4	褐	全ローム質土　〈ハードローム〉　礫粒　火山灰　〈イ〉より明るい黄褐色〉	ハード	
ニ	10YR3/3	暗褐	礫粒　ローム粒　小礫　ロームブロック	ソフト	炭
ホ	10YR2/2	黒褐	礫粒　ローム粒　焼土粒微量	ソフト	炭
ヘ	10YR2/1	黒	礫粒　ローム粒	ソフト	炭多量
ト	10YR2/2	黒褐	礫粒　ローム粒　焼土粒微量	ソフト	炭少量
チ	10YR3/2	黒褐	礫粒　ローム粒　ローム粒　ロームブロック　焼土粒少量	ソフト	炭
リ	10YR3/4	暗褐	礫粒　ローム粒	ソフト	
ヌ	10YR4/3	にぶい黄褐	礫粒　ローム粒	ソフト	炭少量
ル	10YR3/3	暗褐	礫粒　ローム粒　ロームブロック	ソフト	C少量
ヲ	10YR4/3	にぶい黄褐	礫粒　ローム粒	ソフト	C少量
土壙5-イ	10YR4/4	褐	礫粒　基盤粒　ローム粒　焼土粒微量	ハード	炭
ロ	10YR3/3	暗褐	礫粒　基盤粒　ローム粒　焼土粒微量	ややソフト	炭少量
ハ	10YR3/4	暗褐	礫粒　基盤粒　ローム粒　焼土粒微量	ややハード	炭少量
ニ	10YR3/3	暗褐	小礫　ロームブロック　ローム粒	ややハード	炭少量
ホ	10YR3/4	暗褐	礫粒　ローム粒	ソフト	炭微量
ヘ	10YR3/4	暗褐	ロームブロック　ローム粒	ややソフト	炭少量
ト	10YR4/4	褐	全ローム質　基盤粒	ハード	炭少量　骨

チ	10YR3/4	暗褐	全粘土土	ソフト	炭少量
リ	10YR3/3	暗褐	礫粒　基盤粒　ローム粒　焼土粒少量	ハード	
ヌ	10YR4/4	褐	ロームブロック　ローム粒	ハード	炭少量
ル	10YR4/4	褐	礫粒　基盤粒　ローム粒　焼土粒	ややハード	炭少量　不明being物
ヲ	10YR4/4	褐	全ハードローム質土　基盤粒　ローム粒　焼土粒	ハード	炭
ワ	10YR3/4 −4/3	暗褐−にぶい黄褐	全ローム質土	ややハード	炭少量
カ	10YR3/3	暗褐	ロームブロック　ローム粒　焼土粒微量	ソフト	炭
ヨ	10YR3/4	暗褐	礫粒　ローム粒　焼土粒微量	ハード	炭
柱穴115-あ	10YR3/3	暗褐	礫粒　基盤粒　ローム粒　焼土粒	ややソフト	炭
い	10YR3/4	暗褐	礫粒　基盤粒微量　ローム粒　焼土粒少量	ややハード	炭
う	10YR3/3	暗褐	礫　基盤粒　ローム粒　焼土粒微量	ややソフト	炭3%
え	10YR3/4	暗褐	基盤粒　ローム粒　ロームブロック	ややハード	
土壙7-イ	10YR4/6	褐	全焼土粒　ローム粒	ややソフト	
ロ	10YR2/3	黒褐	ローム粒　焼土粒少量	ややソフト	炭微量
ハ	10YR2/3	黒褐	ローム粒　焼土粒少量　火山灰20%	ややソフト	
ニ	10YR2/2	黒褐	基盤粒　ローム粒　焼土粒少量	ソフト	炭多量　骨微量
ホ	10YR2/3	黒褐	基盤粒　ローム粒　焼土粒微量	ややソフト	炭
ヘ	10YR2/3	黒褐	基盤粒少量　小礫　ローム粒　焼土粒少量	ソフト	炭
ト	10YR2/3	黒褐	基盤粒少量　小礫　ローム粒	ソフト	炭微量
チ	10YR3/3	暗褐	礫粒　ローム粒　焼土粒	ソフト	炭
リ	10YR3/3	暗褐	基盤粒　ローム粒　焼土粒	ソフト	炭少量　骨微量
ヌ	10YR2/3	黒褐	基盤粒　ローム粒　焼土粒微量	ややソフト	
ル	10YR3/3	暗褐	ローム粒　焼土粒微量	ややソフト	炭
ヲ	10YR3/3	暗褐	ローム粒　ロームブロック	ややソフト	炭微量
ワ	10YR3/3	暗褐	基盤粒　小礫　ローム粒　ロームブロック　焼土粒	ソフト	炭
カ	10YR3/4	暗褐	ローム粒　焼土微量	ソフト	
土壙9-a	10YR3/3	暗褐	ローム粒	ややソフト	炭微量
b	10YR3/3	暗褐	基盤粒微量　礫粒　ローム粒　焼土粒微量	ハード	
c	10YR3/3	暗褐	ローム粒	ややソフト	炭微量
d	10YR3/3	暗褐	基盤粒　礫粒　ローム粒　焼土粒微量	ややハード	
e	10YR3/4	暗褐	基盤礫少量　基盤粒　ローム粒　焼土粒微量	ソフト	炭
土壙5-あ	10YR3/3	暗褐	ローム粒　焼土粒微量	ややハード	炭
土壙11-イ	10YR3/4	暗褐	基盤礫60%　炭粒微量	ハード	
ロ	10YR4/4	褐	ローム粒微量　基盤礫60%	ハード	
ハ	10YR3/3	暗褐	礫粒　火山灰　炭粒微量	ハード	
ニ	10YR3/4	暗褐	ローム粒微量　基盤礫30%　炭粒	ハード	
ホ	10YR3/4	褐	ローム粒　基盤礫60%	ハード	
土壙15Ⅳ-1	10YR3/4	暗褐	礫粒　ロームブロック微量		C微量
イ	10YR2/2	黒褐	礫粒　ローム粒微量　火山灰5%	ややソフト	
ロ	10YR2/3	黒褐	礫粒　ローム粒微量　火山灰極少	ソフト	
ハ	10YR3/2	暗褐	礫粒10%　ローム粒　火山灰微量	ややソフト	
ニ	10YR2/3	黒褐	礫粒　ローム粒微量	ややソフト	
ホ	10YR3/4	暗褐	礫粒　ローム粒微量	ややソフト	
ヘ	10YR2/3	黒褐	礫粒　ローム粒　火山灰極少	ソフト	
ト	10YR3/2	暗褐	礫粒　ローム粒微量	ソフト	
チ	10YR2/3	黒褐	礫粒微量	ソフト	C微量
リ	10YR2/3	黒褐	礫粒　基盤礫　ローム粒微量	ソフト	C微量
ヌ	10YR2/3	黒褐	礫粒　基盤礫　ローム粒微量	ややハード	C少量
ル	10YR3/4	暗褐	礫粒　基盤礫　ローム粒	ややハード	C極少
ヲ	10YR3/4	暗褐	礫粒　基盤礫　ローム粒	ややハード	C極少
ワ	10YR3/4	暗褐	礫粒　ローム粒	ややハード	C微量
カ	10YR2/3	黒褐	礫粒　基盤礫4cm大2こ	ソフト	
ヨ	10YR3/2	暗褐	礫粒　ローム粒微量	ソフト	C極少
タ	10YR3/2	暗褐	礫粒　ローム粒微量	ソフト	C極少
レ	10YR2/3	黒褐	礫粒　ローム粒微量	ソフト	
ソ	10YR2/3	黒褐	礫粒　ローム粒微量	ややソフト	
ツ	10YR3/2	黒褐	礫粒　基盤礫10%　ローム粒	ややハード	
ネ	10YR3/4	暗褐	礫粒　ローム粒微量	ややソフト	
ナ	10YR2/3	黒褐	礫粒　ローム粒微量	ソフト	C微量
ラ	10YR3/3	暗褐	礫粒　ローム粒微量		
ム	10YR3/3	暗褐	礫粒　ローム粒微量	ソフト	C微量
ウ	10YR2/3	黒褐	礫粒　ローム粒微量	ソフト	C微量
土壙12-イ	10YR4/3	にぶい黄褐	基盤礫10%　砂利微量　炭粒	ハード	
ロ	10YR3/3	暗褐	礫粒　基盤礫5%　ローム粒	ハード	
ハ	10YR3/3	暗褐	基盤礫　ローム粒　炭粒微量	ハード	
ニ	10YR3/4	暗褐	基盤礫10%	ハード	
ホ	10YR4/4	褐	基盤礫　ローム粒　炭粒微量	ハード	
ヘ	10YR4/3	にぶい黄褐	基盤礫　砂利	ハード	
ト	10YR3/4	暗褐	基盤礫30%　炭粒微量	ハード	
チ	10YR3/4	暗褐	基盤礫10%　炭粒微量	ハード	
リ	10YR3/4	暗褐	基盤礫微量	ハード	
ヌ	10YR3/4	暗褐	基盤礫　ローム粒微量	ややハード	



第40図　土壙22出土遺物



第41図　焼土7・9・12平面図他

表11　19K15焼土7.9、20K5焼土12土層観察表

焼土7-イ	10YR3/4	暗褐	中粒砂15%　10YR4/4褐中焼土粒　礫粒5%　炭粒	ソフト	密
ロ	7.5YR3/4	暗褐	中粒砂　10YR4/6褐中焼土粒10%　礫粒微量　炭粒	ソフト	密
ハ	10YR3/3	暗褐	粗粒砂微量　5YR4/6−4/8赤褐小焼土粒　炭粒微量	ソフト	密
ニ	7.5YR3/3	暗褐	中粒砂5%　5YR4/8赤褐中焼土粒　炭粒5%	ソフト	やや粗
ホ			7.5YR2/3極暗褐+7.5YR4/6褐中焼土粒　炭粒少量	ソフト	密
ヘ	10YR2/3	黒褐	粗粒砂50%　7.5YR3/4暗褐中焼土粒50%　炭粒微量	ソフト	やや粗
ト	10YR3/3	暗褐	粗粒砂　焼土粒微量　炭粒	ソフト	やや粗
チ	10YR2/3	黒褐	粗粒砂　7.5YR3/3中焼土粒少量　礫粒少量　炭粒20%	ソフト	やや粗
リ	10YR3/3	暗褐	中粒砂　小礫粒極微量　炭粒極微量	ソフト	密
ヌ	10YR2/3	黒褐	中粒砂　5YR4/4にぶい赤褐焼土粒微量　炭粒微量	ソフト	密
焼土9-あ	10YR3/3	黒褐	中粒砂　7.5YR3/4暗褐中焼土粒10%　炭粒少量	ソフト	やや粗
い	7.5YR3/3	暗褐	中粒砂20%　7.5YR6/6橙焼土粒	ややハード	粗
う	7.5YR4/4	褐	中粒砂　7.5YR4/6褐焼土粒30%　基盤礫粒少量	ややハード	粗
え			5YR4/6赤褐焼土塊	ハード	粗　〈小礫粒が焼けたような感じ〉
お			5YR4/4にぶい赤褐焼土粒　炭塊	ハード	やや粗
か	10YR3/4	暗褐	中粒砂　礫粒微量	ややハード	密
き			7.5YR4/6焼土粒やや細粒	ソフト	密
く	7.5YR4/3	褐	中粒砂　焼土細粒少量　炭粒	ソフト	密
け	7.5YR4/3	褐	中粒砂　焼土粒　炭粒極微量	ソフト	やや粗
こ	7.5YR4/4	褐	中粒砂　中焼土粒　礫粒微量	ソフト	やや粗
さ	7.5YR4/4	褐	中粒砂　炭粒極微量	ソフト	
III-1	10YR3/4	暗褐	粗粒砂　焼土粒少量　礫粒少量	ソフト	密
V-1	10YR4/3	にぶい黄褐	ソフトローム	ソフト	密
焼土12-イ	7.5YR4/4	褐	礫粒　ローム粒　焼土塊30%	ハード	
ロ	7.5YR4/4	褐	礫粒微量　焼土粒10%	ハード	
ハ	10YR4/4	褐	焼土粒5%	ハード	
ニ	10YR4/4	褐	礫粒微量　焼土粒微量	ハード	
ホ	10YR4/6	褐	ローム質土　礫粒微量	ハード	
ヘ	10YR4/4	褐	礫粒微量　焼土粒微量	ハード	

表12　竪穴建物跡覆土成分表

竪穴NO.	グリッド	サンプル総量(g)	成分（g）														備考その他
			木炭	植物	米	くるみ	あずき	不明種子	獣骨	魚骨	貝	不明炭化物	不明鉱物	鍛造剥片	磁着石	焼土塊	
竪穴79	20J25	23,750	57.1		0.1	0.05			2.8	0.1					4.1		熱を受けた礫2.9g 礫の下炭化物範囲上部
竪穴79	20J25	9,350	11.8						0.8				0.1		4.1		熱を受けた礫67g 礫の下炭化物範囲下部
竪穴71	19K24・25	700	2.6		0.1			0.05	0.05								熱を受けた礫10.8g
竪穴72	19K24	148,500	652.8	カヤ 2.6	54		0.6	21.4	14.2				16.4	0.6	10.3		焼土、炭化物範囲 熱を受けたた礫711.3g
竪穴72	19K24	32,150	128.9	カヤ 0.2	21.4	0.05	0.2	0.1	3.1	1.7			1.5	0.05	12.7		ロームブロック、炭化物層 熱を受けた礫[illegible]g
竪穴70 炭化物	19K20	109,700	174.2		3.4	0.25	1	1.8	2.7	1.8		710	25.4			115.9	310.4g
竪穴70 炭化物下	19K20	75,510	335.9		4.2	0.3	0.5	0.3	4.35	1.2		112.1	22.5	0.9	32.7	54.6	
竪穴70 焼土	19K20	15,500						0.4	7.05	0.25		0.05	3.8			89.7	
竪穴70 火山灰	19K20	1,100	4.5		0.05		0.05		0.1				2.7		0.3		
竪穴70 入口	19K20	29,050	31.1		0.36		0.65	0.15	1.13			19.3	6.6	0.1		299.7	
竪穴70 入口小ピット	19K20	300	1.4		1.8			0.1	0.1			1.2	0.1			1.1	
竪穴70 入口炭化物	19K20	16,250	35.1		0.5	0.1	0.5										
竪穴70 鍋周囲	19K20	29,910	21.2		0.7	0.1	0.25	0.4	2.5	0.7		37.9	5.8		19.2	37	
竪穴70 鍋の中	19K20	7,600	20.9		0.3				1	0.1			0.1		6.9		
竪穴70 鍋の下玉砂利	19K20	14,600	0.7		0.1		0.05		0.1				0.8		3.4	5.8	
竪穴70 覆土	19K20	226,150	285.8		18.25	0.75	16.2	0.6	16.8	22.45		166	51.3				
竪穴77 焼土	20J4	28,300	4.4		0.4			0.1	13.1	0.7		0.6	0.3		0.3		熱を受けた礫69.4g
竪穴76 焼土	20I16	34,850	105.2	カヤ 59.8	0.4				13.1	0.7		0.6	0.3				熱を受けた礫98.7g
竪穴73 上層炭範囲	20J1	85,350	227.7		2.95		0.3	0.05	14.9	2		30.6	3.8		6.1		熱を受けた礫210.3g

表13　土壙覆土成分表

竪穴NO.	グリッド	サンプル総量(g)	成分（g）														備考その他
			木炭	植物	米	くるみ	あずき	不明種子	獣骨	魚骨	貝	不明炭化物	不明鉱物	鍛造剥片	磁着石	焼土塊	
土壙22 内側部黒	19L5	13,650	0.8			0.05		0.8	0.05					0.1			
土壙22 内側部褐色	19L5	12,500	0.3					0.1	0.05					0.1			
土壙22 外側部黒色	19L5	33,850	0.4					0.05						0.1			
土壙24	19L9	166,050	193.4		2.7	0.2	0.2	0.4	14.15	2			6.6	26.1	4.7		熱を受けた礫11.8g
土壙38	19K15	19,950	25.7		7.5	0.1	0.8		1.2	0.2			4.8	30.1	2.1	11.5	
土壙26	19J21	22,700	4.2		0.1	0.1		0.1	0.2					0.3	0.4		熱を受けた礫0.3g
土壙2	19J22	136,000	277.94	カヤ 2.1	0.6	3.75	23.2	0.9	3.65	0.4	0.05		16.6	1.8	11.5	6.7	
土壙5	20J2	208,400	69.7			2.1	15.5	0.2	11.3	0.3			11.3	51.7	1.8	54.9	
土壙7 炭化物層	20J2	52,550	16.4		0.35		0.5		15.2	0.7		0.1		73.9		8.9	
土壙7 焼土層	20J2	4,550	0.8		0.2			0.1	1.1	0.2				9	0.4	28.5	
土壙9 覆土	20J2	4,700			0.3				0.3			0.05	4.5	5.9		5	
土壙9 焼土層	20J2	2,300	0.3		0.1			0.1	0.4					0.7		61.4	
土壙9 炭化物層	20J2	25,500	7.3		0.9			1.2	1.8				1.2	3.9	2.6	11.3	
土壙11	20K15	21,750	14.2	カヤ 0.05	0.9	0.05	0.4	0.05	0.1				0.8	14.5	0.6		
土壙35	21J2	65,850	30.5	カヤ 2.7	0.7	1	0.3	0.1	0.2				2.7	6.7	4.3		熱を受けた礫17.5g
土壙32	20J14	101,000	39.9	カヤ 0.2	2.7		5.5	0.3	5.8	0.9			21.4	32	1.5		熱を受けた礫17.1g

表14　焼土成分表

竪穴NO.	グリッド	サンプル総量(g)	成分（g）														備考その他
			木炭	植物	米	くるみ	あずき	不明種子	獣骨	魚骨	貝	不明炭化物	不明鉱物	鍛造剥片	磁着石	焼土塊	
焼土7	19K15	10,200	2.5					0.05	1.8	0.4				0.2	0.7		熱を受けた礫7g
焼土9	19K15	12,950	2.6		0.1	0.7		0.1	4.8	0.5		1		0.7	0.9		熱を受けた礫22.5g
焼土12	20J2	3,000	0.2		0.05				0.4	0.1						26.4	

〜北東方向に緩やかな斜面となっているため南西側をやや深く掘り下げ、北東側はやや浅めに掘り、底部を平坦に作り出している。従って覆土の堆積は北東部へ行くに従い次第に薄くなる。覆土は下部のト、ワ、チ、ヲはローム質であるが、他は焼土粒、炭化物、れき粒が入ったやや堅致な土である。覆土中から主に鍛造剥片51.7g、木質炭化物69.7g、小豆15.5g、獣骨11.3g、不明溶解物11.3g等が主に検出されている。(表12) 土坑7に切られている

土坑7 (第39図)　20J2区15〜17号建物跡の南側、24号建物跡がある地割面との中間地点に位置する。75cm×90cmの不整円形を呈し、深さ11cm、壁面は128°の角度で立ち上がる。覆土は全般に焼土粒、炭化物が主体をなす柔らかな土である。覆土中からは主に鍛造剥片82.9g、獣骨16.3g、木質炭化物17.2gが主に検出されている。土坑5、9より新しい。

土坑9 (第39図)　20J2区15〜17号建物跡の南側、24号建物跡がある地割面との中間地点に位置する。105cm×65cmの不整円形を呈し、北西〜南東方向に長軸をとる。深さ8cmで、極めて浅い。壁面は143°で緩やかに立ち上がる。覆土中から鍛造剥片10.5g、不明溶解物5.7g、獣骨2.5g、等が検出された。(表12) 土坑7に切られている。

土坑35 (第39図)　調査区西端の一段上がった面に位置する。105cm×80cmの不整円形を呈する。深さ52cm、壁面は117°の急傾斜で立ち上がる。覆土は全体として柔らかく、火山灰等も混入する。自然埋没である。覆土中から鍛造剥片6.7g、不明溶解物2.7gが主に検出されている。(表12)

土坑32 (第39図)　21J3区、第25、26号建物跡がある地割面内の北東部分に位置する。130cm×100cmの不整隅丸台形を呈し、北東方向に長軸をとる。この付近の傾斜は南西〜北東方向に緩やかな斜面となっているため南西側は13cmとやや深く掘り下げ、北東側はやや浅めの5cm程にし、底部を平坦に作り出している。壁面は南西側は92°とほぼ直角に立ち上がるが、北東側は120°とやや緩やかに立ち上がる。覆土は基盤れきが多量に入り、全体として極めて堅致である。一気の埋め戻しと考えられる。覆土中からは、鍛造剥片32g、不明溶解物21.4g、獣骨5.8g、米2.7gが主に検出されている。(表12)

焼土7 (第41図)　19K15区、土坑37、38に隣接している。50cm×50cmの不整円形を呈し、深さ50cmである。覆土は柔らかく投げ込みによるものである。覆土中からは獣骨1.8gのほかは魚骨、鍛造剥片等1g以下である。焼土9を切っている。

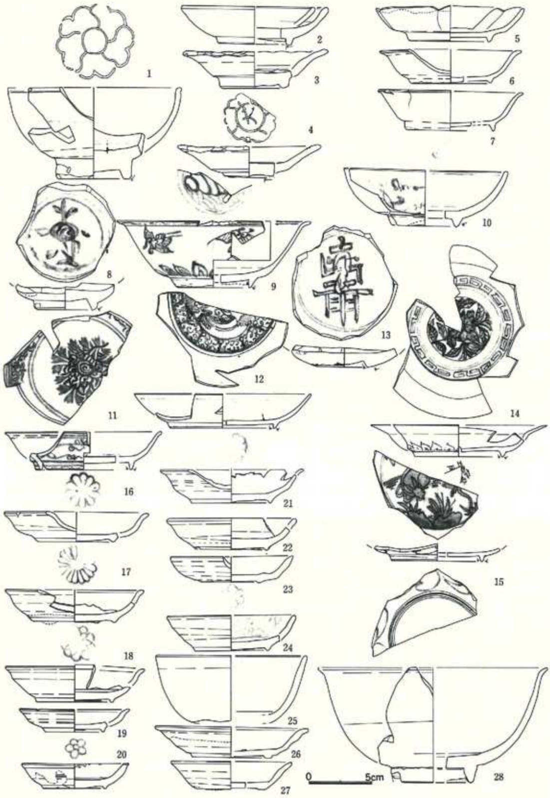
焼土9 (第41図)　19K15区、土坑37、38に隣接している50cm×45cmの不整円形を呈し、深さ9cmである。覆土は柔らかく投げ込みによるものである。覆土中から獣骨4.8g等が検出されている。

焼土12 (第41図)　20K5区、15〜17号建物跡がある地割面内北側に位置する。覆土中から獣骨、魚骨等が検出されたが1g以下と極めて微量である。(斉藤)

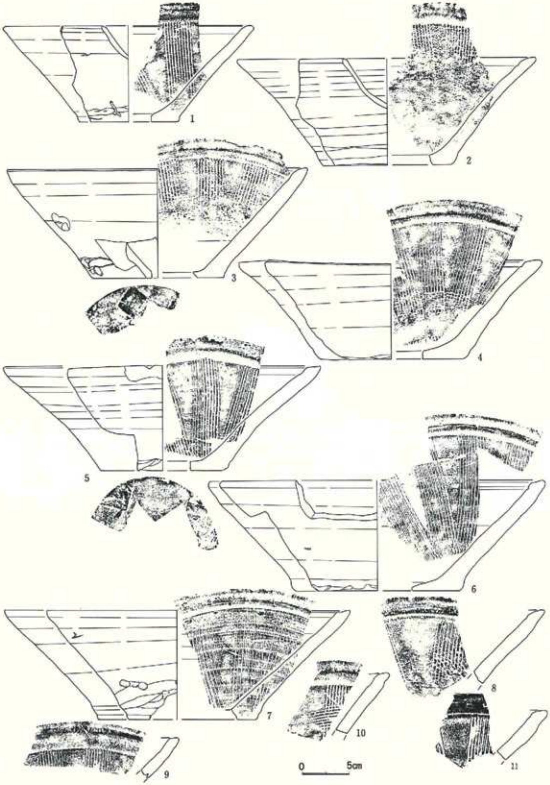
c　通路跡

通路跡 (帯曲輪) (第5図)：調査区南東縁辺部20I2区〜21I6区周辺に位置する。平成6・7年度の調査で確認されているものの延長であり、今年度は約24m検出された。3年間に亘る調査の結果約68m確認され、さらに調査区外南西方向に延びる。過年度調査同様、縁には柵列を検出し、4回以上の作り替えを確認した。柵列は過年度の結果同様、斜面側に行くほど古く、内側の方が新しいが、21I1・6区にかけての範囲で一番新しい柵列 (溝6) に切られた古い柵列 (溝62) を内側で検出した。21I2・7区付近の柱穴P1195・1196・1394・1395・1396・1397・1398は柵列の柱穴の中では比較的大きく、要所要所を支えた主柱穴と考えられる。また、20I22区と21I2区で斜面に向かって落ちる溝 (59・72) を検出した。溝59では、溝の底に細かい砂利が少量見られ、平成7年度調査の溝77と同じ現象が見られた。20I12区周辺では斜面が崩落していて、柵列の痕跡が失われていて不明であるが、溝61も斜面に向かって落ちる溝であったのかもしれない。平成7年度では斜面に落ちる溝を竪堀と推定したが、確定するには斜面中腹の状況を確認する必要があり、今後の課題である。しかし、このような遺構が複数確認できたことは勝山館での地業の在り方等を考える上で興味深いものである。整地層の厚みは場所によって違いがあり均一ではないが、特に調査区西側縁では後世の攪乱等も少なく、整地層が良好に残っているようである。

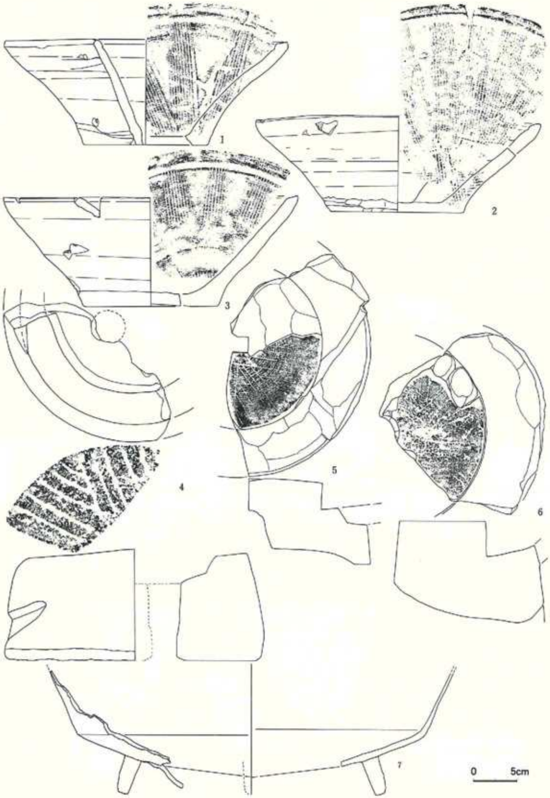
調査目的でも述べたが、華ノ沢斜面に帯曲輪と一部並行してある腰曲輪様の平坦面との連絡路な



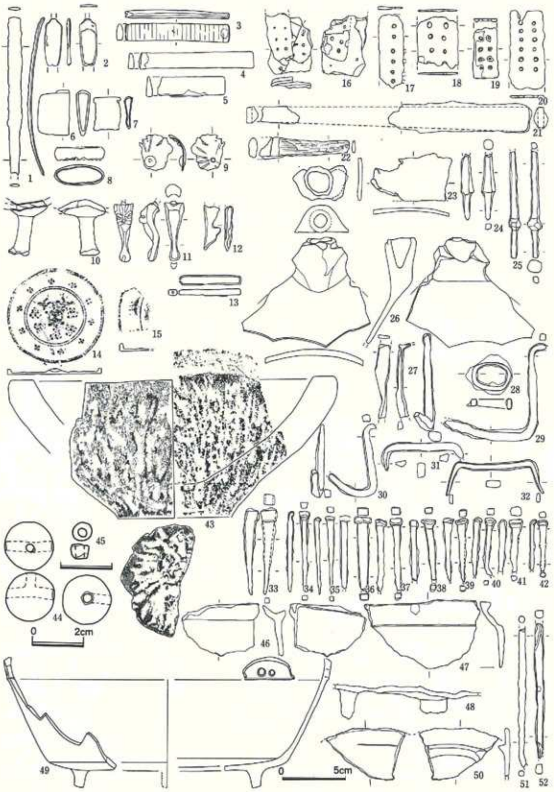
第42図　調査区出土遺物（陶磁器）



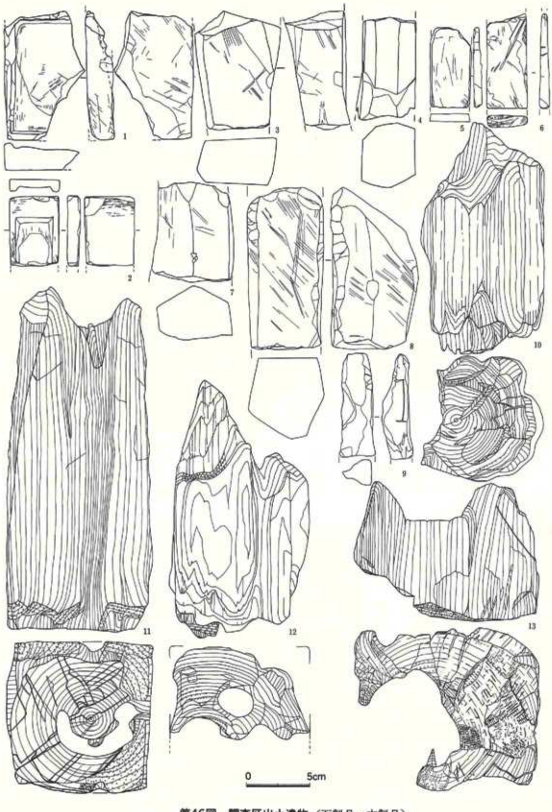
第43図　調査区出土遺物（擂鉢）



第44図　調査区出土遺物（擂鉢他）



第45図　調査区出土遺物（金属製品他）



第46図　調査区出土遺物（石製品・木製品）

表15　出土遺物観察表（陶磁器）

種類器種	法量mm 口径	底径	器高	釉調	胎土	特徴	備考	出土地点	図版番号
青磁碗	134.0	56.0	73.0	グレイみのブラウン	グレイみのブラウン	直口縁胴部に丸味を持つ、外面口縁直下、一本と胴部中央に二本の沈線、見込印養付以下無釉		[illegible]	1
青磁皿	116.0	56.0	30.0	明るいグレイみの緑	グレイみのブラウン	丸皿、外面にヘラ描きの大きく粗略な蓮弁文		[illegible]	2
〃	123.0	55.0	29.0	グレイ	ブラウンみのグレイ	稜花、粗くヘラ削りされた低い高台から口縁にむかいゆるく外反	被熱	[illegible]	3
〃	115.0	38.0	35.0	グレイみの黄緑（グレイみのリーフ）	明るいオリーブみのグレイ	稜花見込無釉で印花、中央には大の文字が刻まれる		[illegible]	4
白磁皿	(133.0)	64.0	28.0	青みの白	白	輪花、五弁花、全面施釉、高台、高台際に少量の砂付着		[illegible]	5
〃	(112.0)	62.0	26.0	黄みの白	うすい黄	端反、畳付のみ無釉高台際に砂付着		[illegible]	6
〃	(115.0)	70.0	31.5	明るいグレイ	白	端反、全面施釉高台内四角く囲んだ中に文字が書かれるが不明		[illegible]	7
染付碗		44.0		うすい黄	うすいオレンジ	見込花文軟質の胎土に乳白色の釉、畳付以下露胎		[illegible]	8
〃	(153.0)	60.0	53.0	うすい緑みのスカイ	白	端反、内外口縁に2条の圏線、外面体部、蝶蓮部簡略化した蓮弁見込巻貝		[illegible]	9
〃	(130.0)	53.0	44.5	明るいグレイみの緑	白	肉厚で外開き気味の扁平な碗、折抜文鳳紋様畳付平		[illegible]	10
染付皿	(135.0)	30.0	77.0	青みの白	白	端反、見込捻花紋、外面唐草紋畳付のみ露胎		[illegible]	11
〃	(141.0)	27.5	82.0	緑みの白	白	丸皿、内外口縁1条の圏線、見込獅子文高台内に銘の1部が残るが判読不可		[illegible]	12
〃		38.0		グレイみの黄	うすいオレンジ	碁笥底、見込に人形化した蕪		[illegible]	13
〃	(140.0)	70.0	25.0	黄みの白	白	見込雷文を巡らし中央に花文外面体部簡略化した蓮弁、高台内に富貴佳器銘落款痕あり		[illegible]	14
〃		72.0		青みの白	白	見込風景と動物、体部唐草文？		[illegible]	15
灰釉皿	113.0	60.0	23.0	くらい黄	ベージュ	端反、見込菊花の印花、全面施釉高台内にトチ痕		[illegible]	16
〃	114.0	68.0	25.0	グレイみの黄	ベージュ	端反、見込菊花の印花、全面施釉、高台内に輪ドチ痕、高台の1部に釉がたまる		[illegible]	17
〃	113.0	60.0	27.0~29.0	グレイみの黄	ベージュ	端反、見込菊花（？）の印花、全面施釉高台内に輪ドチ痕	被熱	[illegible]	18
〃	87.0	46.0	18.5	グレイみの黄	うすいベージュ	端反、見込無紋トチ痕が残る、全面施釉、高台内に輪ドチ痕		[illegible]	19
〃	85.0	50.0	19.0	にぶい黄	にぶい黄みのオレンジ	端反、見込梅の印花、釉のかかりが悪い	被熱口縁に付着物	[illegible]	20
〃	114.0	64.0	27.0	うすい黄	ベージュ	端反、見込菊の印花、全面施釉、輪ドチ痕		[illegible]	21
〃	102.0	58.0	25.0	グレイみの黄	ベージュ	体部は直線的で端部がわずかに端反る、器壁が厚い輪ドチ痕		[illegible]	22
〃	97.0	48.0	20.5~21.5	うすい黄	ベージュ	内剥、見込のほぼ全部のみが露胎		[illegible]	23
〃	102.0	58.0	28.0	うすい黄緑	うすいオレンジ	見込印花、内面胴部に約3cm程の条線を密に引く		[illegible]	24
灰釉碗	120.0			グレイみの黄	ベージュ	胴部無紋		[illegible]	25
鉄釉皿	122.0	62.0	24.0	くらいグレイみのブラウン	あさい黄みのブラウン	内面全面外面体部上半に施釉、見込にトチ痕		[illegible]	26
〃	96.0	54.0	22.0	こい黄みのブラウン	うすいベージュ	高台から体部まで直線的でわずかに端反る		[illegible]	27
李朝碗	(182.0)	(62.0)	(91.0)	青みの白	あかるいグレー	口縁は端反、胴は膨曲して大きな高台がつく、底部の器壁が厚い、高台内側に砂目		[illegible]	28
擂鉢	(264.0)	(103.0)	(101.5)	こい黄みのブラウン	グレーみのブラウン	口唇断面丸味10条1単位		[illegible]	1
〃	(313.0)	(136.0)	113.0	グレイみのブラウン	浅い赤みのオレンジ	口唇断面丸味、器壁がうすい、10条1単位		[illegible]	2
〃	(315.0)	(138.0)	115.0	明るい赤みのオレンジ	ベージュ	口唇断面形鋭角9条1単位の擂し目は摩耗のため方向等不明	下駄印	[illegible]	3
〃	(319.0)	(152.0)	100.0~105.0	グレイみのブラウン	ベージュ	口唇断面形鈍角9条1単位擂し目左廻り		[illegible]	4
〃	(334.0)	(130.0)	111.0~112.0	明るいオリーブみのグレイ	ベージュ	口唇断面形鋭角で内湾り気味10~11条1単位擂し目左廻り	下駄印	[illegible]	5
〃	(304.0)	(173.0)	116.0	明るいオリーブみのグレイ	ベージュ	口唇断面形鈍角9条1単位擂し目左廻り		[illegible]	6
〃	(361.0)	(166.0)	115.0	暗いブラウンみのグレイ	ブラウンみのグレイ	口唇断面形鋭角9条1単位擂し目右廻り		[illegible]	7
〃				ベージュ	うすいオレンジ	口唇断面形丸味、擂し目間隔が広い		[illegible]	8
〃				暗いグレイみのブラウン	明るい赤みのオレンジ	口唇断面形は角張り水平に近い10~11条1単位		[illegible]	9
〃				ベージュ	ベージュ	口唇断面形は丸みで水平に近い擂し目が横走		[illegible]	10
〃				グレイみのブラウン	浅い赤みのブラウン	口唇断面形は丸みで水平に近い		[illegible]	11
〃	(323.0)	(140.0)	118.0~122.0	浅い赤みのオレンジ	ベージュ	口唇角張り内削気味10条1単位右廻り口縁外面に指おさえ		[illegible]	1
〃	(323.0)	(152.0)	102.0~110.0	グレイみのブラウン	黄みのグレイ	外面胴部形整は右撫で擦跡が残り粗雑な仕上り、7~10条1単位		[illegible]	2
〃	(335.0)	(152.0)	124.0~126.0	ベージュ	うすいベージュ	口唇断面形はやや鋭角、口縁直下から擂し目が走る9条1単位左廻り		[illegible]	3

表16　出土遺物観察表（鉄製品他）

種別器種	巾mm	厚mm	長mm	重量g	特　　徴	備考	出土地点	図版番号
笄	11.5	2.5	(12.5)	17.7	両端が欠損、腐蝕が著しい		[illegible]	1
〃	13.0	3.0	(37)	5.1	両端が欠損、胴の地板に七子が蒔かれる		[illegible]	2
小柄	14.0	6.5	(82)	27.8	柄部分、表面に巾3mmの縦縞が毛彫される		[illegible]	3
〃	12.5	5.5	(91)	29.4	〃　紋様なし		[illegible]	4
〃	16.0	5.0	(53)	14.4	〃　腐蝕が著しい		[illegible]	5
月	25.0	2.0	36.0	15.0	完形		[illegible]	6
〃	22.0	1.0	26.0	4.5	腐蝕が著しい		[illegible]	7
責金	16.0	1.0	39.0	2.8	刀装具銅板材を曲げて接合する		[illegible]	8
紅皿	23.0	0.5	30.0	3.1	菊花を形どる切子の皿か?		[illegible]	9
脚	(37.0)	太11.0	(49.0)	49.3	鉄板を両面から挟む六器等の脚か?		[illegible]	10
〃	16.0		(47.5)	21.9	天狗・鬼獣の顔を具象したもの、取付部分は丸く突起密教法具の脚か		[illegible]	11
吊耳	12.5	7.5	(36.0)	8.3	鍵を吊る穴がみられる、鍵の装飾でもある		[illegible]	12
毛抜き	5.0	1.2	49.0	2.3	握り中央に2mm径の穴があく薄く小さな形態		[illegible]	13
鏡		1.5	径74.0	63.5	直鋸縁、小縁二重圏内外に梅、圏内に梅と双雀、鈕は亀		[illegible]	14
〃	(33.0)	2.0	推計117.0	12.1	内傾式小縁、細線単圏（?）圏内外に松		[illegible]	15
小札				24.3	4枚重		[illegible]	16
〃	(19.5)	2.5	(58.0)	6.3	手抜されているので形態不明		[illegible]	17
〃	33.0	2.5	(39.0)	5.3	本小札、穴が2列		[illegible]	18
〃	40.0	3.0	(20.0)	4.7	本小札、穴が2列		[illegible]	19
〃	27.0	3.0	63.0	9.1	伊予札二山鉢石頭穴6段		[illegible]	20
刀子		(5.0)	(22.5)	51.7	刃先、茎尻欠損		[illegible]	21
〃	(16.0)	(7.0)	(71.0)	15.3	茎に柄の木質部がわずかに残る		[illegible]	22
鍔	(38.0)	(4.0)	(60.5)	13.5	ごく強い弧をもつ、胸板又は脇板		[illegible]	23
鏃	11.5		(52.0)	8.6	根先端部欠損、茎長22mm		[illegible]	24
〃	9.5		(84.5)	12.5	〃　根断面は円形茎は角		[illegible]	25
不明鉄製品	(91.5)	(7.0～)	(101)	196.2	上部に柄を差し込むと思える径17mmの穴あり刃先?欠損		[illegible]	26
〃	(11.5)	4.0	(58.0)	6.6	細い板状のものを左方向に捻る		[illegible]	27
締金具				7.6	外径28mm内径21mm		[illegible]	28
鉤	95.0	太さ9.0	68.0	24.2	ほぼ完形断面四角形		[illegible]	29
〃	75.0	太さ7.0	57.5	12.9	断面　四角形		[illegible]	30
鎹	12.0	7.5	63.0	16.5	〃		[illegible]	31
〃	12.0	6.0	78.0	17.0	完形　〃		[illegible]	32
釘	13.0	11.0	66.0	9.1	折釘完形		[illegible]	33
〃	5.0	5.0	64.0	4.5	〃　〃		[illegible]	34
〃	5.0	6.0	61.5	3.9	〃　〃		[illegible]	35
〃	14.0	9.0	(58.0)	8.0	〃　先端部欠損		[illegible]	36
〃	6.0	5.5	(57.5)	6.8	〃　〃		[illegible]	37
〃	7.0	7.0	(48.0)	5.2	〃　〃		[illegible]	38
〃	11.0	9.0	(50.5)	4.9	〃　〃		[illegible]	39
〃	9.5	6.5	(45.5)	3.7	〃　〃		[illegible]	40
〃	11.5	7.0	(42.0)	3.6	〃　〃		[illegible]	41
〃	8.5	5.5	(40.5)	23	〃　〃		[illegible]	42
石鉢	口径(269.0)	底径90.0	器高(110.0)	器厚24.0	内外面ともノミ使用らしい整形がされる内面に煤痕あり		[illegible]	43
玉				7.8	径19mmの球状3mmの孔が3個、水晶、金珠か		[illegible]	44
〃				0.02	径4mm高さ2.3mm		[illegible]	45
羽釜	(57.5)	5.5	(41.5)	37.4	約10mmの鍔がつく		[illegible]	46
鍋	(54.0)	8.0	(89.0)	65.5	口縁部		[illegible]	47
〃	(94.0)	5.0	(116.5)	129.7	1足と湯口部分が残る鍋底		[illegible]	48
〃		3.0			推定口径258mm高さ103mm3足で吊耳		[illegible]	49
茶釜蓋	(41.0)	4.5	(61.5)	24.0	推定直径140mm		[illegible]	50
火箸	6.0	6.0	(108.5)	11.6	断面丸両端欠損		[illegible]	51
〃	7.5	7.5	(107.0)	19.0	断面角ねじりが入る		[illegible]	52
鍋				820.0	推定底径306mm3足		[illegible]	7
粉挽き臼	径(300.0)		高さ126.0		上臼8分画5溝回転方向反時計方向		[illegible]	4
茶臼	径(278.0)		高さ99.0		下臼8分画7溝臼面径190mm回転方向反時計方向		[illegible]	5
〃	径(342.0)		高さ(116.0)		下臼8分画9溝〃228mm回転方向反時計方向		[illegible]	6
硯	63.0	21.0	(97.0)		摩耗が激しい、表、裏、側面とも擦痕あり		[illegible]	1
〃	39.0	10.0	(56.0)		長方硯2枚に剥離した状態で出土		[illegible]	2
砥石	68.0	46.0	(95.0)		砥面は3面石質軟		[illegible]	3
〃	56.0	50.0	(101.0)		砥面は7面		[illegible]	4
〃	33.0	(6.0)	(63.0)		砥面は1面石質軟		[illegible]	5
〃	32.0	9.0	(75.0)		砥面は1面		[illegible]	6
〃	60.0	42.0	(79.0)		砥面は4面		[illegible]	7
〃	62.0	64.0	(127.0)		砥面は6面石質軟		[illegible]	8
〃	12.5	22.5	(81.5)		砥面は3面		[illegible]	9
石材	(100.0)	(98.0)	(183.0)		石材		[illegible]	10
〃	115.0	119.0	(270.0)		〃		[illegible]	11
〃	(110.0)	(73.0)	(204.0)		〃		[illegible]	12
〃	(144.0)	(108.0)	(108.0)		〃		[illegible]	13

表17　掘立柱建物跡一覧表

号数	図版番号	発掘区	建物軸方向（棟方向）	梁間	桁行	梁間(m)	桁行(m)	主要間
1	第6図	18K22	N-40°-W（南北）	3	6	5.73	12.42	6
2	第7図	18K22	N-39°-W（南北）	3	6	5.91	10.92	6
3	第8図	18K21	N-38.5°-W（南北）	3	5	5.82	10.00	4
4	第9図	19K7	N-40°-W（南北）	3	3	6.00	6.00	

5	第10図	19K 6	N-39°-W（南北）	3	4	5.82	7.79	6
6	第11図	19K 6	N-37°-W（南北）	3	3	5.79	7.00	
7	第12図	19K 6	N-39°-W（南北）	3	6	6.00	11.64	6
8	第13図	19K 7	N-38°-W（南北）	2	3	4.30	6.57	
9	第14図	19K15	N-35°-W（南北？）	2	2？	4.18	4.00	
10	第15図	19K20	N-35°-W（東西）	2	3	4.84	5.37	
11	第16図	19K20	N-30°-W（南北）	3	5	5.03	9.89	
12	第17図	19K20	N-33.5°-W（南北）	3	6	6.00	11.52	6
13	第18図	19K20	N-29°-W（南北）	3	6	5.91	12.65	6
14	第19図	19J18	N-31°-W（南北）	3	3	4.09	9.60	
15	第20図	20J 1	N-31°-W（南北）	3	3	5.67	5.79	
16	第21図	20K 5	N-30.5°-W（南北）	3	5	5.64	10.00	6
17	第22図	20K 5	N-29°-W（南北）	3	4	5.91	7.91	6
18	第23図	20J11	N-30°-W（南北）	3	5	5.01	10.63	12
19	第24図	20J11	N-29°-W（南北）	3	6	5.24	11.19	15
20	第25図	20J11	N-29.5°-W（南北）	3	6	5.64	12.21	9
21	第26図	20J22	N-30°-W（南北）	3	3	4.00	9.10	9
22	第27図	20K20	N-29°-W（南北）	3	5	6.30	10.60	9
23	第28図	20K20	N-33.5°-W（南北）	3	6	5.49	11.85	9
24	第29図	20J 9	N-35°-W（南北）	3	5	5.37	9.37	6
25	第30図	20J19	N-23°-W（南北）	2	3	4.00	5.58	
26	第31図	20J19	N-25°-W（南北）	4	5	7.70	12.29	6

どが検出されるかと期待されたが、斜面には柵列以外の構築物は検出できなかった。今後の課題である。（松田）

(5)出土遺物の概要

陶磁器・金属製品・石製品・木製品他、計3,711点出土した（第42～46図・表15～18)。以下、第70号竪穴建物跡以外の調査区出土遺物の一部を紹介する。

陶磁器（第42～44図）今年度出土の陶磁器の出土点数のなかで１番多く出土しているのは、瀬戸美濃で今年度の陶磁器総出土点数2,909点の内790点で27%を占める。瀬戸美濃が出土陶磁器の内最も多いという傾向は今年も変わらない。次に、染付639点で22%と続く。器種別では皿が1,672点、次に擂鉢（こね鉢を含む）の605点、碗の505点と続く。今年度調査で目立って多く出土しているのは越前の擂鉢である。602点で全体の約21%を占める。昨年度に比べ70点、１昨年より140点程多い出土である。11の染付皿は平成７年度調査区出土のものと接合した。同じ文様のものが少なくとも３個体程出土していてる。３の青磁稜花皿は被熱で表面の釉がただれている。28は李朝碗で、平成２年度出土のものと接合した。また、平成６年度出土の青磁盤と接合する破片が１点出土している。

金属製品（第45図）９の銅製入子は初出土である。化粧道具の一種、紅皿として使われていたと考えられる。10の脚は鉄製の芯の表面を銅で覆ったものである。他にもこの技法を用いたものが出土しているが、製品名は不明である。11の脚は昭和55年に出土したものと対になるものであり、火舎か金剛盤の脚と考えられる。

石製品ほか（第45・46図）43の石鉢は初めての出土である。表面・内面ともに加工時のはつり痕があたかも擂鉢の擂目の様に残り、内面には若干炭化物が付着している。火鉢として使用されたことが考えられる。ほかにも同一個体かと推測されるものが２点出土している。笏谷石製と推される。石臼は７点と多数出土した。その内５・６は茶臼である。３～９は砥石で、３・５・６・８・９は肌理の細かいもので、４・７は肌理が粗いものである。各々の産地は不明であり、今後の課題である。44は念珠玉である。（掲載遺物の詳細は表15・16遺物観察表を参照。）（松田）

表18　出土遺物集計表（陶磁器）

調査区	産地／種別／器種	舶載							国産										小計	碗皿計	合計	不明	近世	総計
		中国					朝鮮	小計	瀬戸美濃			志野	唐津	土器	備前	珠洲	信楽	肥前						
		青磁	白磁	染付	赤絵	褐釉			灰釉	鉄釉	鉄奨													
総合計	碗	111	16	213	5		1	346	74	74		1	16						165	(511)	511		20	531
	皿	131	451	423				1,005	605	28		25	8						666	(1,671)	1,671	1	9	1,681
	かわらけ													2					2	(2)	2			2
	杯		9	3				12													12			12
	盤	1						1													1		1	2
	香炉								1										1		1		1	2
	擂鉢										こね鉢 2				602	1			605		605		3	608
	甕・壷・鉢						1	1		6					24		1		31		32	4	21	57
	袋物		1					1					[illegible] 1						1		2		8	10
	その他												1						1		1		3	4
	計	243	477	639	5		2	1,366	680	108	2	26	36	2	626	1	1		1,472	(2,184)	2,838	5	66	2,909

表19　出土遺物集計表　（鉄製品他）

種別			点数	重量(g)	備考
鉄製品	武器・武具	刀子	18	219.1	
		鏃	2	22.2	
		小札	71	241.1	
		脇板	5	63.9	
	計		96	546.3	
	[illegible]	鉤	2	37.1	
		締金具	4	39.4	
	計		6	76.5	
	[illegible]	釘	195	748.0	
		鎹	9	205.9	
	計		204	953.9	
	生活具	鍋	232	13,977.2	
		羽釜	1	37.4	
		火箸	2	201.6	
	計		235	14,216.2	
		茶道具	2	49.5	茶釜蓋
	不明	容器	1	74.0	
		その他	36	441.0	
合計			580	16,357.4	
銅製品	武器・武具	小柄	3	71.6	
		笄	2	22.8	
		鎺	3	21.3	
		責金	1	2.8	
		縁金具	2	5.2	
	計		11	123.7	
	宗教具	脚	2	71.2	香炉か金剛盤
		吊耳	1	8.3	鉦
	計		3	79.5	
	生活具	鐶	3	79.2	
		毛抜き	1	2.3	
		入子	1	3.1	紅皿
	計		5	84.6	
	不明		6	14.6	
合計			25	302.4	
鍛冶関連	羽口		1	139.0	
	鉄滓		8	776.2	
	銅滴		3	9.1	
	合計		12	924.3	

種別		点数	備考
骨角器	鏃	3	
	不明	21	刺突具又は中柄
合計		24	
石製品	硯	3	
	碁石	2	
	茶臼	5	
	穀臼	2	
	石鉢	3	
	砥石	32	
	砥石原石	4	
	軽石	2	
	有孔石製品	1	
合計		54	
その他	建築部材	8	柱材
	陶錘	8	
	瓦	2	
	ガラス玉	8	うち　念珠
	漆	1	
	獣魚骨	22	
合計		49	

	銭名	点数	備考
銅銭	開元通宝	3	（初鋳年）　621
	至道元宝	1	995
	祥符元宝	1	1008
	天聖元宝	2	1023
	治平元宝	1	1064
	熙寧元宝	1	1068
	元豊通宝	2	1078
	元祐通宝	2	1086
	元符通宝	3	1098
	政和通宝	1	1111
	慶元通宝	1	1195
	皇宋元宝	1	1253
	洪武通宝	6	1368
	永楽通宝	1	1403
	朝鮮通宝	1	1423
	無名銭	8	
	不明	40	判読不可
	計	75	
	寛永通宝	3	
合計		78	

Ⅲ　小　括

建物跡については調査区内で26棟確認されている。6×3間8棟、5×4間1棟、5×3間6棟、4×3間2棟、3×3間5棟、3×2間4棟である。このうちの13棟が内部に間仕切りを持つ。、内訳は桁行南北各1間に間仕切りをもつ建物跡が第22号の5×3間と第17号の4×3間､桁行南側1間に間仕切りを持つ建物跡が第18号の5×3間、第19号の6×3間、桁行南側1間、北側2間に間仕切りを持つ建物跡が第23号の6×3間、第20号の6×3間、第16号の5×3間、桁行南北2間に間仕切りを持ち、そのうち南北どちらかの2間が総柱状となる建物跡が第2号の6×3間､3号の5×3間、第7号の6×3間、同じく桁行南北2間に間仕切りを持つが､梁間すべてに間仕切りがなく、総柱状とならない建物跡が、第1号の6×3間、13号の6×3間である。なおこれら南北に間仕切りが入る建物跡については仕切られる空間の使用法等についてはその詳細は不明だが､第7号建物跡については南側部分が盛土されて、堅致な床面が作られているようであり、土間の可能性がある。[註]

土壙については今年度16基確認されている。不整円形で深さ約30cm以上で壁面の角度が90度～100度でほぼ直角に立ち上がる一群(土壙24、2、14、30)と不整円形で、深さが7cm～12cmほどで極めて浅く、壁面の角度もほぼ120度～140度と緩やかに立ち上がる一群(土壙7、9、37、11、38、、16、18)､さらに隅丸台形状を呈し北東～南西方向に長軸をとり、深さは10cm内外で規模が130～170cm×100～110cmと大きく、壁面の角度が130度～140度と緩やかに立ち上がる一群がある。(土壙32、5)

それぞれA型、B型、C型とすると、A型は地割面内の建物跡の外に位置しており、覆土の状態は自然埋没や、自然埋没後若干の整地を行っている状態であり、覆土からは鍛造剝片のほか獣骨、小豆、米等が多く検出される。土壙2では木質炭化物のほか小豆、獣骨、胡桃等が主成分あり、鍛造剝片は微量である。それに対し、B型では地割面内の建物跡内にあり、覆土の状態は土壙11の一気の埋め戻しを行っているものや土壙7の投げ込みによるもの等があり、覆土から鍛造剝片が他の穀物や獣骨等に比し5～10倍検出されている。また土壙37からは床面で仏具の脚も検出されている。C型は地割面内の建物跡の外にあり、覆土の状態は土壙32では一気の埋め戻しである。覆土からは鍛造剝片が米、小豆、胡桃、獣骨の5倍以上検出されている。これら覆土の成分よりみるとA型はB、C型に比し、生活の営みによるものが多く含まれる傾向がある。また覆土も自然埋没の状態を示していることから、その土壙の使用の状態をかなり良く示しており、生活に密着した遺構と考えられる。B型、C型はA型に比し、米、小豆、胡桃、獣骨等の比率が低く、生活というよりも何らかの生産的行為を行った遺構とも考えらる。今後建物跡との位置関係、覆土、遺物のより細かな分析を行うことにより､使用法が明確になると思われる。

土壙22は内部に方形の掘り方を持ち､その4隅に木質部付着の和釘が出土し、この部分の覆土は土壙内の掘り方の外の土に比しやや粗であり、黒褐～暗褐の柔らかい土が主体となっていることより、土葬墓の可能性が考えられるが、ソフトロームの含有率が高く攪乱を受けたような状態であり、この遺構の性格が今一つ不明である。また勝山館跡内で検出された土葬墓は、その木棺の大きさが95cm～65cm×35cm～85cm×50cm～30cmであるのに対し､この掘り方が55cm×38cm×20cmであり、かなり小型となっている。(斉藤)

註　文化学院　鈴木亘先生にご教示を賜った。
誤りは筆者の責である。

Ⅳ　保存処理

1　木製品

過去Ｐ．Ｅ．Ｇ含浸処理を完了した木製品（柾材・箸・下駄他）200点をエタノールによる表面処理を行った。

2　鉄製品

武具（小札他）・生活用具（鉄鍋・釘他）等1,400点の処理を行った。錆除去後、エタノール脱水、パラロイドＮＡＤ－10のソルベントナフサ20～30％溶液による樹脂含浸、接合・注記などを行った。処理後はシリカゲルを入れたＯＶフィルムに入れて保管していたが、今年度より三菱ガスのＲＰシステムを導入した。ＲＰシステムは精密機器の分野で利用されていたものであり、水、酸素、腐食性ガスをすべて取り去る効果がある。また従来使用していたＯＶフィルムの替わりに、密閉製の高いフィルム（エスカル）を併せて使用した。ＲＰ剤は必要量封入すれば、５年間は一定の保存環境を維持できるとのことである。従来使用していたシリカゲルでは吸着した水分と遺物が同じ容器にある為、結局シリカゲルが調湿剤となって遺物の劣化進行の原因となる為適宜交換が必要であり、時間と労力の面からこのような作業は不可能であり最良の保存環境を維持できなかったが、ＲＰシステムによりこの問題が解消されることと思われる。

3　銅製品

武具・仏具等270点の処理を行った。メスによる錆除去後、エタノール脱水、ベンゾトリアゾールのエタノール２～３％溶液による減圧含浸処理を行った。鉄製品と同じくＲＰシステムを導入した。いわゆるブロンズ病のものも数点見受けられるが、その進行を防ぐ方法を現在持たないため、これ以上の遺物の劣化進行を防ぐためにも、ＲＰシステムの効果に期待する。（松田）

Ⅴ　まとめ

本年度の調査の概要はⅢで述べているが、中央通り南東半部の遺構を中心に若干補足したい。

第９～14号建物跡：第10号建物跡は溝57で画され、９号建物跡は溝２で画される。土層堆積図から10号建物跡柱穴Ｐ444が溝２より古いことがわかるので、９号建物より10号建物跡が古いと推される。９号建物跡はＰ295・**354**・343（344）・365・372・319・318・**311**の２×２間の総柱の建物であり、398・402・407・430・44・（　）・438・414と拡張したとも推される（但し402と403の新旧は逆）。14号建物跡は10・９号建物に並行するであろう。又、これに先行する、Ｐ468・476・532・539・546・548・（　）・518・512・501・の３×２間、512・513・546で仕切る（或いはここまでの２×２間の）建物が推される。11号建物跡のＰ441はＰ442の方が通りが良く、Ｐ349・374・377で仕切る九間二室の建物かと推される。

第15～17号建物跡：第15号建物跡はＰ565～567までの桁行30尺、５間程度の建物かとも推される。16・17号建物跡は柱穴検出時の観察記録から、17号建物跡が古いとしたい。17号建物跡は**569**、**606**、**670**、**597**、**591**、**578**、の柱穴を用いた桁行6.1尺、梁間6.4尺等間の建物で、Ｐ606・608、617・618、632・633の新旧が逆である。16号建物跡は、Ｐ608、643、（622）の柱穴を用いた桁行6.6尺、梁間6.2尺等間の建物で、649・650・633・632、595・594、582・1399の新旧が逆となる。なおこの地割内にはこれらに先行する、Ｐ571・605・613・616・（　）・653・694・（　）・680・674・（　）・603・598・596・（　）からなる５×２（３）間の建物が想定できそうである。

第18～20号建物跡：５×３間の18号建物が19号建物跡に拡張され、20号建物の最も整った構成への変遷が見られる。なお、19号建物跡の柱穴としたＰ979を20号建物に用い、980・981を充てる方が良いかと推される。又、Ｐ890・915・922・958・983・1012・1016・975・948（941）・908・900の先行する４×２間の建物が想定される。更に924・956、924・931・938・947の柱筋の建物も想定されるが、柱穴の検出や柱間寸法などに難がある。

第21～23号建物跡：21号建物跡西隅の柱穴はＰ1220よりは1218であろう。又22号建物と23号建物

の新旧を明示する柱穴の切り合いはなく、溝7が溝30より新しく、各々に22号、23号建物が伴うとすることから、その新旧は逆と推される。23号建物のP1245、1281間の柱穴にP1247が充てられよう。又、22号建物の桁行柱間寸法は7尺等間、梁間も6.9尺か7尺等間のようである。P1202・1238・1250・1261・1275・1239・1226・1213・( )の先行する建物の柱列が見られる。P1248まで拡がる4～×3間、二室の建物かと推される。又、溝28に伴う、P359・360・( )・1260・1266・1264・1263・1259の柱列が見られるが、P1288まで拡がる5?×2間程度の建物かもしれない。

第24号建物跡：桁行の柱間寸法は6.2尺等間であろう。先行してP725・( )・779・784・813・( )・( )・820・( )・829・810・802・774・766・751・740の5×3間、北側に723・737・764の下屋?の付く建物跡が想定される。787で二室に仕切られよう。

第25・26号建物跡：25号建物跡は柱穴P1100が1099となる桁行柱間6.2尺等間の建物のようである。P624・1142・1137・1116（・1119）はこれに付随する柱列であろう。26号建物跡の区画溝22は溝10や39より新しく、それに伴う18～20号建物跡とは併存しない。この地区では、P1044・1047・1048・( )・1135・1141・1100・1095・1091・1069の建物跡や、P1051・1071・1101・1097・1093・1140・( )・1112・( )・( )の建物が推されるが、柱穴が不足する。なお前者には、北にP1043・1031・1042の庇が付き、P1086で南一室が仕切られ、後者ではP1087で一室が作られるようである。

今年度調査区、中央通り南東半は、通りに接して第9～13号、15～17号、18～20号、21～23号の各建物跡の立つ地割が早い時期から踏襲され、5・6×3・2間、六間や九間の空間を持つ建物が各3回前後建てられている。一方、通りから一区画華ノ沢側に離れて位置する24号や26号建物跡は六間二室と1×3間の空間に縁または庇状の外屋の付くもので建物の形態が大きく異る。特に26号建物跡は柱穴も大きく、柱間寸法の長い大型のものである。26号を24号の移設拡張とするか、24、26号の二棟併存とするかは、この建物の性格付けとも関連するところである。移設後の24号建物跡地の利用にも不明なところがある。

これらの状況に平成6年度来の第二平坦面中央通り南東半部の調査結果を併せて全体を通観すると、中央通り寄りに一列（中段の広い空間までは二列）の5・6×3・2間の、通りに直交する棟筋を持つ建物跡が並び、華の沢寄りには、端に柵列の廻る通路を兼ねた帯曲輪が通り、これに並行する棟筋の建物が立ち、第二平坦面の最も奥まった南西隅には24・26号の建物が立つ様相となる。24・26号建物跡はこの中で館の後半（終）期に限定して出現していることから別に検討することとすると、華の沢寄りの帯曲輪に面する建物跡は東隅の櫓も含め、外側を強く意識した建物かと推される。他方中央通り寄りの建物群は、大小の差はあるが、六間や九間の空間が作られるなど居住性が強く感じられる。全体の大小や間取りに幾分の差は見られるが、大きくは通りに直交する棟筋の建物が整然と配されている感があり、均質ないしは同質の構成（者）が窺われる。勿論、唐物茶入や鏡、鉦などの仏具が出土し、狩猟・漁労用骨角器や陶錘、鋳型などが出土している一帯を均質なものと把えることは粗雑にすぎるが、単位面積あたりの陶磁器出土量や組成、建物跡の形状などには、中央通り北隅の客殿空間のような突出した様子は認められないところである。華（桧）ノ沢や寺ノ沢地内に枡型や虎口状の作りを見せる敷地や平地があることから、別の一団が構成されているかとの推測を述べたことがあるが、この第二平坦面南東半の様相は、第二平坦面全体の直接の領有者(客殿空間占有者)、或いは、南東半を有する者（例えば後終期の24、26号建物占有者）等に直属する一団による構成の感を強くするところである。

例年のことながら、個々の遺構・遺物の検討が不充分なままに期間を終えるところとなり、憶測はどのようになし得ても勝山館の実像には程遠いところである。土壙について若干の検討が試みられた。竪穴建物跡も含め更に詳しく検討することが必要である。

北海道教育庁文化課木村尚俊主幹のご理解と強い勧めで始めた中央通り南東半の遺構調査は今年でほぼ完了した。木村主幹のご厚情にどれだけ応え得たか心もとない限りである。

1～8号建物跡は次年度調査区と併せて検討したい。今後共諸先生、諸先学の方がたの一層のご指導とご教示をお願い申し上げげたい。（松崎）

報告書抄録

ふりがな	しせき　かみのくにかつやまだてあと
書名	史跡　上之国勝山館跡　XVIII
副書名	平成８年度発掘調査環境整備事業概報
巻次	18
シリーズ名	
シリーズ番号	
編著者名	斉藤邦典　松崎水穂　佐藤一志　松田輝哉　柳沼弥生
編集機関	上ノ国町教育委員会
所在地	〒049-06　北海道檜山郡上ノ国町字大留100　TEL 01395－5－2230
発行年月日	西暦　1996年３月28日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
勝山館跡（かつやまかんあと）	上ノ国町字勝山（かみのくにちょうあざかつやま）	C－０２	40			平成８年５月～11月	1,300㎡	環境整備事業に伴う調査

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
勝山館跡	城館	中世	掘立柱建物跡26棟 竪穴建物跡11軒 通路跡 柵列跡	陶磁器 青磁・白磁・染付 李朝 瀬戸美濃・越前 珠洲 鉄製品 鍋・刀子・小札 銅製品 銭・鏡・仏具 骨角器	

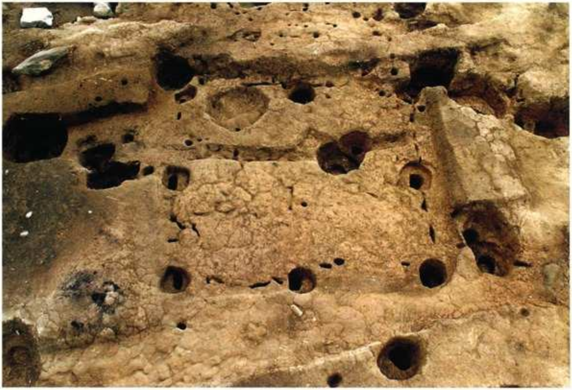
図 版

PL.1　調査区全景

1・遺構検出状況（南西から）

2・遺構検出状況（北西から）

3．第1～8号建物跡



4．第70号竪穴建物跡

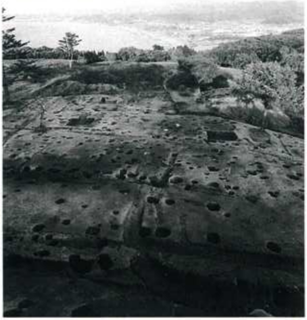
5．第70号竪穴建物跡（炭化材、鉄鍋検出状況）

6．第70号竪穴建物跡（柱材、鉄鍋を残し炭化材を取り上げた状態）

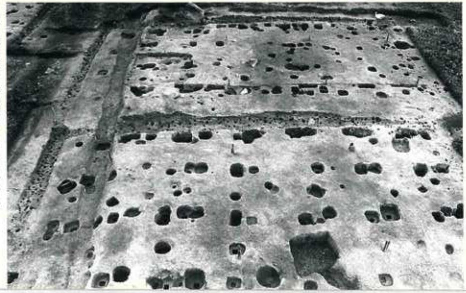
7・柵列検出状況（西から）

8．帯曲輪・柵列（南西から）

9．帯曲輪・柵列（北東から）


調査区南側部分遺構検出状況（南西から）

調査区南側部分遺構検出状況（南西から）


調査区北側部分遺構検出状況（北東から）

PL・6　遺構検出状況

第4～8号建物跡（北東から）

第9～14号建物跡（南西から）

第9～14号建物跡（南西から）

第15～17号建物跡（南西から）

第18～20号建物跡（中央右側部分、北西から）
第15～17号建物跡（中央左側部分、北西から）

第18～20号建物跡（北西から）

第18～20号建物跡（南西から）

遺構検出状況

第18～20号建物跡（北東から）
中央上部分が第21～23号建物跡

第21～23号建物跡（北東から）

第21～23号建物跡（中央右部分、北西から）
第18～20号建物跡（中央部分、北西から）
第15～17号建物跡（左端部分、北西から）

第25・26号建物跡（南西から）

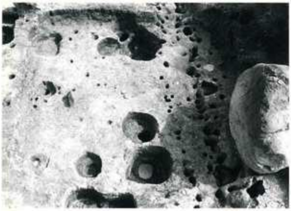
第25・26号建物跡（北東から）

通路跡 左（北東から） 右（南西から）

石積み遺構

第73号竪穴（南西から）

第73号竪穴土層堆積状況



第75号竪穴（南東から）

第74号竪穴（北東から）

第77号竪穴（北東から）

第72号竪穴（北東から）

調査区南東部石積遺構

第77号竪穴土層堆積状況

第80号竪穴（南東から）

第72号竪穴（北東から）

第72号竪穴炭化材検出状況（北東から）

第72号竪穴砂利検出状況

第72号竪穴炭化材検出状況拡大（北東から）

第72号竪穴鍋出土状況

第78・79号竪穴（南東から）

第78・79号竪穴礫検出状況

第81号竪穴（北東から）

第76号竪穴（北西から）

第26号竪穴土層堆積状況（南西から）

第76号竪穴茅材検出状況

土壙22検出状況（北西から）

土壙22土層堆積状況（北西から）

土壙22鉄製品出土状況

土壙22調査状況（北東から）

土壙22完掘状況

PL・13 遺構検出状況

土壙24（南東から）

土壙35土層堆積状況（南東から）

土壙２土層堆積状況（北東から）

土壙２（北東から）

柱穴底部礫検出状況

土壙24土層堆積状況（南西から）

土壙５（南東から）

焼土7・9土層堆積状況（南西から）

柱根検出状況

柱根検出状況

美濃皿出土状況

美濃皿出土状況

美濃鉄釉皿出土状況

染付皿出土状況

銅鏡出土状況

染付皿出土状況

擂鉢出土状況

鉄製品出土状況

茶臼出土状況

史跡　上之国勝山館跡　XⅧ

―平成8年度発掘調査環境整備事業概報―

発　行　上ノ国町教育委員会

北海道桧山郡上ノ国町字大留100

印　刷　平成9年3月25日

発　行　平成9年3月28日

印刷所　㈱北海道機関紙印刷所